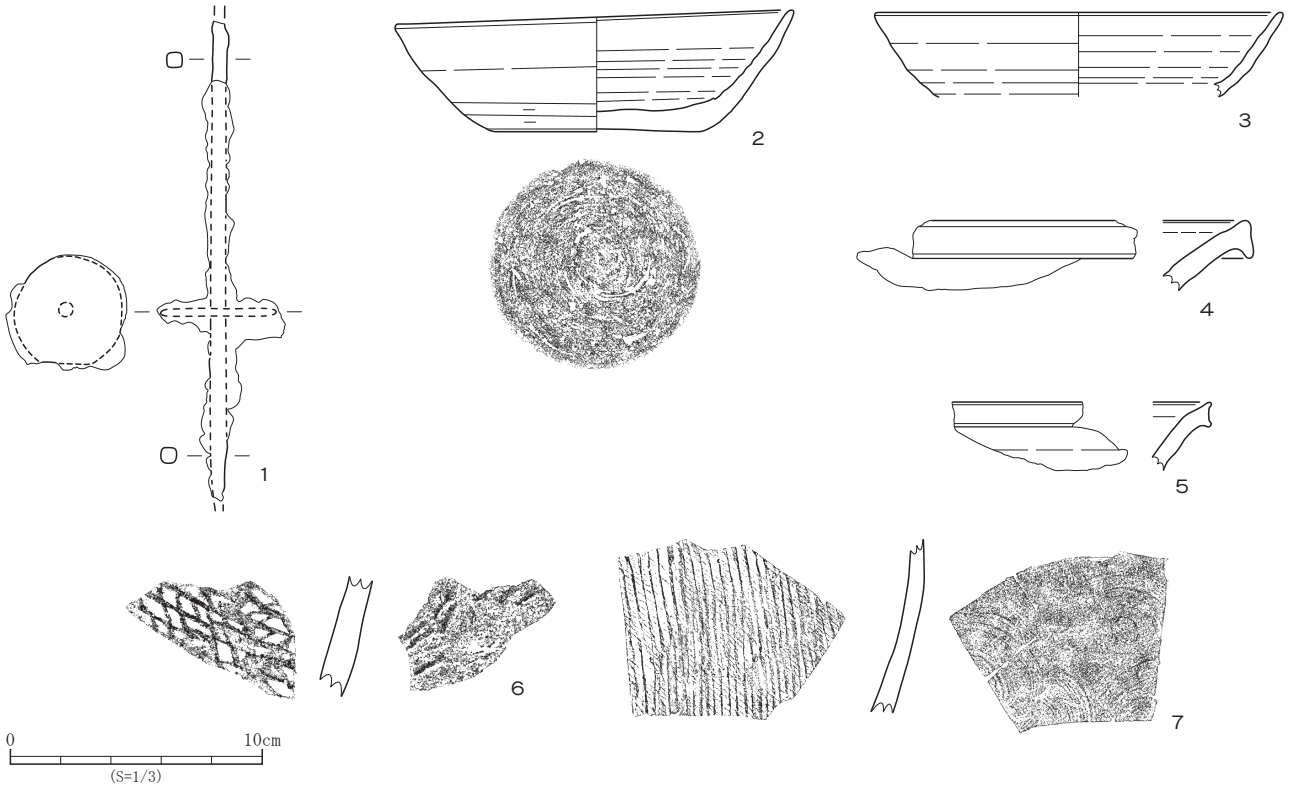


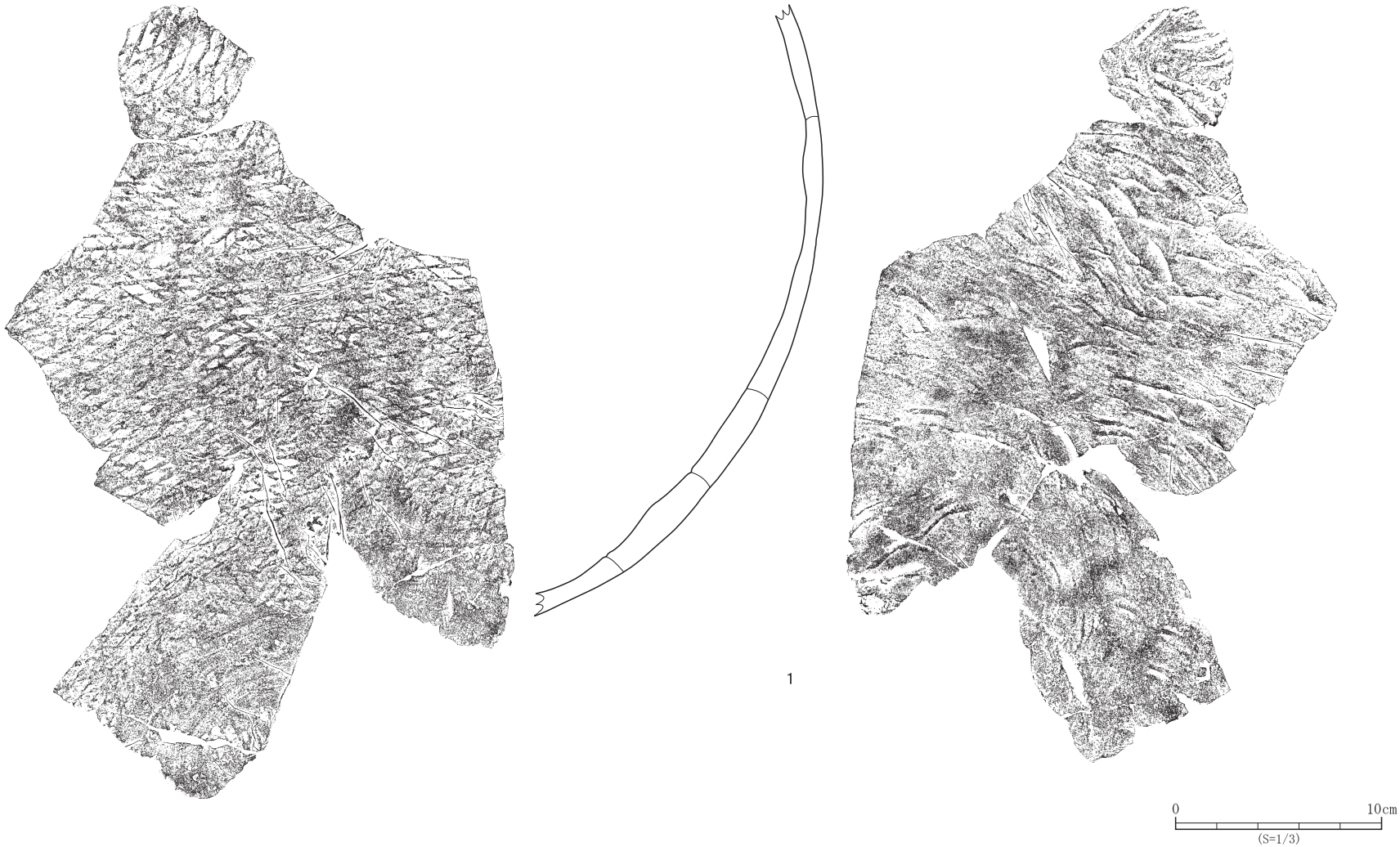
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
1	N-1	4A2	SI74-P6	-	金属製品	紡錘車	現 19.1 × 4.8 × 4.5 （58.8）		9-11

No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
2	E-2	4A2	SI74	1	須恵器	坏	(15.8) × 8.2 × 4.2 ～ 4.8	ロクロナデ・体下端～底部回転ヘラケズリ	ロクロナデ		9-4
3	E-3	4A2	SI74	-	須恵器	坏	16.2 × - ×現 3.3	ロクロナデ	ロクロナデ		9-5
4	E-4	4A2	SI74	-	須恵器	甕	- × - ×現 2.8	ロクロナデ	ロクロナデ		9-6
5	E-5	4A2	SI74	-	須恵器	甕	- × - ×現 2.7	ロクロナデ	ロクロナデ		9-7
6	E-7	4A2	SI74-P10	-	須恵器	甕	- × - ×現 4.7	格子タタキ	当て具痕（青海波文）	E-6 と同一。	9-8
7	E-8	4A2	SI74	床面	須恵器	甕	- × - ×現 6.8	平行タタキ	当て具痕（青海波文）		9-9

第 25 図　ＳＩ 74 竪穴住居跡出土遺物（３）

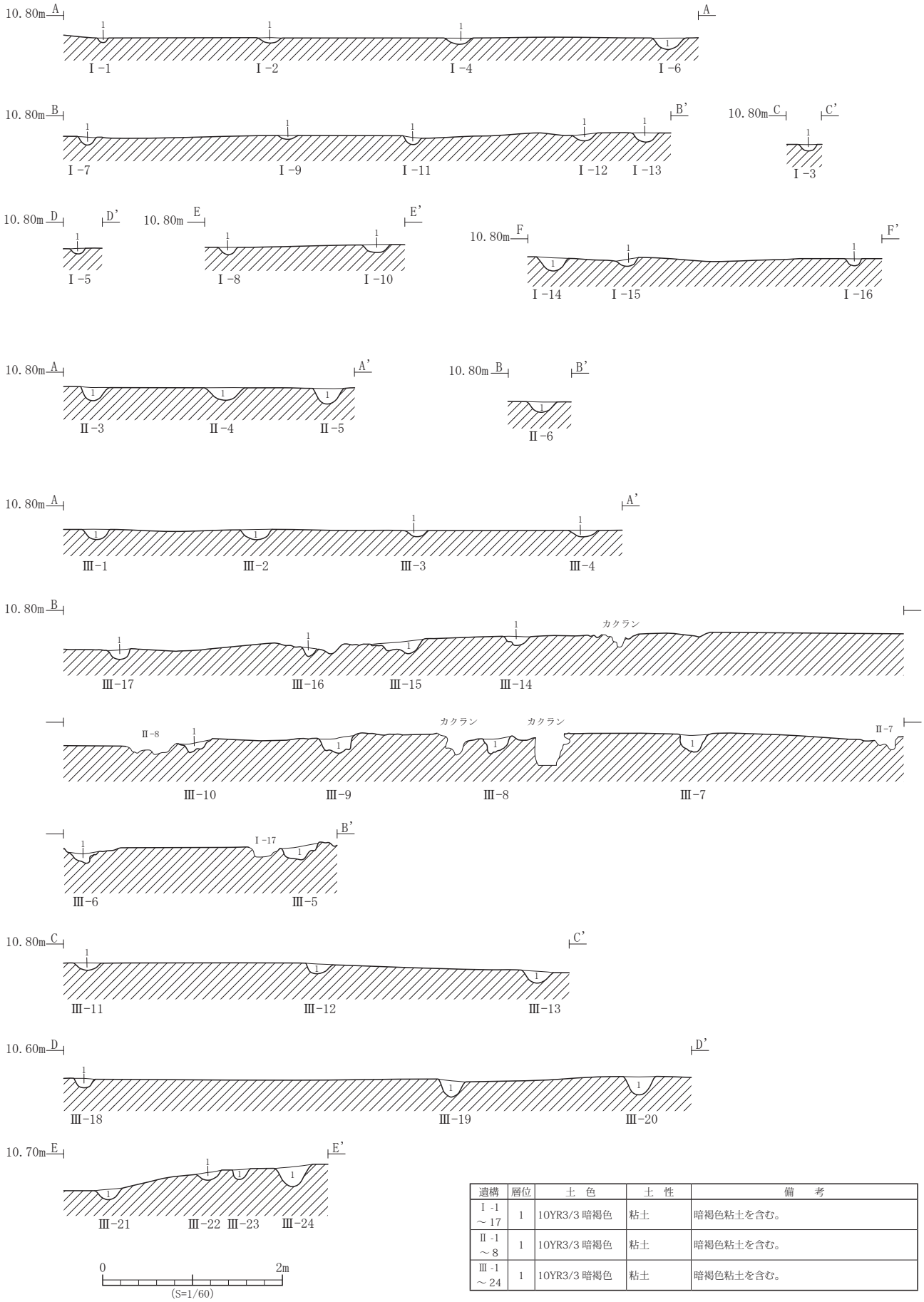
（５）遺構外出土遺物（第 29 図、図版 10）

基本層Ⅳｃ層を中心に多くの遺物が出土しており、それらのうち、縄文土器２点、土師器２点、須恵器３点、打製石器２点、礫石器１点、石製品１点を第 29 図に図示した。１・２はⅢａ層から出土した須恵器坏である。共に口縁部上端が短く外反する。１は平底で底部は回転ヘラケズリ整形である。３はⅣａ層から出土した須恵器坏である。底部の切り離しは回転ヘラ切りで、体部から直線的に外傾して口唇部にいたる。４・５はⅣｂ層から出土した土師器坏である。４は丸底の底部から体部へと緩やかに立ち上がり口縁部が短く直立する器形で、内面は黒色処理される。５はいわゆる平底盤状坏の破片で、口唇部へと直線的に外傾する。口縁部内面に沈線状の凹みがある。６～９は沈線文が施文される縄文土器深鉢片である。８は山形突起が付く口縁部片で、横位の並行沈線文の間に刺突文が施文される。９は胴部上端に最大径を持ち、口縁部には３条の並行沈線文が施文される。10 は貼り瘤を持つ注口土器の胴部片である。注口部は剥落している。上半は横位の沈線文で区画され、その内部には横方向に展開する弧状の沈線が施文される。11・12 はいずれも玉髄製の有茎石鏃である。12 は身部の中間に抉りがある。13 は凹痕と敲打痕が複合して観察される礫石器である。全体的に被熱による変色がみられる。14 は有孔の砥石である。大部分を欠損している。表面中央には使用に伴うと考えられる溝状の凹みがある。



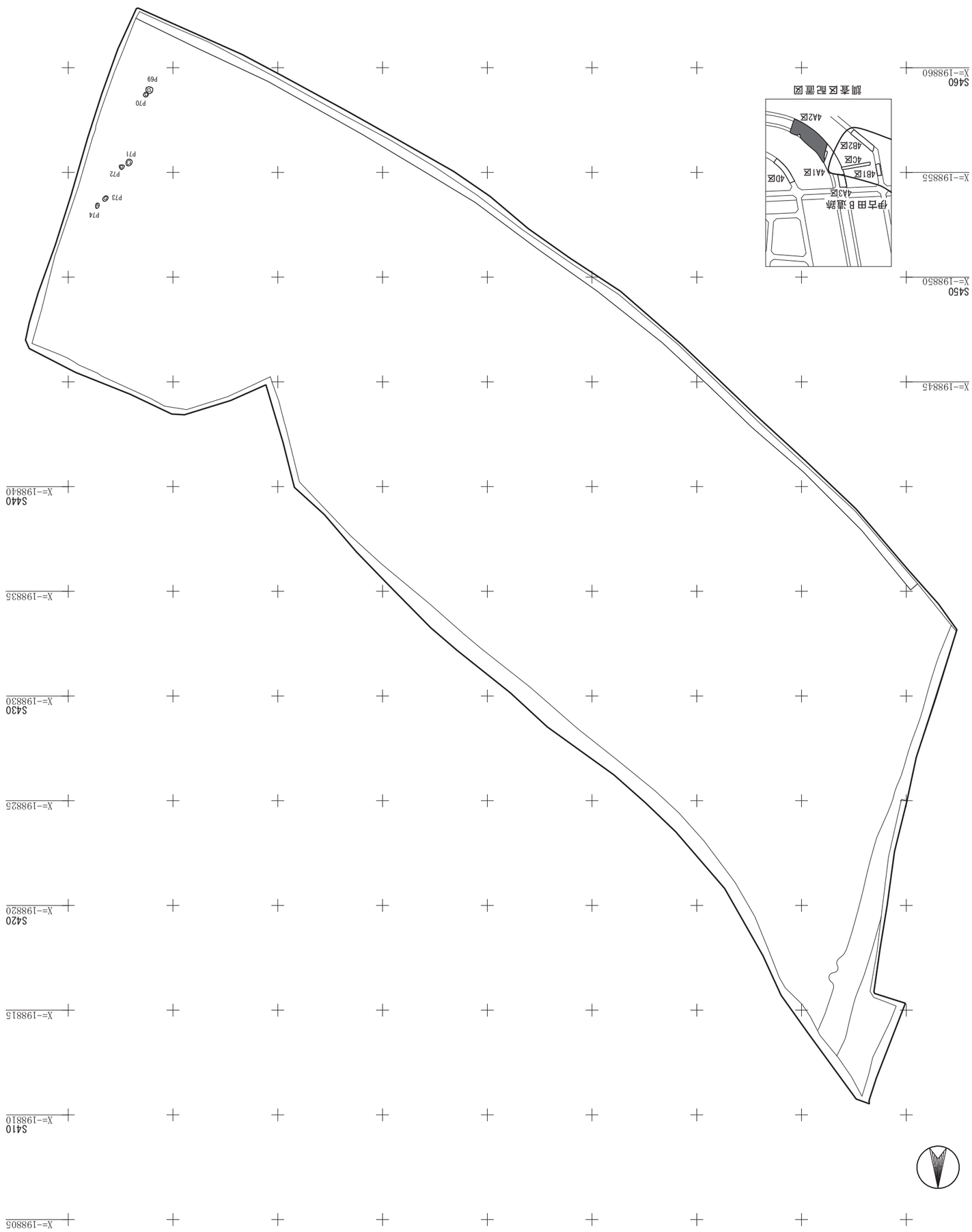
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	E-6	4A2	SI74	床面	須恵器	甕	- × - ×現 29.7	格子タタキ・ヘラナデ	当て具痕（青海波文）・ヘラナデ	外面自然釉付着、E-7 と同一。	9-10

第 26 図　ＳＩ 74 竪穴住居跡出土遺物（４）

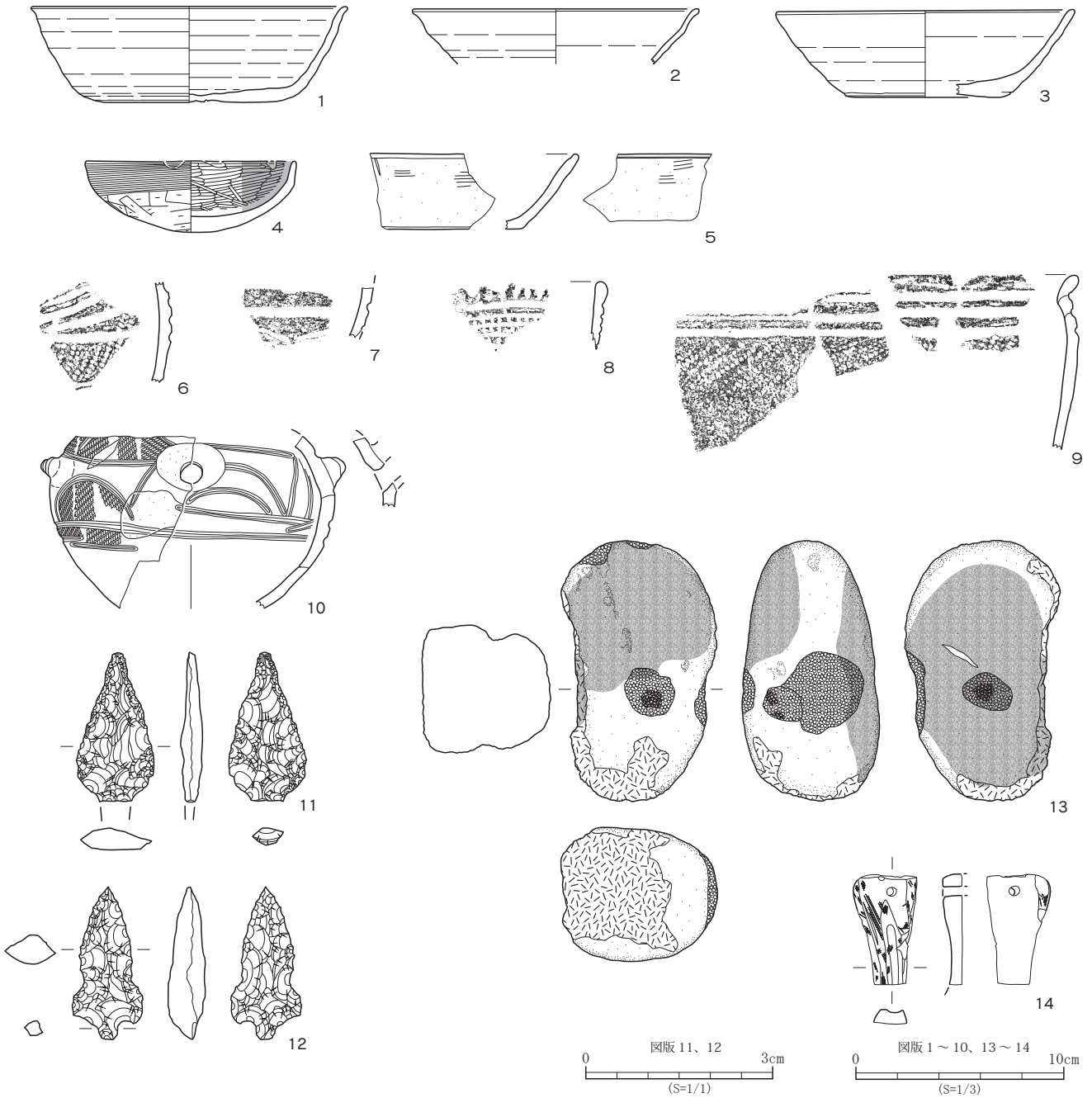


遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅰ-1 ～17	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	暗褐色粘土を含む。
Ⅱ-1 ～8	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	暗褐色粘土を含む。
Ⅲ-1 ～24	1	10YR3/3 暗褐色	粘土	暗褐色粘土を含む。

第 27 図　小溝状遺構群断面図



第28図　伊古田B遺跡4A2区V層遺構配置図



No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	E-9	4A2	Ⅲ b	-	須恵器	坏	(15.2) × 8.2 × 4.6	ロクロナデ　底部回転ヘラケズリ	ロクロナデ	内外面火襷痕あり。	10-1
2	E-10	4A2	Ⅲ b	-	須恵器	坏	(13.8) × - ×現 2.6	ロクロナデ	ロクロナデ		10-2
3	E-11	4A2	Ⅳ a	-	須恵器	坏	14.4 × 7.6 × 4.2	ロクロナデ　底部回転ヘラ切り	ロクロナデ		10-3
4	C-10	4A2	Ⅳ b	-	土師器	坏	10.2 × - × 3.4	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理		10-4
5	C-11	4A2	Ⅳ b	-	土師器	坏	- × - × 3.6	ヘラミガキ	ヘラミガキ	内外面摩滅。	10-5

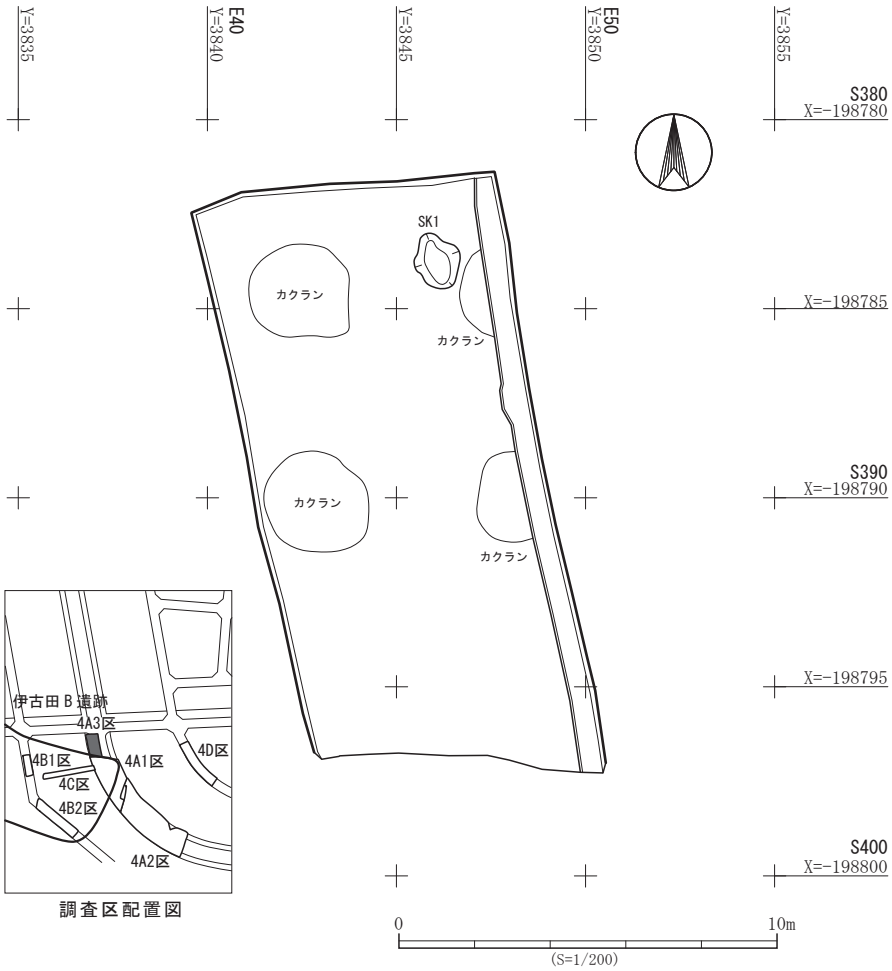
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
6	A-6	4A2	Ⅳ c	Ⅰ - 4	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文・LR 縄文		10-6
7	A-7	4A2	Ⅳ c	Ⅲ - 2	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文	内外面摩滅。	10-7
8	A-3	4A2	Ⅳ b	-	縄文土器	深鉢	口縁部 - 山形突起・沈線文・刺突文　口唇部 - 有刻		10-8
9	A-5	4A2	Ⅳ b	-	縄文土器	深鉢	口縁～胴 - 沈線文・LR 縄文	内外面摩滅。	10-9
10	A-4	4A2	Ⅳ b	-	縄文土器	注口	胴部 - 沈線文・貼瘤・LR 縄文	注口部剥落、外面摩滅。	10-10

No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
11	Ka-a1-1	4A2	Ⅳ c	SI74	打製石器	石鏃	碧玉	2.4 × 1.3 × 0.4　0.82	有茎鏃、基部欠損。	10-11
12	Ka-a1-2	4A2	Ⅳ a	-	打製石器	石鏃	玉髄	2.4 × 2.1 × 0.6　1.27	有茎鏃、身部に抉りあり。	10-12
13	Kc-b2-2	4A2	Ⅳ b	-	礫石器	凹＋敲	安山岩	12.5 × 7.1 × 6.6　766.09	凹 1+1、敲側 2、端 2、被熱、火ハネあり。	10-13
14	Kd-a-1	4A2	Ⅳ b	-	石製品	砥石	石英安山岩質凝灰岩	(5.3) × (3.0) × (0.9)　(16.88)	砥面 4 面、有孔。	10-14

第 29 図　遺構外出土遺物

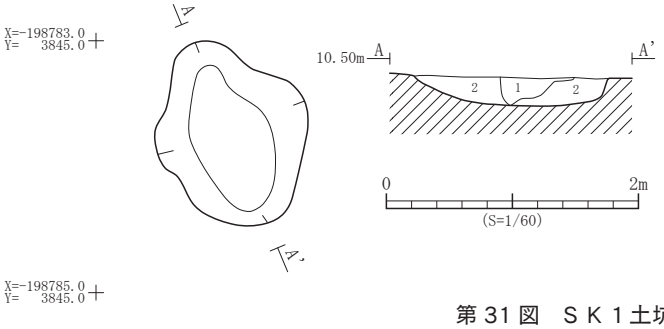
３．４Ａ３区の調査

４Ａ３区では、基本層Ｖ層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、土坑１基を検出した。



第 30 図　伊古田Ｂ遺跡４Ａ３区Ｖ層遺構配置図

SK1 土坑（第 31 図、図版６）　E40・S380 グリッドで検出した。平面形は不整形で、長軸方向は N-23°-W である。規模は長軸 1.53m、短軸 1.23m、深さ 24cm で、壁面は北側が緩やかに、南側が急角度に立ち上がる。断面形は逆台形状で、底面は概ね平坦である。堆積土は２層に分層される。遺物は出土していない。



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SK1	1	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	黒褐色粘土質シルトブロックを含む。酸化鉄を含む。締りややあり。
	2	2.5Y3/1 黒褐色	粘土質シルト	にぶい黄褐色シルトブロックを含む。酸化鉄を含む。

第 31 図　ＳＫ１土坑平面図・断面図

４．４Ｂ１区の調査

４Ｂ１区では、基本層Ⅳｂ層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群２群を検出した。Ⅴ層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、ピット４基を検出した。ピットは建物等の組み合わせを検討したが、明確なものは確認されなかった。ピットについては遺構配置図にのみ表示している。

（1）Ⅳｂ層検出の遺構（第 32 図、図版６）

１）小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からⅠ・Ⅱ群に分けられる。また、重複関係からⅡ群→Ⅰ群の変遷がたどれる。

Ⅰ群（第 32・33 図、図版６）　W0-E0 ～ W10・S390 ～ 400 グリッドで検出した北東から南西方向の遺構群で、7 条の小溝で構成される。方向は N-8 ～ 15° -E で、検出長 2.10 ～ 8.55 m、幅 24 ～ 49cm、深さ 4 ～ 11cm である。小溝の間隔は、41 ～ 88cm である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

Ⅱ群（第 32・33 図、図版６）　W0-E0 ～ W10・S390 ～ 400 グリッドで検出した北西から南東方向の遺構群で、12 条の小溝で構成される。方向は N-83 ～ 86° -W で、検出長 2.20 ～ 4.45 m、15 ～ 61cm、深さ 6 ～ 10cm である。Ⅱ -9・10 は西側で接して平面形が「Y」字状となっているが、堆積土が同一のため重複関係は不明である。Ⅱ -9・10 を除く小溝の間隔は、4cm ～ 1.13 m である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

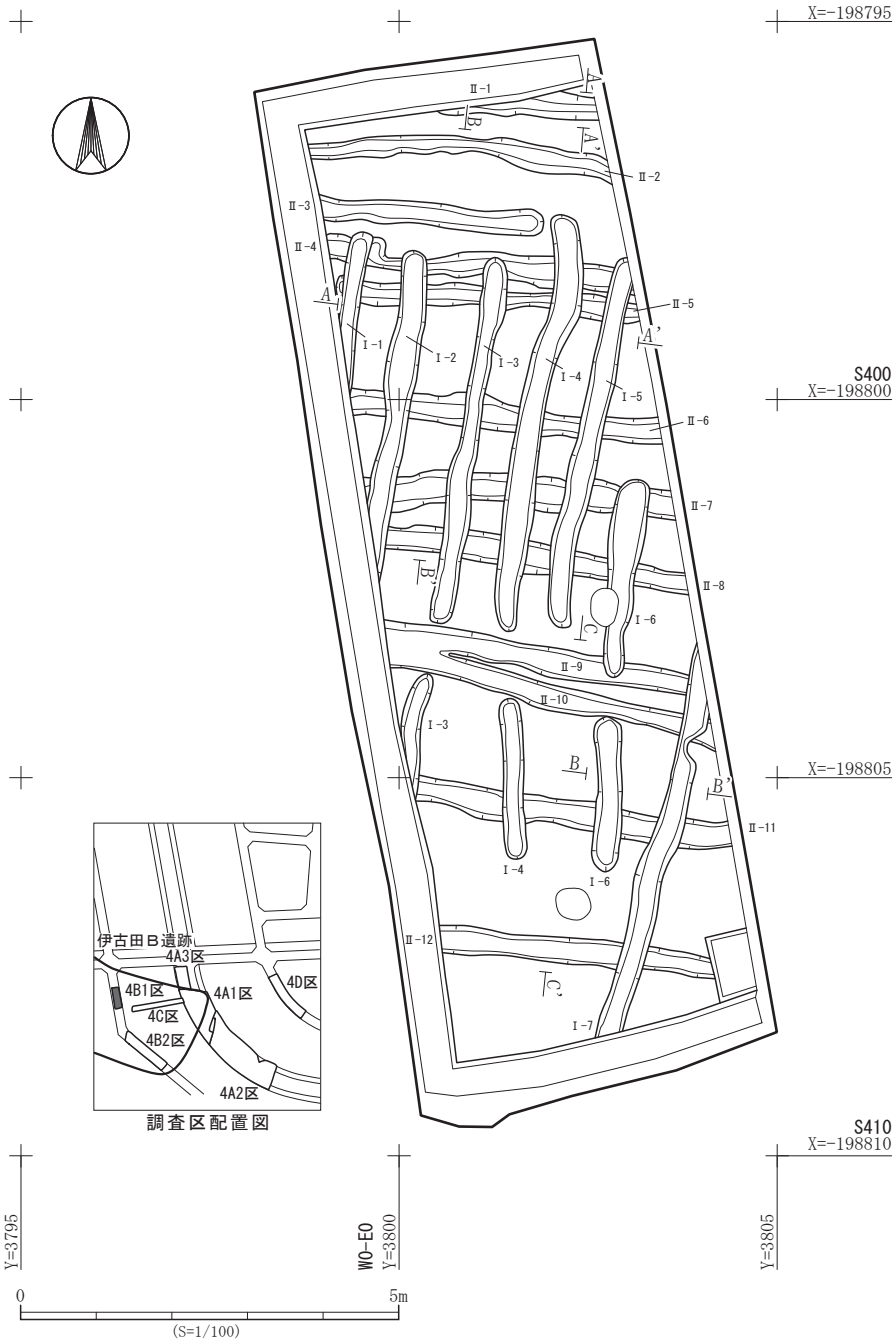
（2）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 34 図、図版６）

１）ピット（第 34 図、図版６）

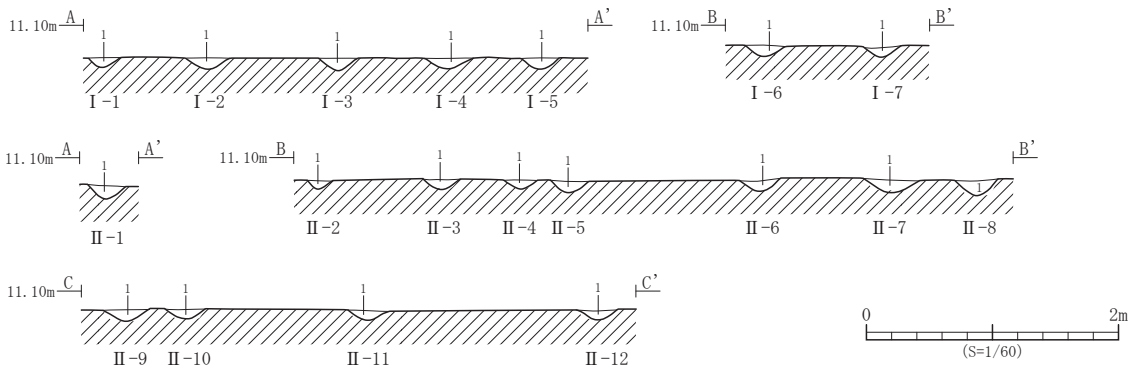
４基のピット（P1 ～ 4）を検出した。北西 - 南東方向に約２～３m 間隔で一直線に並ぶように位置することから柱列の可能性がある。遺物は出土していない。

（3）遺構外出土遺物（第 34 図、図版 10）

Ⅳａ層から出土した打製石器 1 点を第 34 図に図示した。有茎石鏃であり、剥離調整が全体的に粗いことから未成品と考えられる。



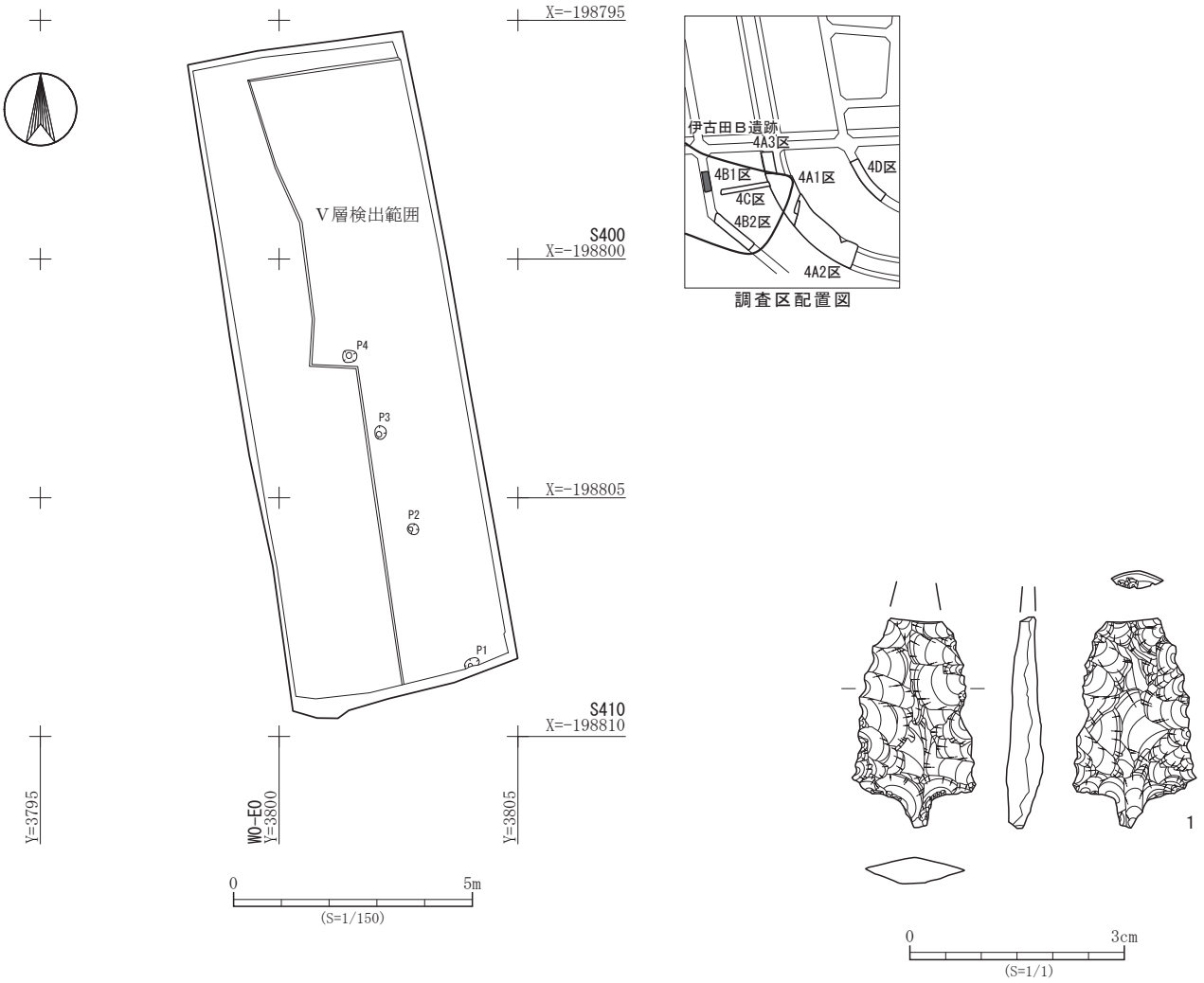
第 32 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｂ１区Ⅳｂ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅰ-1 ～7	1	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	締りややあり。

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅱ-1 ～12	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	締りややあり。

第 33 図　小溝状遺構群断面図



№.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
1	Ka-a1-3	4B1	-	Ⅳa	打製石器	石鏃	頁岩	(2.95) × 1.7 × 0.5　(1.98)	有茎鏃。尖端部および基部欠損。未成品。	10-15

第 34 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｂ１区Ⅴ層遺構配置図・遺構外出土遺物

５．４Ｂ２区の調査

４Ｂ２区では、基本層Ⅳｂ層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群１群を検出した。Ⅳｃ層上面（古代の遺構検出面）において、水田跡、溝跡２条、小溝状遺構群３群を検出した。Ⅴ層上面（古墳時代～古代の遺構検出面）において、溝跡１条、ピット６基を検出した。ピットは建物等の組み合わせを検討したが、明確なものは確認されなかった。ピットについては遺構配置図にのみ表示している。

（１）Ⅳｂ層検出の遺構（第 35 図）

１）小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、１群を検出した。

Ⅰ群（第 35・36 図、図版７）　E10 ～ 20・S430 ～ 440 グリッドで検出した東西方向の遺構群で、10 条の小溝で構成される。方向は N-86 ～ 88° -E・N-82 ～ 87° -W で、検出長 1.85 ～ 5.54 m、幅 9 ～ 52cm、深さ 2 ～ 10cm である。小溝の間隔は、5cm ～ 2.67 mである。Ⅰ -4 は東側が枝状に分岐する。その箇所は、異なる小溝の重複や掘り直しだった可能性も考えられるが、堆積土が同一であり、新旧関係は不明である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

（２）Ⅳｃ層検出の遺構（第 37 ～ 40 図、図版９）

１）水田跡

水田跡（第 37・38 図、図版７）　E20 ～ 30・S440 グリッドで畦畔２条を検出した。検出状況から擬似畦畔Ｂと考えられる。北東および南西の調査区外へ直線的に延びる。小溝状遺構Ⅰ～Ⅲ群と重複関係にあり、本遺構が古い。擬似畦畔Ｂ№１の方向は N-16° -E で、検出長 6.10 m、幅 1.10 ～ 1.64 m、高さ 3 ～ 5cm である。断面形は台形である。擬似畦畔Ｂ№２は、擬似畦畔Ｂ№１の東側に位置する。擬似畦畔Ｂ№１と「Ｔ」字状に接続し、東側の調査区外へ直線的に延びる。方向は N-78° -W で、検出長 1.65 m、幅 1.05 ～ 1.50 m、高さ 3 ～ 6cm である。断面形は台形である。これらの擬似畦畔Ｂに区画される水田区画は２区画検出されたが、区画の全体を把握できるものはない。遺物は出土していない。本水田跡の時期は、上層の基本層Ⅲ層は十和田ａ火山灰（915 年の降灰）と考えられる灰白色火山灰を含むこと、本遺跡４Ａ２区Ⅳｃ層上面で検出した SI74 竪穴住居跡の時期が８世紀前半～中頃と考えられることから、８世紀後半～９世紀代と考えられる。

なお、第 38 図に示した調査区西壁の２地点から土壌サンプルを採取し、プラント・オパール分析を実施した。分析結果については本節８に掲載している。

２）溝跡

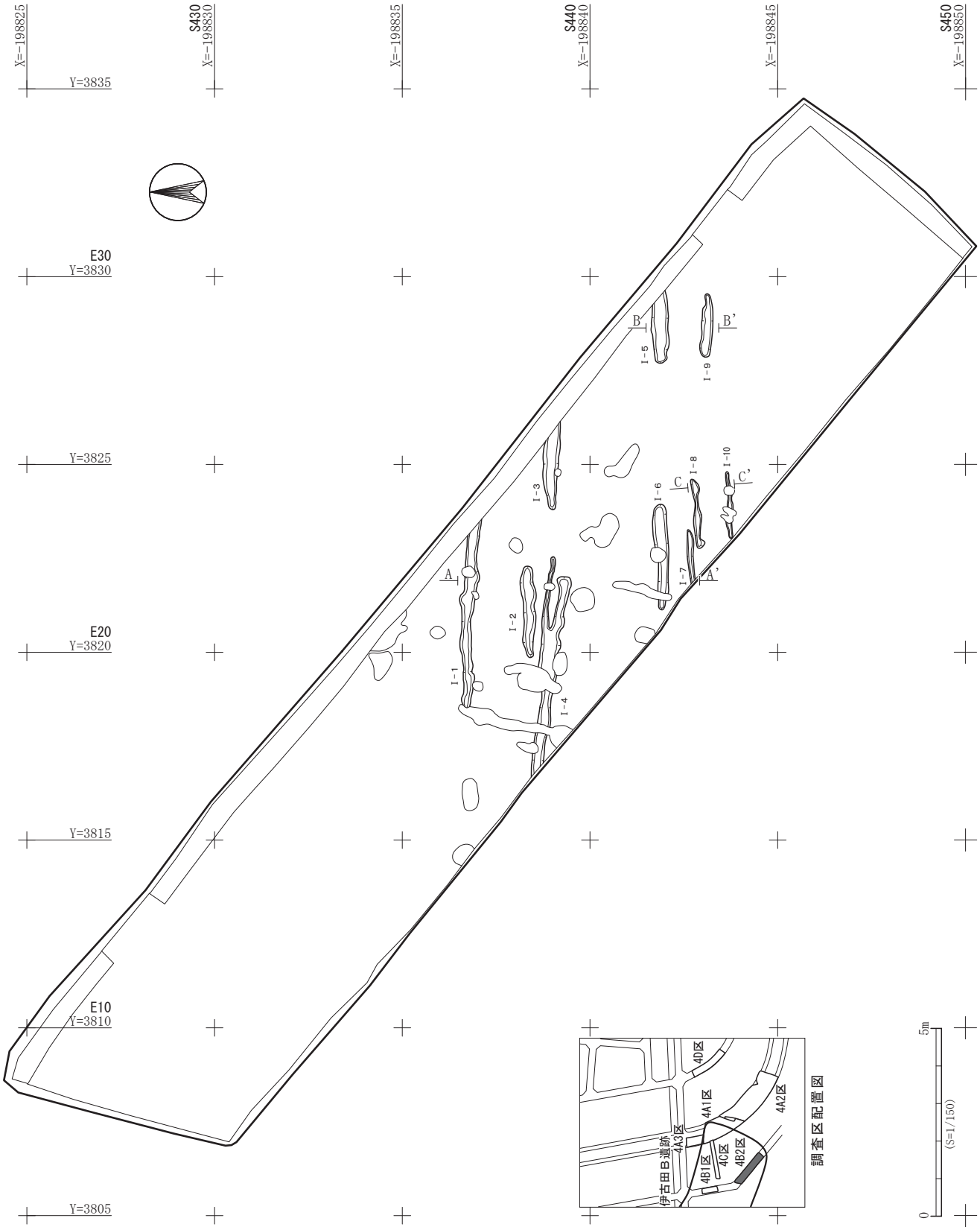
SD16 溝跡（第 37・40 図）　E20・S430 ～ 440 グリッドで検出した。北側の調査区外へ直線的に延びる。小溝状遺構Ⅰ -1、Ⅱ -4、Ⅲ -7・8・10 と重複関係にあり、小溝状遺構Ⅲ -7・8・10 より新しく、小溝状遺構Ⅰ -1、Ⅱ -4 より古い。方向は N-3° -E で、検出長 5.88 m、幅 22 ～ 43cm、深さ 5 ～ 10cm である。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

SD42 溝跡（第 37・40 図）　E20・S440 グリッドで検出した。小溝状遺構Ⅱ -7 と重複関係にあり、本遺構が古い。方向は N-64° -W で、長さ 2.58 m、幅 36 ～ 64cm、深さ 10cm である。断面形は逆台形である。遺物は出土していない。

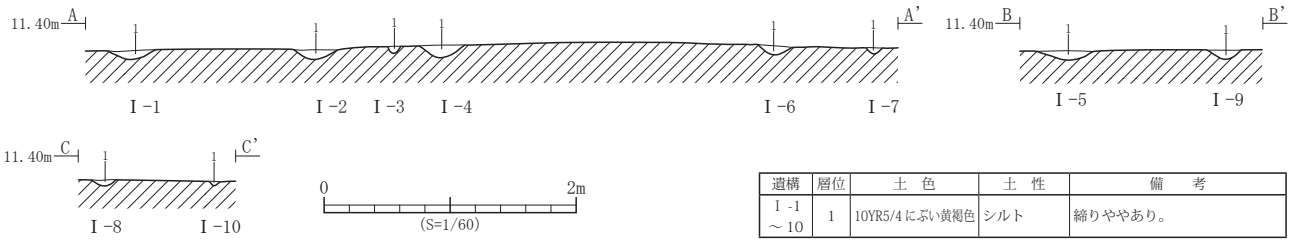
３）小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からⅠ～Ⅲ群に分けられる。また、重複関係からⅢ群→Ⅱ群→Ⅰ群の変遷がたどれる。

Ⅰ群（第 37・40 図、図版７）　E20・S430 ～ 440 グリッドで検出した北東から南西方向の遺構群で、５条の小溝で構成される。水田跡、SD16 と重複関係にあり、本遺構が新しい。方向は N-8 ～ 20° -E で、検出長 99cm ～ 4.81 m、幅 13 ～ 66cm、深さ 6 ～ 21cm である。小溝の間隔は、5cm ～ 2.58 mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。



第 35 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｂ２区Ⅳｂ層遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅰ-1 ～10	1	10YR5/4 にぶい黄褐色	シルト	締りややあり。

第 36 図　小溝状遺構群断面図

Ⅱ群（第 37・40 図、図版７）　W0-E0 ～ E30・S420 ～ 440 グリッドで検出した南北方向の遺構群で、12 条の小溝で構成される。水田跡、SD16・42 と重複関係にあり、本遺構が新しい。方向は N-5 ～ 22°-E で、検出長 2.42 ～ 7.20 m、幅 24 ～ 80cm、深さ 4 ～ 25cm である。小溝の間隔は、36cm ～ 8.61 mである。調査区東側で検出したⅡ-7・8・11・12 は、それぞれ小溝の一部が分岐する。その箇所は異なる小溝の重複や掘り直しだった可能性も考えられるが、堆積土が同一であり、新旧関係は不明である。堆積土は単層である。遺物はⅡ-2・5・9 の堆積土から土師器片が出土している。

Ⅲ群（第 37・40 図、図版７）　W0-E0 ～ E30・S420 ～ 440 グリッドで検出した東西方向の遺構群で、16 条の小溝で構成される。水田跡、SD16 と重複関係にあり、水田跡より新しく、SD16 より古い。方向は N-86 ～ 89°-E・N-84 ～ 89°-W で、検出長 2.15 ～ 9.15 m、幅 18 ～ 65cm、深さ 4 ～ 28cm である。小溝の間隔は、14cm ～ 2.78 mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

（３）Ⅴ層検出の遺構と遺物（第 41 図、図版７）

１）溝跡

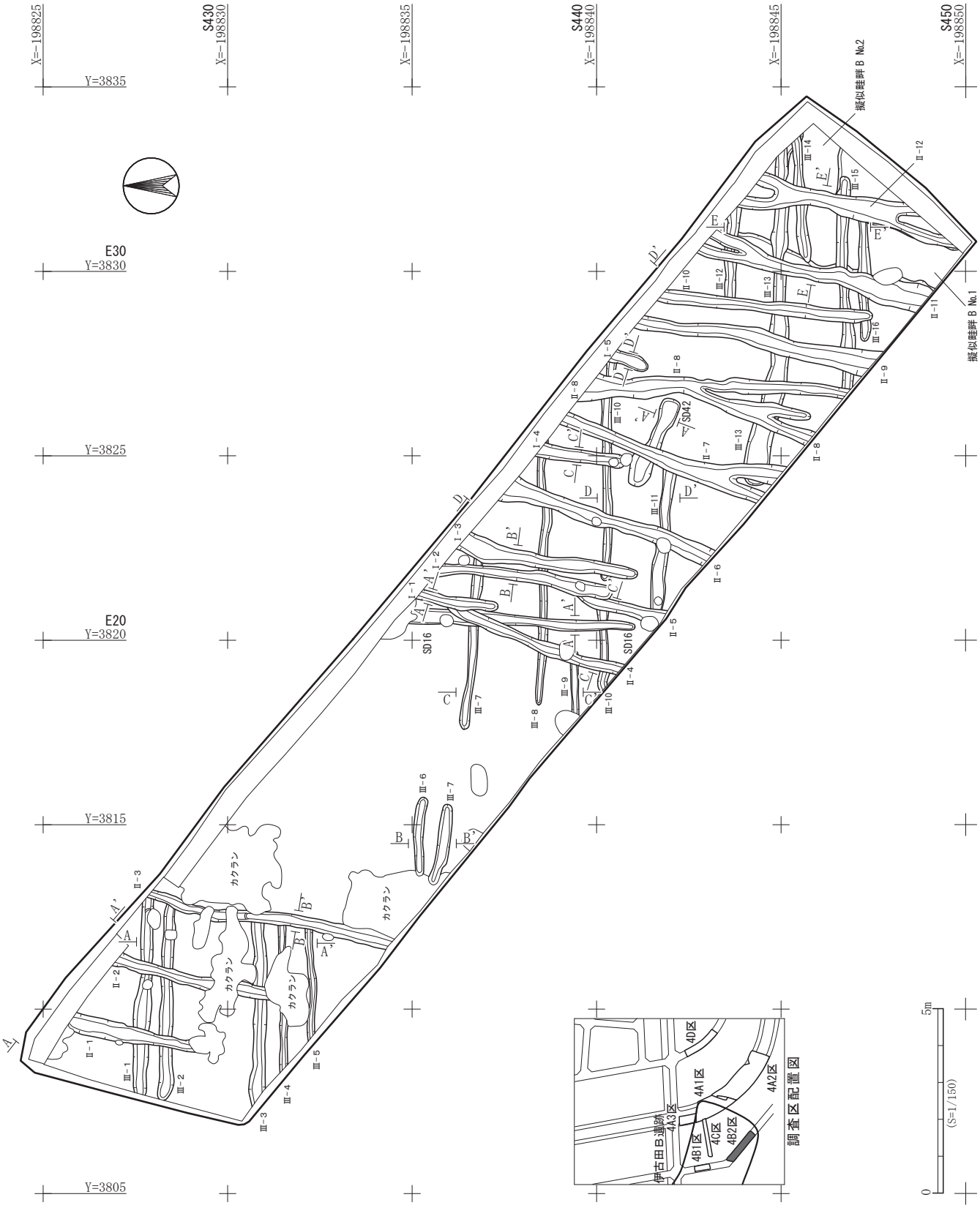
SD48 溝跡（第 41 図）　E20・S430 グリッドで検出した。方向は N-86°-E で、長さ 2.57 m、幅 17 ～ 21cm、深さ 5 ～ 8cm である。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

２）ピット（第 41 図、図版 10）

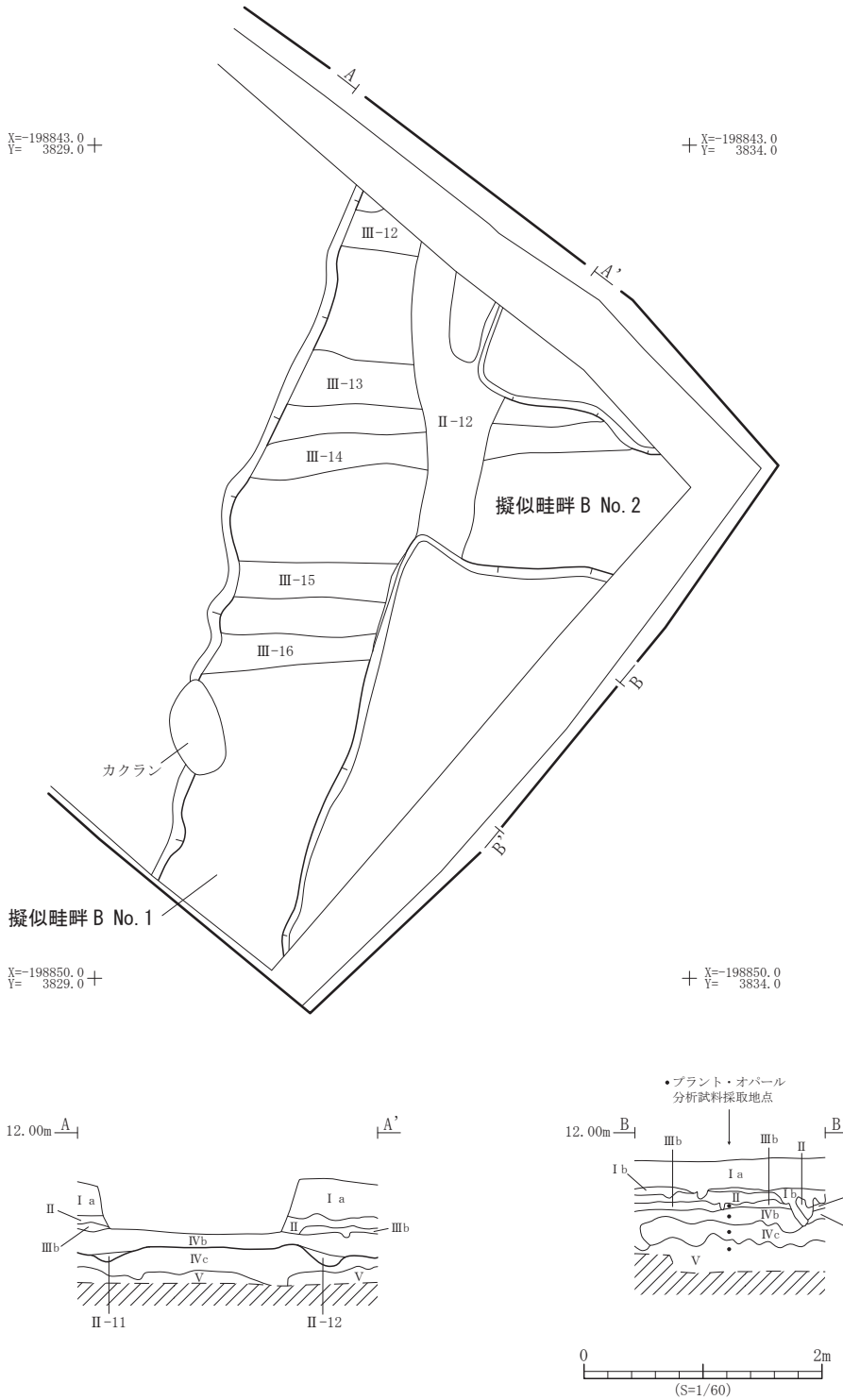
6 基のピット（Ｐ 1 ～ 6）を検出した。W0-E0 ～ E10・S420 ～ 430 グリッドに散漫な分布状況を示す。遺物は出土していない。

（４）遺構外出土遺物（第 42 図、図版 10）

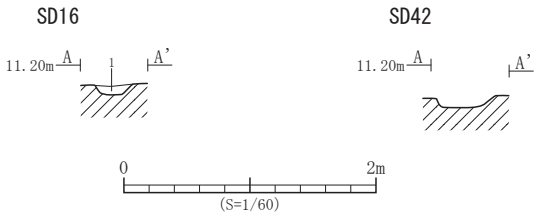
基本層Ⅳｂ層から出土した礫石器 1 点を第 45 図に図示した。凹痕と敲打痕が複合して観察される。



第 37 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｂ２区Ⅳｃ層遺構配置図

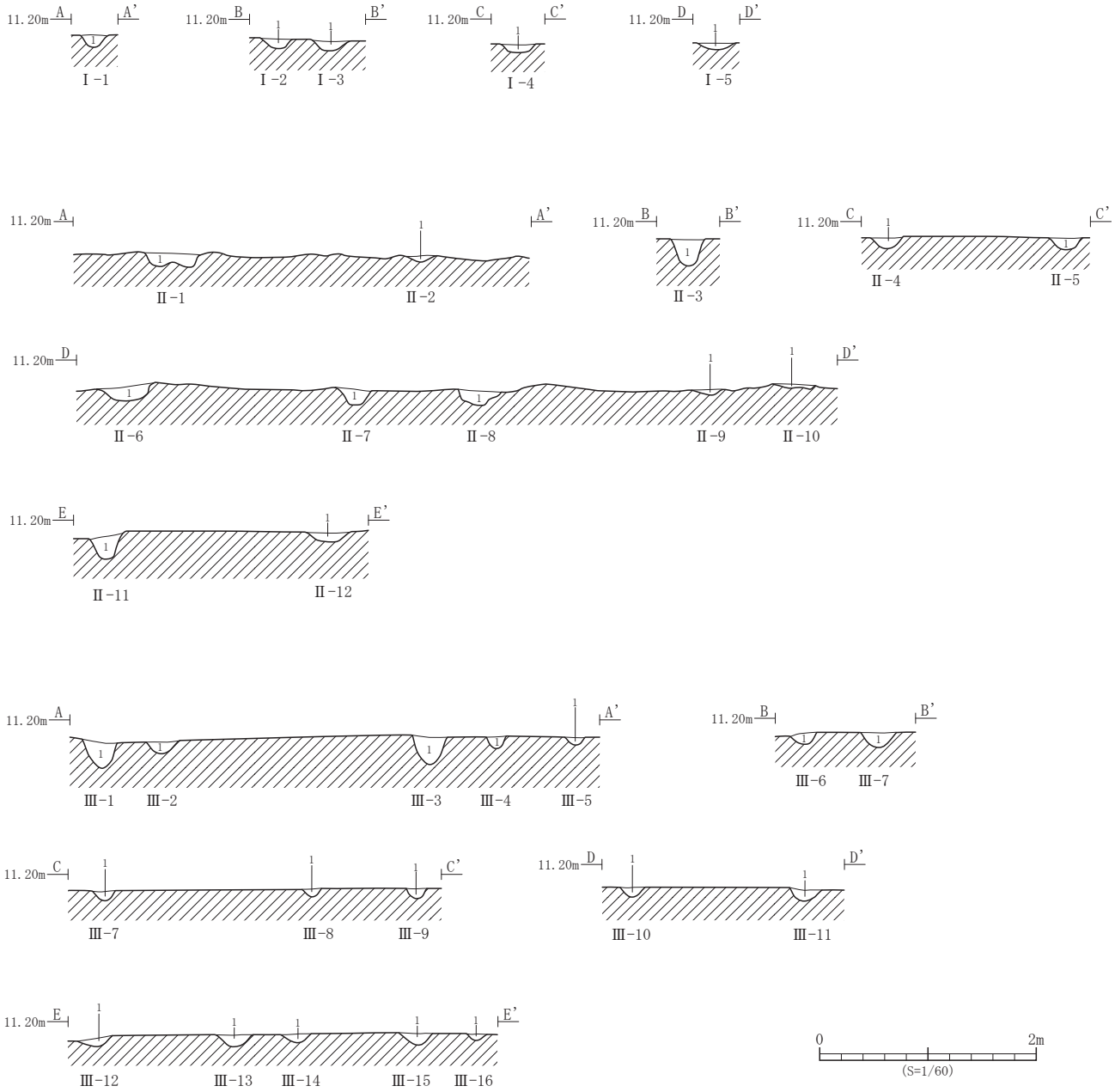


第 38 図　水田跡平面図・断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SD16	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	締りややあり。

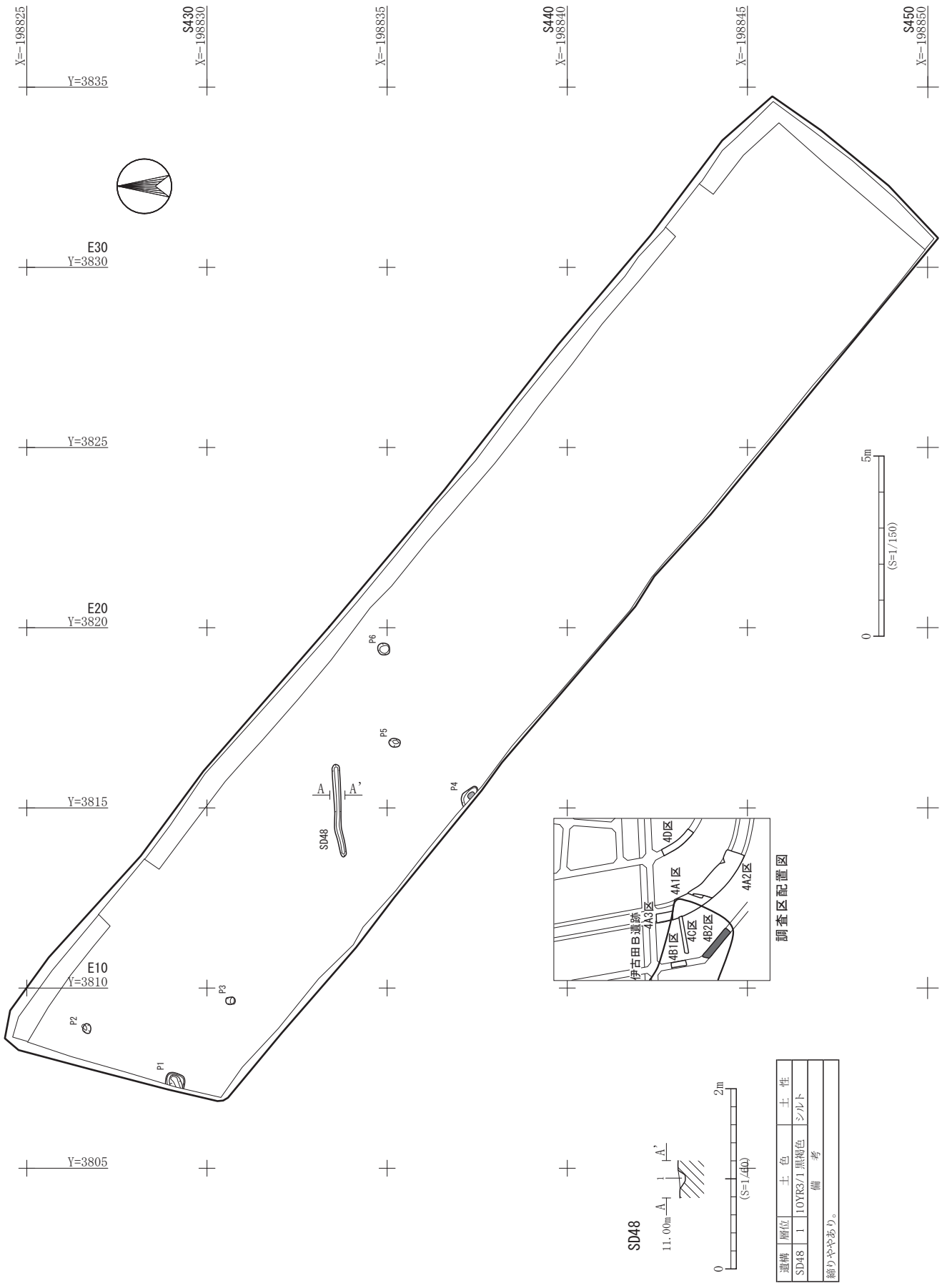
第 39 図　ＳＤ 16・42 溝跡断面図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅰ-1 ～ 18	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	締りややあり。

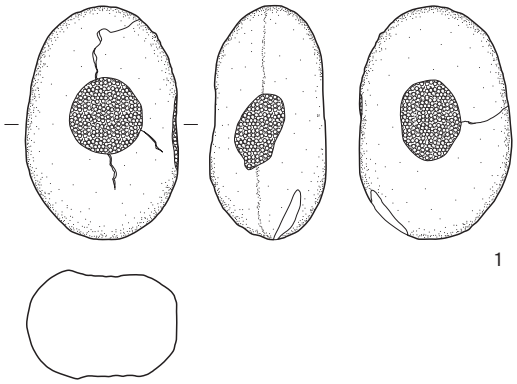
遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅱ-1 ～ 16	1	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	締りややあり。

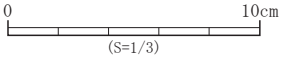
第 40 図　小溝状遺構群断面図



遺構	層位	土色	土性
SD48	1	10YR3/1 黒褐色	シルト
備考			
締りややあり。			

第４１図　伊古田Ｂ遺跡４Ｂ２区Ⅴ層遺構配置図、ＳＤ４８溝跡断面図





№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	石　　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　　考	写真図版
1	Kc-b2-3	4B2	Ⅳb	-	礫石器	凹＋敲	砂岩	9.2 × 6.0 × 4.6　272.86	凹 1+1、敲側 1。	10-16

第 42 図　遺構外出土遺物

６．４Ｃ区の調査

４Ｃ区では、基本層Ⅲ層上面（古代以降の遺構検出面）において、溝跡１条を検出した。Ⅳｂ層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群１群を検出した。Ⅳｃ層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群２群を検出した。

なお、本調査区から水田跡は検出されていないが、４Ｂ２区から水田跡が検出されたことから、本調査区でもプラント・オパール分析を実施した。分析結果については、本節８に掲載している。

（１）Ⅲ層検出の遺構（第 43 図、図版７）

１）溝跡

SD1 溝跡（第 43 図、図版７）　E20 ～ 30・S400 グリッドで検出した。西および東の調査区外へ延びる。本遺構南東側の延長上には、本遺跡４Ａ１区Ⅲ層 SD3 溝跡があり、方向や規模から同一の溝跡と考えられる。方向は N-78° -W で、検出長 10.38 m、幅 81cm ～ 1.02 m、深さ 30cm である。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

（２）Ⅳｂ層検出の遺構と遺物（第 44 図、図版７）

１）小溝状遺構群

畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、１群を検出した。

Ⅰ群（第 44 図、図版７）　E40・S400 グリッドで検出した南北方向の遺構群で、３条の小溝で構成される。方向は N-5 ～ 15° -E で、検出長 1.44 ～ 2.67 m、幅 28 ～ 65cm、深さ７～ 14cm である。小溝の間隔はⅠ -1 とⅠ -2 が 67cm、Ⅰ -2 とⅠ -3 は一部が接しており、掘り直しの可能性が考えられる。堆積土は単層である。遺物はⅠ -1 の堆積土から縄文土器片が出土している。

（３）Ⅳｃ層検出の遺構と遺物（第 45 図、図版 10・14）

１）小溝状遺構群

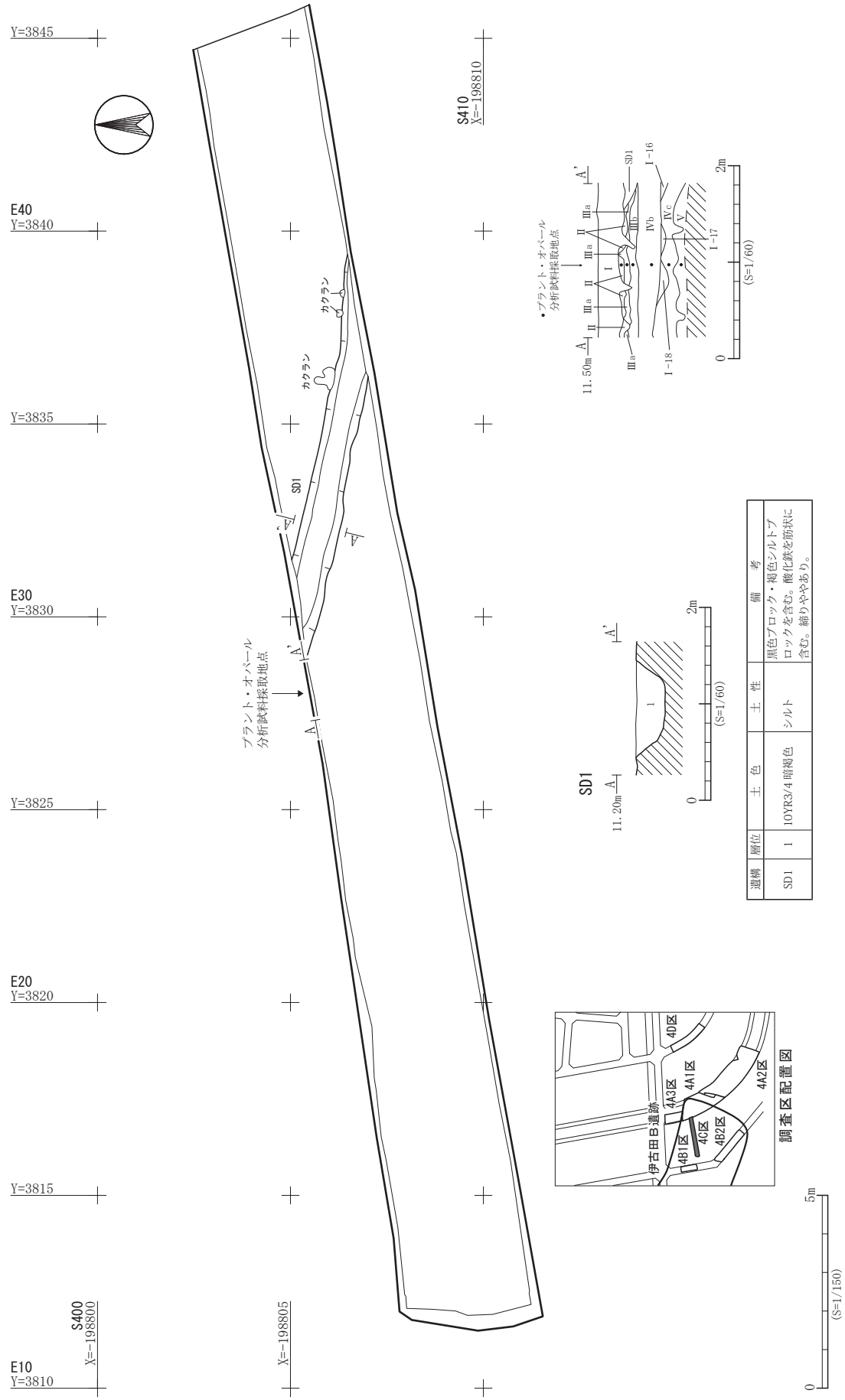
畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からⅠ・Ⅱ群に分けられる。また、重複関係からⅡ群→Ⅰ群の変遷がたどれる。

Ⅰ群（第 45・46 図、図版７）　E10 ～ 40・S400 グリッドで検出した南北方向の遺構群で、22 条の小溝で構成される。方向は N-3 ～ 13° -E で、検出長 1.16 ～ 2.72 m、幅 20 ～ 88cm、深さ１～ 22cm である。小溝の間隔は、4cm ～ 6.39 mである。堆積土は単層である。遺物はⅠ -1 の堆積土から縄文土器が出土している。

Ⅱ群（第 45・46 図、図版７）　E10 ～ 20・S400 グリッドで検出した東西方向の遺構群で、２条の小溝で構成される。方向は N-83 ～ 86° -W で、検出長 8.16 m・8.46 m、幅 30 ～ 50cm、深さ７～ 14cm である。小溝の間隔は、1.66 mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

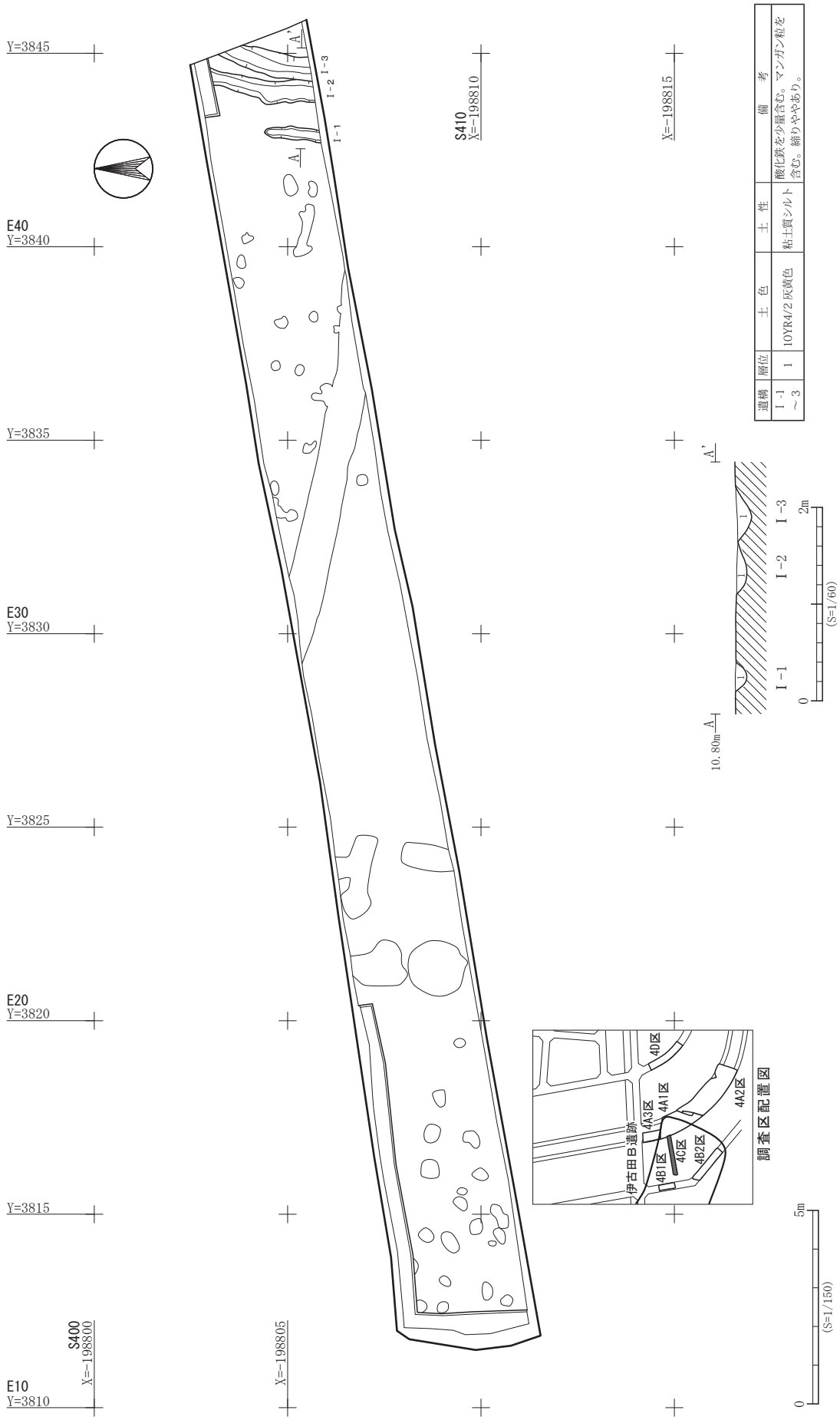
（４）遺構外出土遺物（第 47 図、図版 10）

Ⅳｃ層小溝Ⅰ - １堆積土から出土した縄文土器壺片１点と基本層Ⅳｃ層から出土した縄文土器深鉢１点を第 47 図に図示した。１は波状口縁の破片である。２は外面にＬＲ縄文が回転施文される。



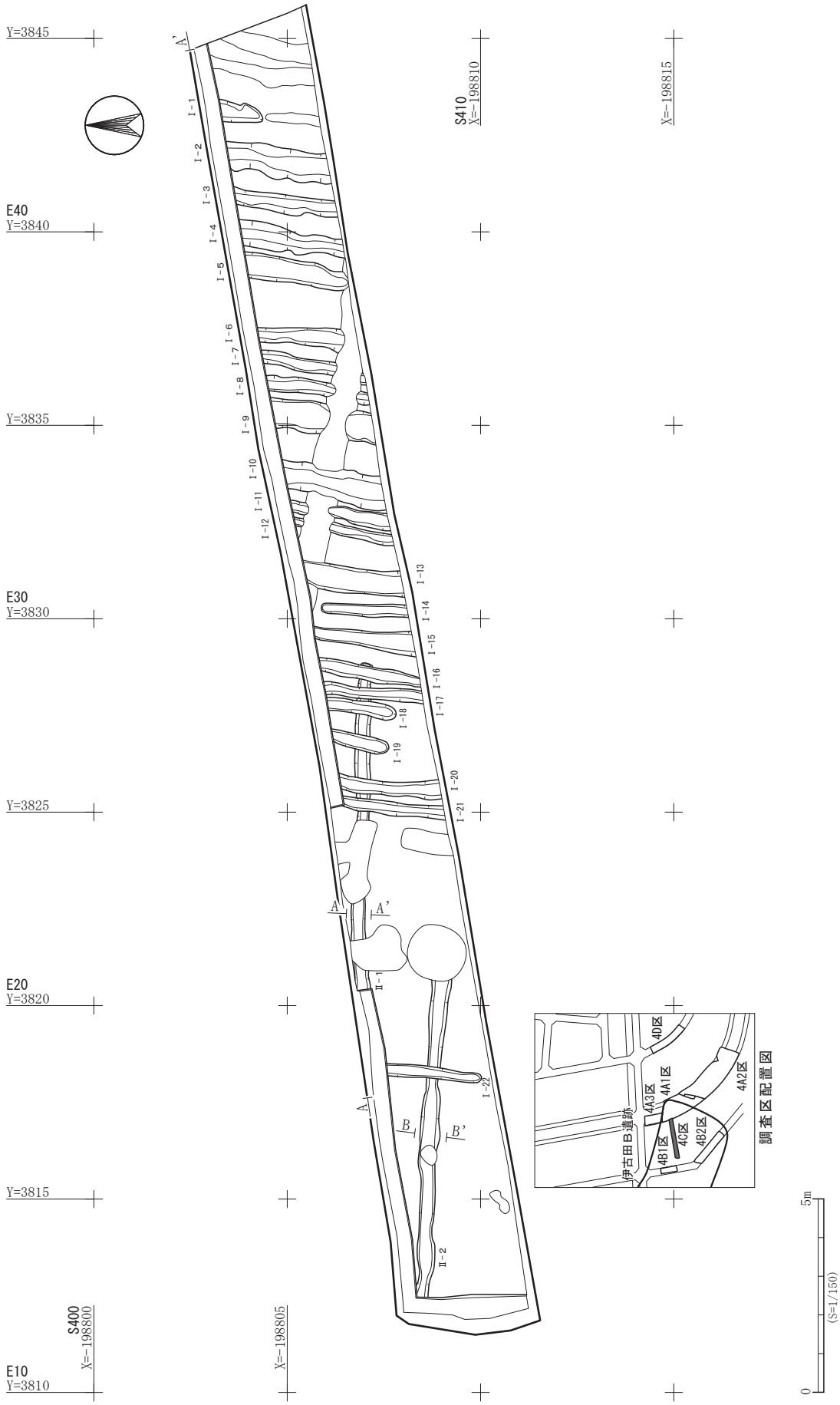
遺構	層位	土色	土性	備考
SD1	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	黒色ブロック・褐色シルトブロックを含む。酸化鉄を斑状に含む。締りややあり。

第 43 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｃ区Ⅲ層遺構配置図・ＳＤ１溝跡断面図・プラント・オパール分析試料採取地点断面図

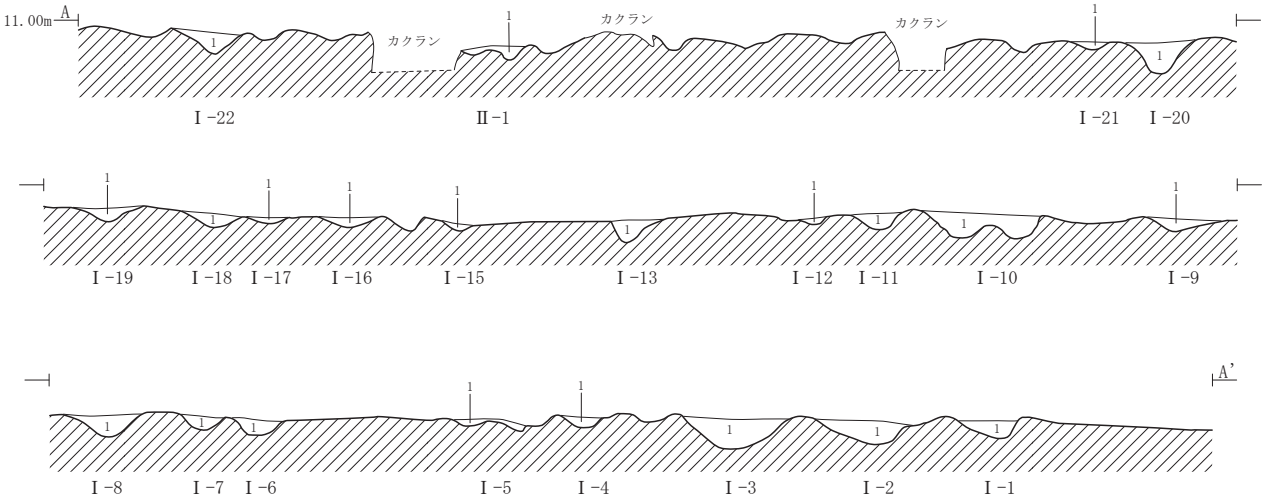


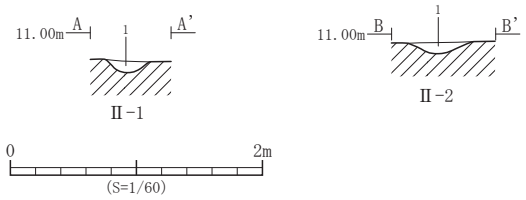
遺構	層位	土色	土性	備考
I-1～3	1	10YR4/2 灰黄色	粘土質シルト	酸化鉄を少量含む。マンガン粒を含む。締りややあり。

第 44 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｃ区Ⅳｂ層遺構配置図・小溝状遺構群断面図



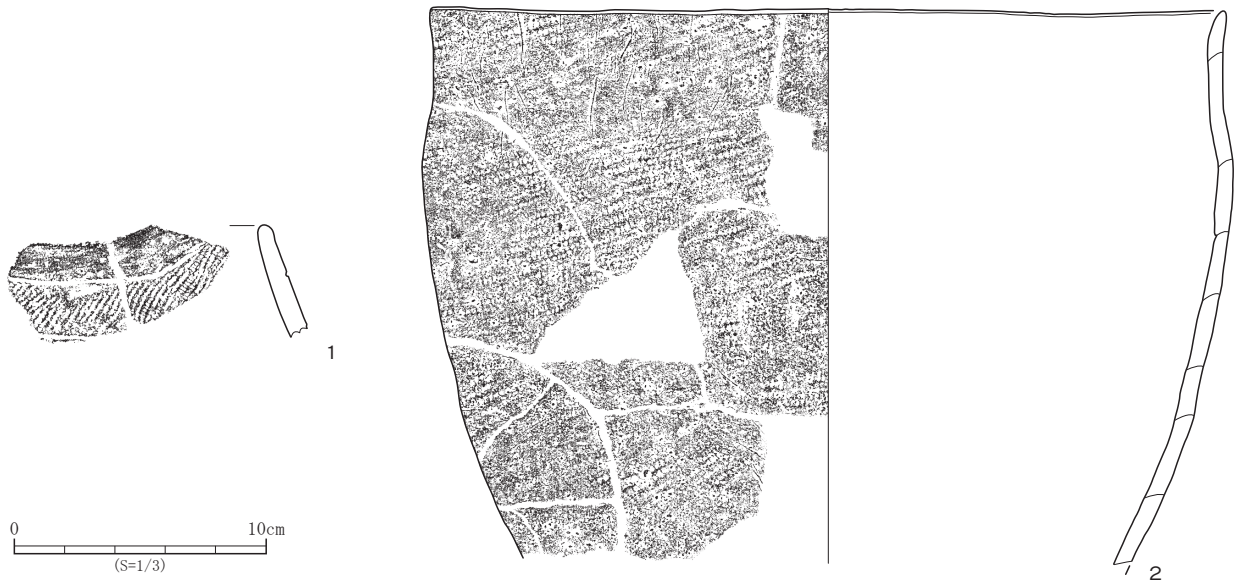
第45図　伊古田Ｂ遺跡４Ｃ区Ⅳｃ層遺構配置図





遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅰ-1 ～21	1	2.5YR4/3 オリーブ褐色	粘土質シルト	酸化鉄を微量含む。マンガン粒を微量含む。締りややあり。
Ⅱ-1 ～2	1	2.5YR4/3 オリーブ褐色	粘土質シルト	酸化鉄を微量含む。マンガン粒を微量含む。締りややあり。

第 46 図　小溝状遺構群断面図



№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-9	4C	Ⅳc	Ⅰ - 1	縄文土器	壺	口縁部 - 波状口縁・沈線文・LR 縄文		10-17
2	A-8	4C	Ⅳc	-	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文	内外面摩滅。	10-18

第 47 図　遺構外出土遺物

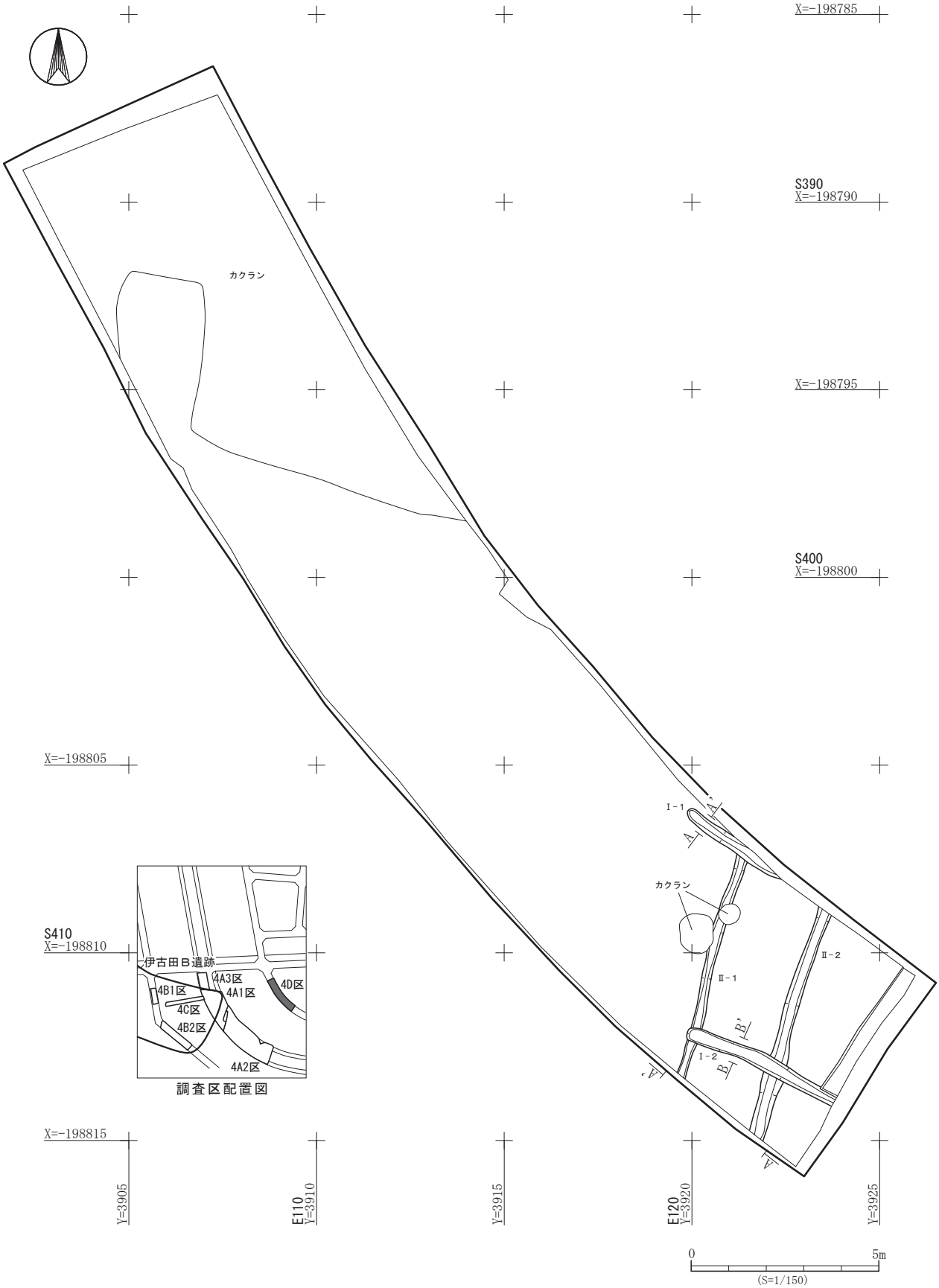
７．４Ｄ区の調査

４Ｄ区では、基本層Ⅳｃ層上面（古代の遺構検出面）において、小溝状遺構群２群を検出した。

（１）Ⅳｃ層検出の遺構と遺物（第 48 図）

１）小溝状遺構群

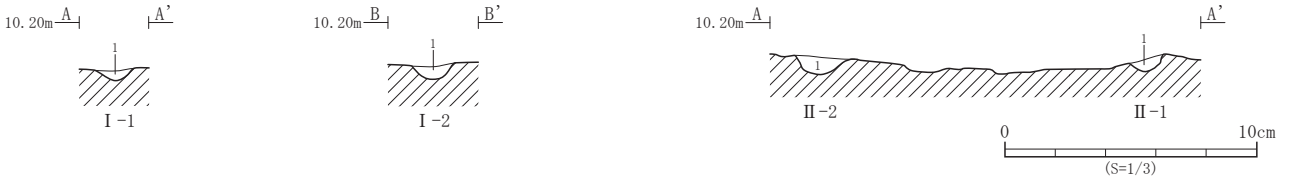
畑耕作の痕跡と考えられる遺構群で、方向と重複関係からⅠ・Ⅱ群に分けられる。また、重複関係からⅡ群→Ⅰ群の変遷がたどれる。



第 48 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｄ区Ⅳｃ層遺構配置図

Ⅰ群（第 48・49 図、図版７）　E110 ～ 120・S400 ～ 410 グリッドで検出した北西から南東方向の遺構群で、２条の小溝で構成される。方向は N-56 ～ 64° -W で、検出長 2.48 m・4.33 m、幅 33 ～ 45cm、深さ 5 ～ 16cm である。小溝の間隔は、4.48 mである。堆積土は単層である。遺物はⅠ -1 の堆積土から縄文土器片が出土している。

Ⅱ群（第 48・49 図、図版７）　E110 ～ 120・S400 ～ 410 グリッドで検出した北東から南西方向の遺構群で、２条の小溝で構成される。方向は N-14 ～ 17° -E で、検出長 6.01 ～ 6.26 m、幅 21 ～ 45cm、深さ 9 ～ 15cm である。小溝の間隔は、2.10 mである。堆積土は単層である。遺物は出土していない。



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅰ-1 ～２	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	酸化鉄、マンガン粒を含む。締りあり。

遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
Ⅱ-1 ～２	1	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	酸化鉄、マンガン粒を含む。締りあり。

第 49 図　小溝状遺構群断面図

８．自然科学分析

（１）仙台市伊古田Ｂ遺跡４Ａ１・２区におけるプラント・オパール分析

株式会社古環境研究所

１）はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸（SiO_2）が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山，2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山，1984）。

伊古田Ｂ遺跡の発掘調査では、複数の層準で畦畔状遺構が検出され、それぞれ当時の水田跡と考えられた。そこで、これらの層における稲作の検証およびその他の層における稲作の可能性を検討する目的で、プラント・オパール分析を行うことになった。

２）試料

調査対象は、４Ａ１区の西壁に設定されたＡ地点とＢ地点、４Ａ２区の南西壁に設定されたＡ地点、Ｂ地点、Ｃ地点の５地点である。各調査区の分析試料は、以下のとおりである。

（１）４Ａ１区

Ａ地点では、上位よりⅡ層（暗灰色粘土質シルト）、Ⅲａ層（灰白色シルト）、Ⅳａ層（褐灰色粘土質シルト、畦畔検出）、Ⅳｂ層（黒褐色粘土質シルト、畦畔検出）、Ⅳｃ層（黒色シルト、畦畔検出）、Ⅴ層（にぶい黄色砂質シルト）の６点、Ｂ地点では、上位よりⅡ層、Ⅲ層、Ⅲｂ層（黄灰色粘土層シルト）、Ⅳａ層、Ⅳｂ層、Ⅴ層の６点の計 12 点が採取された。

（２）４Ａ２区

Ａ地点では、上位よりⅢａ層（にぶい黄褐色粘土）、Ⅲｂ層（褐色粘土）、Ⅳｂ層（暗褐色粘土）、Ⅳｃ層（黒褐色粘土）の４点、Ｂ地点では、上位よりⅢａ層、Ⅲｂ層、Ⅳｂ層、Ⅳｃ層の４点、Ｃ地点では上位よりⅢａ層、Ⅲｂ層、Ⅳｂ層、Ⅳｃ層、Ⅴ層（褐色シルト質粘土）の５点の計 13 点が採取された。

３）分析方法

プラント・オパールの抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて、次の手順で行った。

（１）試料を 105℃で 24 時間乾燥（絶乾）

（２）試料約１ｇに対し直径約 40 μｍのガラスビーズを約 0.02g 添加

（３）電気炉灰化法（550℃・６時間）による脱有機物処理

（４）超音波水中照射（300W・42KHz・10 分間）による分散

（５）沈底法による 20 μ m 以下の微粒子除去

（６）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成

（７）検鏡・計数

同定は、400 倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパールを対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が 400 以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。試料 1 g あたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率を乗じて、試料 1 g 中の植物珪酸体個数を求めた。また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体 1 個あたりの植物体乾重、単位：10^{-5}g）を乗じて、単位面積で層厚 1 cm あたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。イネの換算係数は 2.94、ヨシ属（ヨシ）は 6.31、ススキ属（ススキ）は 1.24、メダケ節は 1.16、ネザサ節は 0.48、チマキザサ節は 0.75、ミヤコザサ節は 0.30 である（杉山，2000）。

４）分析結果

分析試料から検出されたプラント・オパールは、イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科（メダケ節型、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型、その他）および未分類である。また、プラント・オパール以外に海綿骨針も検出された。これらの分類群について定量を行い、その結果を第 1 表と第 2 表に示した。また、検出密度と推定生産量のダイアグラムを第 50 図と第 51 図に示した。主要な分類群については顕微鏡写真を示す。

５）考察

（１）４Ａ１区

畦畔が検出されたⅣ a 層、Ⅳ b 層およびⅣ c 層では、それぞれでイネのプラント・オパールが検出されているものの、プラント・オパール密度は 600 ～ 1,800 個 /g とやや低い値である。稲作跡である可能性を判断する際の基準値は、通常、試料 1 g あたりおよそ 5,000 個 /g 以上の密度でイネ機動細胞プラント･オパールが検出された場合である。ただし、仙台平野における近年の調査例では、プラント・オパール密度が 2,000 ～ 3,000 個 /g の場合であっても水田遺構が検出されている例が多々ある。そこで 3,000 個 /g を基準としてみた場合でも、これらの層では基準値に満たない。こうしたことから、これらの層では調査地において稲作が行われていた可能性を積極的に肯定することはできない。もし稲作が行われていたならば非常に短い期間（数年程度）であったと思われる。

Ⅲ a 層では、A 地点で 3,000 個 /g、B 地点で 4,200 個 /g と稲作跡の判断基準値およびそれを超過している。また、直上層のⅡ層よりも高い密度であることから、上層から後代のプラント・オパールが混入した危険性は考えにくい。こうしたことから、Ⅲ層において稲作が行われていた可能性は高いと考えられる。

Ⅲ b 層では、B 地点でイネのプラント・オパールが 3,000 個 /g の密度で検出された。稲作跡の判断基準値に達していることから、当該層においても稲作が行われていた可能性が考えられる。

Ⅱ層では、両地点ともに 2,400 個 /g の比較的高い密度であることから、調査地もしくは近傍で稲作が行われていた可能性が考えられる。

Ⅴ層からは両地点ともイネのプラント・オパールは検出されないことから、ここで稲作が行われた可能性は認められない。

イネ以外の分類群はいずれも低い密度であることから、イネ科植生あるいは堆積環境は不明であるが、プラント・オパール含有量が少ないことから、イネ科草本の生育しにくい環境であったのかもしれない。

（２）４Ａ２区

上位よりⅢ a 層、Ⅲ b 層、Ⅳ b 層およびⅣ c 層でイネのプラント・オパールが検出された。このうち、Ⅲ a 層では B 地点で 2,400 個 /g と比較的高い密度であり、A 地点と C 地点でも 1,800 個 /g、1,200 個 /g の密度で検出されている。Ⅲ b 層でもすべての地点で検出されており、A 地点で 3,600 個 /g と高い密度であり、B 地点でも 2,400 個 /g と比較的高い密度である。こうしたことから、Ⅲ a 層とⅢ b 層では調査地および周辺で稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。Ⅳ b 層とⅣ c 層については、プラント・オパール密度が 1,000 個 /g 前後と低いことから、ここで稲作が行われていた可能性を積極的に肯定することはできない。Ⅴ層からは４Ａ１区同様イネのプラント・オパールは検出されていない。本調査区でもⅤ層で稲作が行われた可能性は認められない。

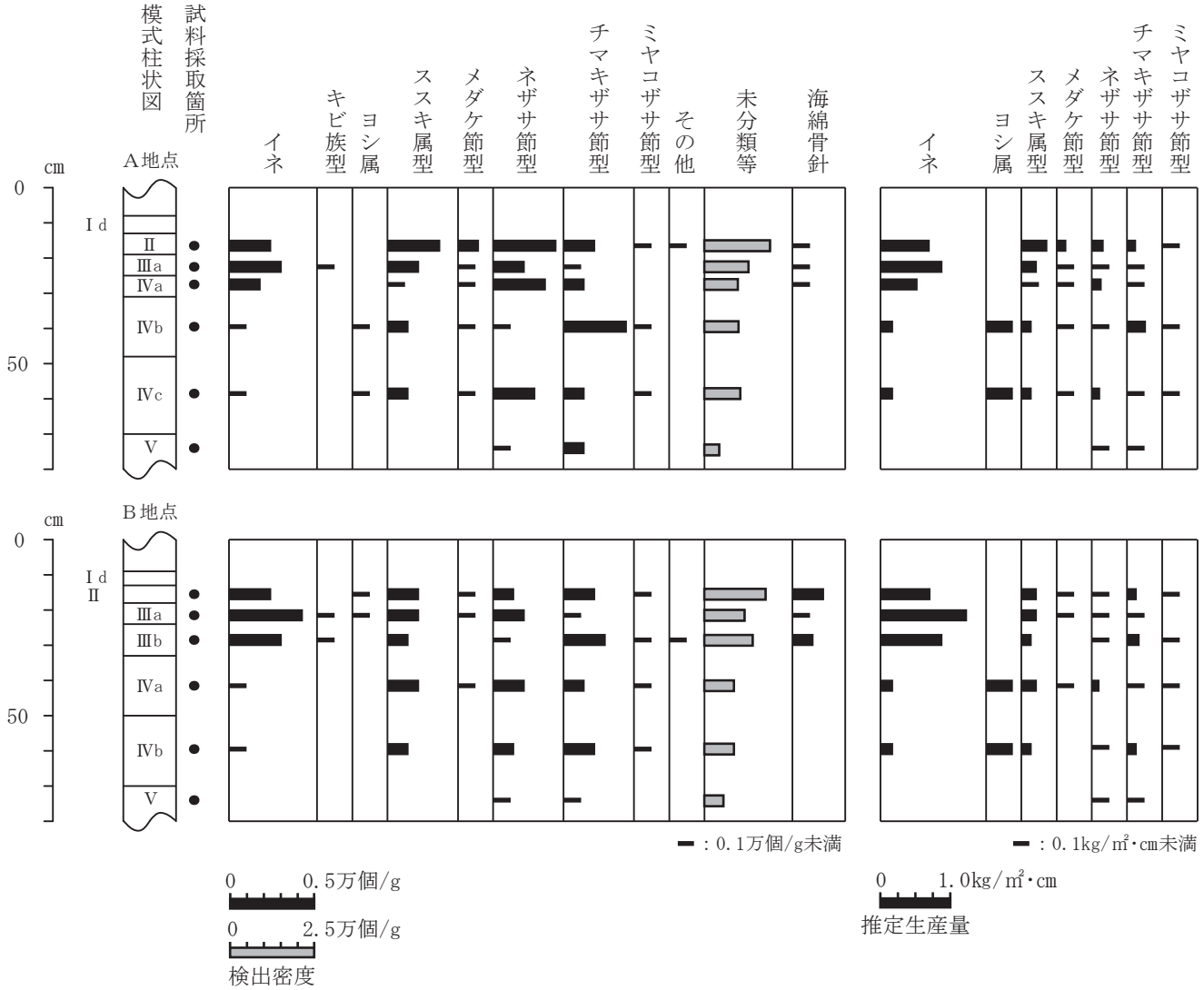
イネ以外の分類群は、Ⅲａ層でススキ属型がやや高い密度である以外はいずれも低い密度である。Ⅲａ層では水田の畦畔や水田の周りの高い所などにススキ属が生育していたと推定される。その他の層については、４Ａ１区同様、イネ科草本の生育には適さない環境であったと推定される。

６）まとめ

伊古田Ｂ遺跡４Ａ１・２区においてプラント・オパール分析を行い、稲作の検証および稲作の可能性について検討した。その結果、４Ａ１区ではⅡ層、Ⅲａ層およびⅢｂ層で、４Ａ２区ではⅢａ層とⅢｂ層でそれぞれ稲作が行われていた可能性が認められた。なお、畦畔が検出された４Ａ１区のⅣａ層、Ⅳｂ層およびⅣｃ層については、イネのプラント・オパールは検出されたものの、プラント・オパール密度は低い値であり、調査地においてはこれらの層で稲作が営まれていた可能性を積極的に肯定することはできなかった。

参考文献

杉山真二（1987）タケ亜科植物の機動細胞珪酸体．富士竹類植物園報告，31，p.70-83.
杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p.189-213.
杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用－古代農耕追究のための基礎資料として－．考古学と自然科学，20，p.81-92.
藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，p.15-29.
藤原宏志（1998）稲作の起源を探る．岩波新書．



第 50 図　伊古田Ｂ遺跡４Ａ１区のプラント・オパール分析結果

第１表　仙台市伊古田Ｂ遺跡４Ａ１区のプラント・オパール分析結果

検出密度（単位：× 100 個 /g）

		４Ａ１区											
		Ａ地点						Ｂ地点					
分類群（和名・学名）＼層　位		Ⅱ	Ⅲa	Ⅳa	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ	Ⅱ	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳa	Ⅳb	Ⅴ
イネ科	Gramineae (Grasses)												
イ　ネ	*Oryza sativa*	24	30	18	6	6		24	42	30	6	6	
キビ族型	*Paniceae* type		6						6	6			
ヨシ属	*Phragmites*				6	6					6	6	
ススキ属型	*Miscanthus* type	30	18	6	12	12		18	18	12	18	12	
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)												
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	12	6	6	6	6		6	6		6		
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	36	18	30	6	24	6	18	12	6	24	12	6
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	18	6	12	36	12	12	18	6	24	12	18	6
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	6			6	6		6		6	6	6	
その他	Others	6								6			
未分類等	Unknown	186	125	95	97	102	42	174	114	137	84	84	54
（海綿骨針）	Sponge	6	6	6				18	6	12			
プラント・オパール総数	Total	318	209	167	175	174	60	264	204	227	162	144	66

おもな分類群の推定生産量（単位：kg /㎡・cm）

イ　ネ	*Oryza sativa*	0.70	0.88	0.53	0.18	0.18		0.71	1.23	0.88	0.18	0.18	
ヨシ属	*Phragmites*				0.38	0.38					0.38	0.38	
ススキ属型	*Miscanthus* type	0.37	0.22	0.07	0.15	0.15		0.22	0.22	0.15	0.22	0.15	
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	0.14	0.07	0.07	0.07	0.07		0.07	0.07		0.07		
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	0.17	0.09	0.14	0.03	0.12	0.03	0.09	0.06	0.03	0.11	0.06	0.03
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	0.13	0.04	0.09	0.27	0.09	0.09	0.14	0.04	0.18	0.09	0.14	0.04
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	0.02			0.02	0.02		0.02		0.02	0.02	0.02	

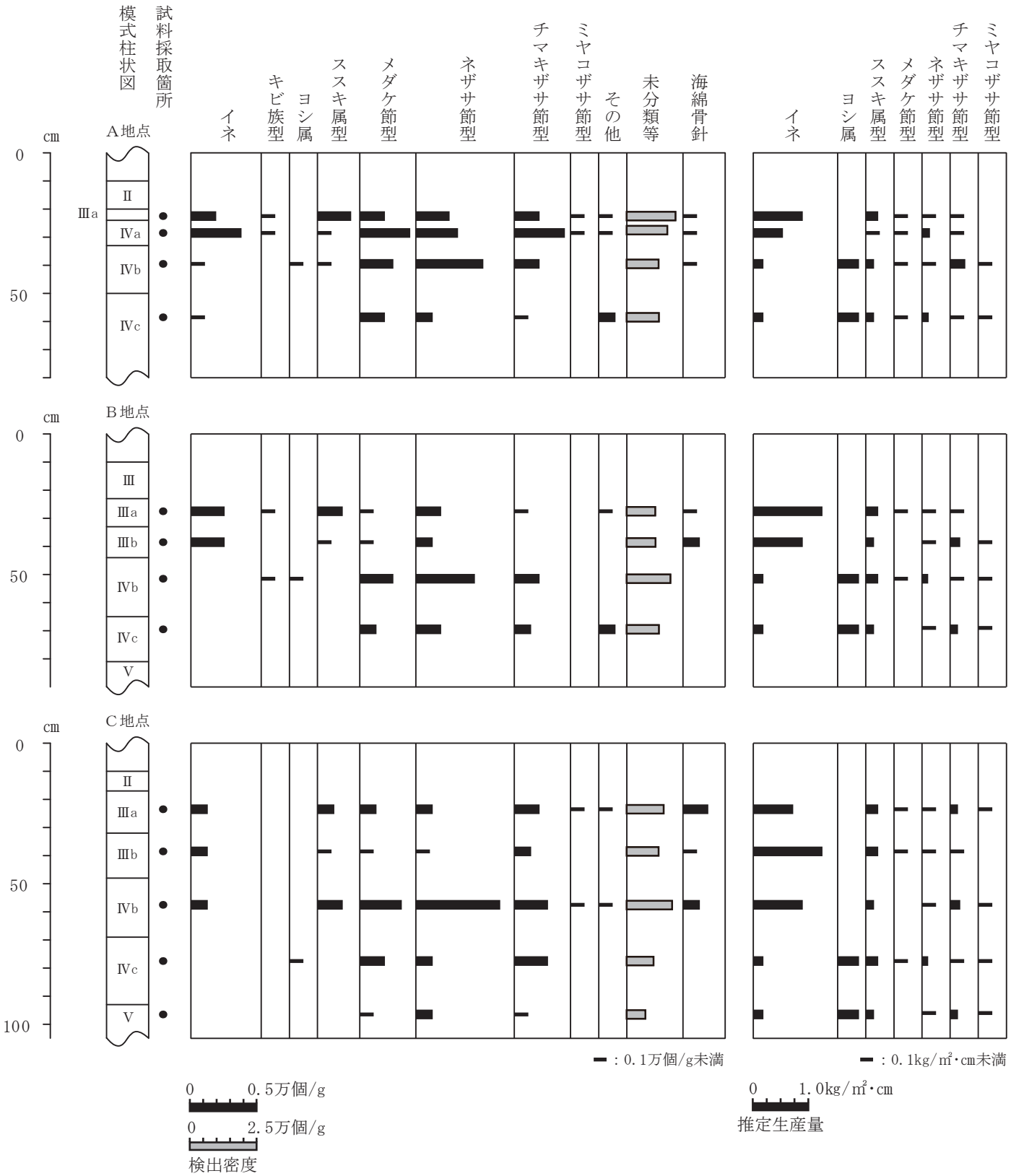
第２表　仙台市伊古田Ｂ遺跡４Ａ２区のプラント・オパール分析結果

検出密度（単位：× 100 個 /g）

		４Ａ２区												
		Ａ地点				Ｂ地点				Ｃ地点				
分類群（和名・学名）＼層　位		Ⅲa	Ⅲb	Ⅳb	Ⅳc	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳb	Ⅳc	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳb	Ⅳc	Ⅴ
イネ科	Gramineae (Grasses)													
イ　ネ	*Oryza sativa*	18	36	6	6	24	24			12	12	12		
キビ族型	*Paniceae* type	6	6			6		6						
ヨシ属	*Phragmites*			6				6					6	
ススキ属型	*Miscanthus* type	24	6	6		18	6			12	6	18		
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)													
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	18	36	24	18	6	6	24	12	12	6	30	18	6
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	24	30	48	12	18	12	42	18	12	6	60	12	12
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	18	36	18	6	6		18	12	18	12	24	24	6
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	6	6							6		6		
その他	Others	6	6		12	6			12	6		6		
未分類等	Unknown	173	144	113	114	101	102	155	114	131	113	161	95	66
（海綿骨針）	Sponge	6	6	6		6		6		6		6		
プラント・オパール総数	Total	293	306	221	168	185	150	251	168	209	155	317	155	90

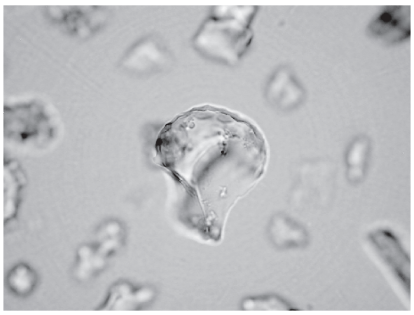
おもな分類群の推定生産量（単位：kg /㎡・cm）

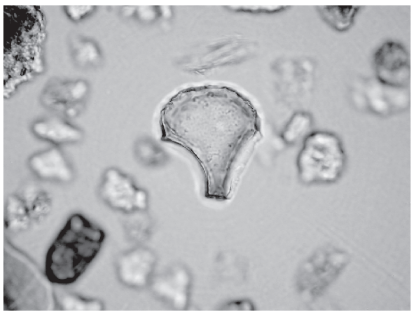
イ　ネ	*Oryza sativa*	0.53	1.06	0.18	0.18	0.70	0.71			0.35	0.35	0.35		
ヨシ属	*Phragmites*			0.38				0.38					0.38	
ススキ属型	*Miscanthus* type	0.30	0.07	0.07		0.22	0.07			0.15	0.07	0.22		
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	0.21	0.42	0.28	0.21	0.07	0.07	0.28	0.14	0.14	0.07	0.35	0.21	0.07
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	0.11	0.14	0.23	0.06	0.09	0.06	0.20	0.09	0.06	0.03	0.29	0.06	0.06
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	0.13	0.27	0.13	0.04	0.04		0.13	0.09	0.13	0.09	0.18	0.18	0.05
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	0.02	0.02							0.02		0.02		

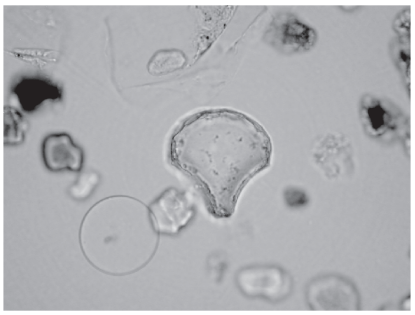


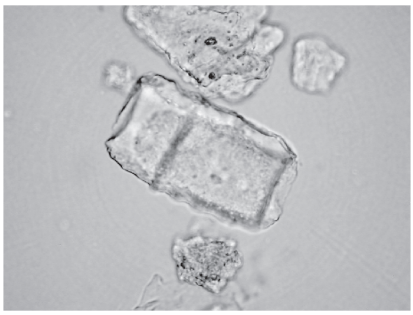
第 51 図　伊古田Ｂ遺跡４Ａ２区のプラント・オパール分析結果

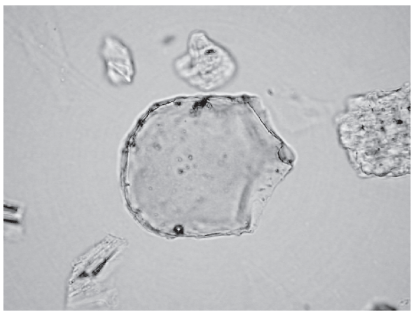
プラント・オパールの顕微鏡写真

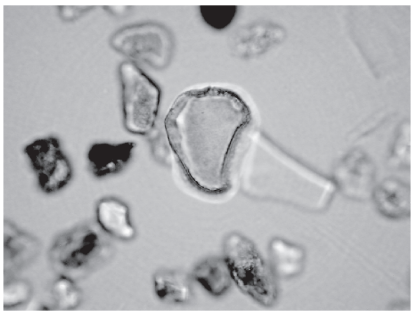

イネ

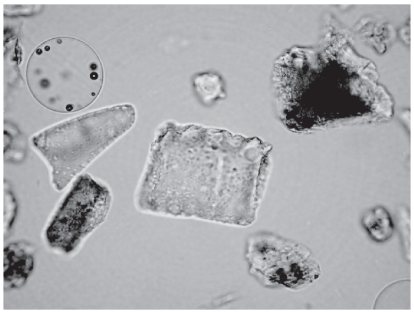

イネ

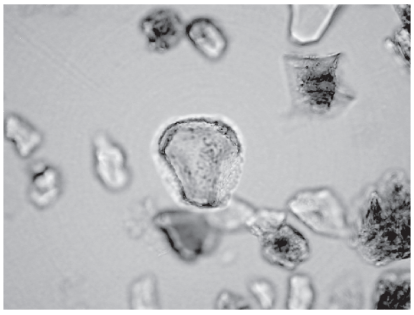

イネ

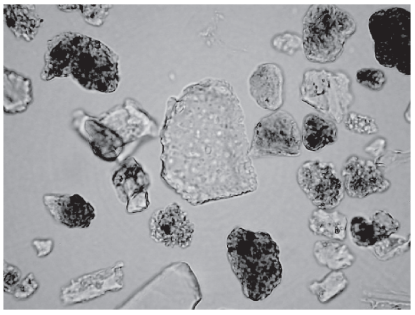

キビ族型

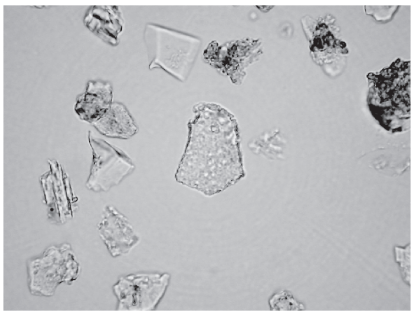

ヨシ属

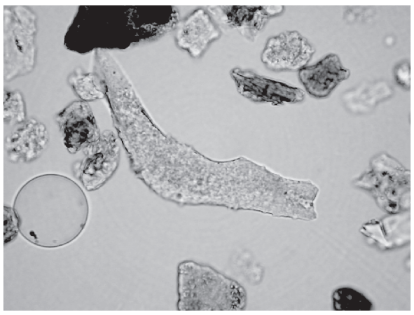

ススキ属型

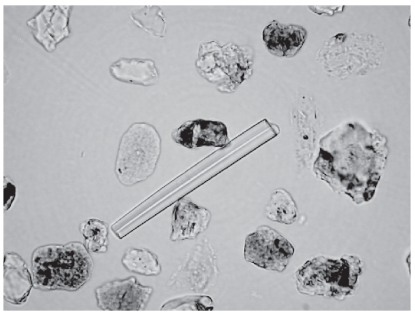

ネザサ節型


メダケ節型


チマキザサ節型


ミヤコザサ節型


その他（樹木起源）


海綿骨針

50μm

（２）仙台市伊古田Ｂ遺跡４Ｂ２区・４Ｃ区におけるプラント・オパール分析

株式会社古環境研究所

１）はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内にガラスの主成分である珪酸（SiO_2）が蓄積したものであり、植物が枯れたあとも微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。プラント・オパール分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山，2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山，1984）。

ここでは、伊古田Ｂ遺跡の４Ｂ２区と４Ｃ区における稲作の可能性を検討する目的で、プラント・オパール分析を行った。

２．試料

調査対象は、４Ｂ２区東壁、４Ｃ区の北壁に設定された①地点と②地点の３地点である。各調査区の分析試料は、以下のとおりである。

（１）４Ｂ２区

上位よりⅢｂ層（にぶい黄褐色シルト）、Ⅳｂ層（灰黄褐色シルト）、Ⅳｃ層（黒褐色シルト）、Ⅴ層（にぶい黄橙色砂質シルト）から４点が採取された。

（２）４Ｃ区

①地点では上位よりⅡ層（黒褐色シルト）、Ⅲａ層（灰黄褐色シルト）、Ⅲｂ層（黄褐色シルト）、Ⅳｂ層（暗オリーブ褐色粘土質シルト）、Ⅳｃ層（黒褐色粘土質シルト）、Ⅴ層（褐色砂質シルト）から６点、Ｂ地点では上位よりⅢａ層、Ⅲｂ層、Ⅳｂ層、Ⅳｃ層、Ⅴ層から５点の計 11 点が採取された。

３．分析方法

プラント・オパールの抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて、次の手順で行った。

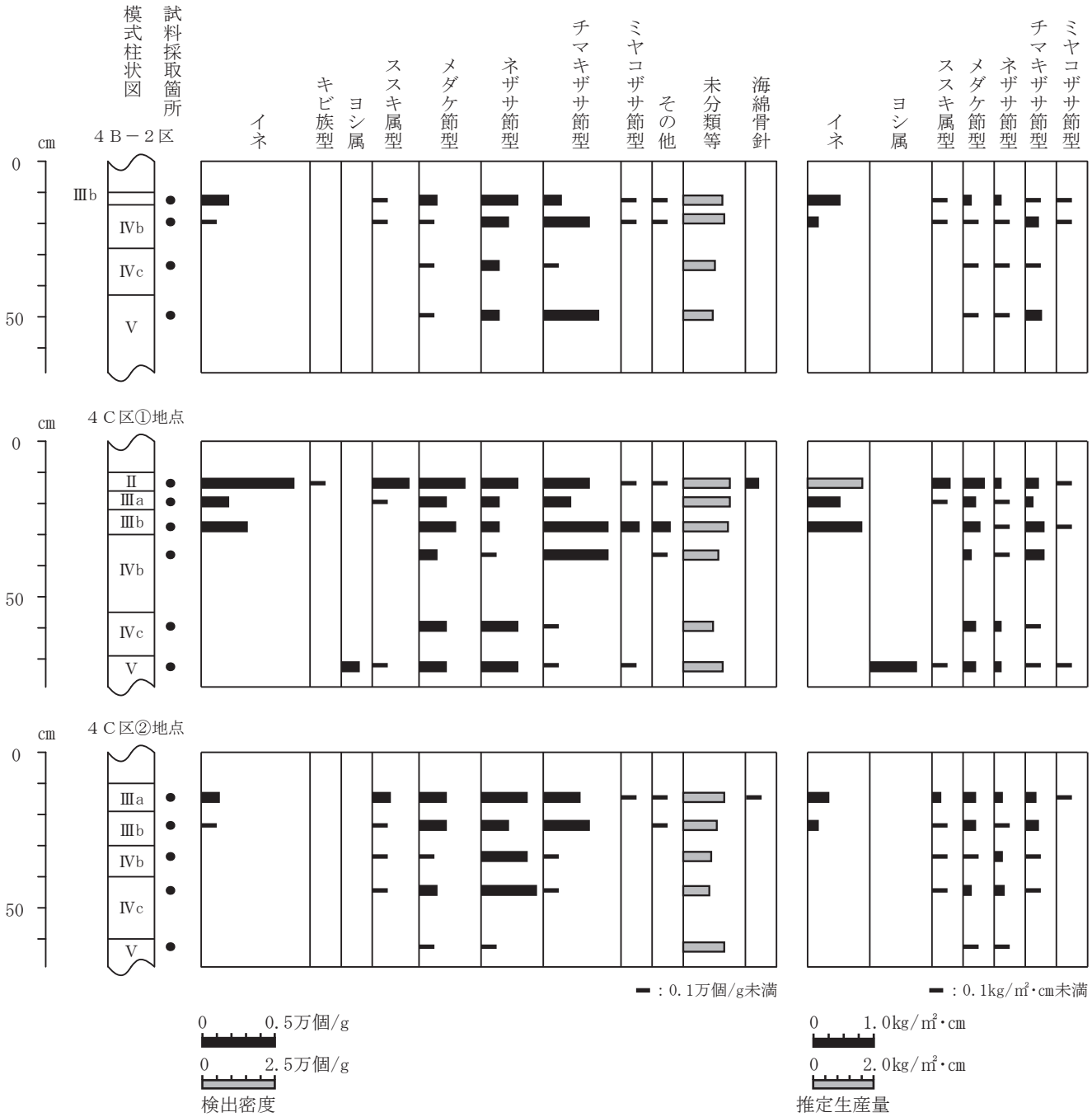
第３表　仙台市伊古田Ｂ遺跡４Ｂ２区・４Ｃ区のプラント・オパール分析結果

検出密度（単位：× 100 個 /g）

		４Ｂ２区				４Ｃ区										
						①地点						②地点				
分類群（和名・学名）＼層　位		Ⅲｂ	Ⅳｂ	Ⅳｃ	Ⅴ	Ⅱ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳｂ	Ⅳｃ	Ⅴ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳｂ	Ⅳｃ	Ⅴ
イネ科	Gramineae (Grasses)															
イ　ネ	*Oryza sativa*	18	6			60	18	30				12	6			
キビ族型	*Paniceae* type					6										
ヨシ属	*Phragmites*										12					
ススキ属型	*Miscanthus* type	6	6			24	6				6	12	6	6	6	
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)															
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	12	6	6	6	30	18	24	12	18	18	18	18	6	12	6
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	24	18	12	12	24	12	12	6	24	24	30	18	30	36	6
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	12	30	6	36	30	18	42	42	6	6	24	30	6	6	
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	6	6			6		12			6	6				
その他	Others	6	6			6		12	6			6	6			
未分類等	Unknown	126	132	102	95	150	150	144	113	96	127	132	108	90	84	132
（海綿骨針）	Sponge					12						6				
プラント・オパール総数	Total	210	210	126	149	336	222	276	179	144	199	240	192	138	144	144

おもな分類群の推定生産量（単位：kg /㎡・cm）

イ　ネ	*Oryza sativa*	0.53	0.18			1.76	0.53	0.88				0.35	0.18			
ヨシ属	*Phragmites*										0.76					
ススキ属型	*Miscanthus* type	0.07	0.07			0.30	0.07				0.07	0.15	0.07	0.07	0.07	
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	0.14	0.07	0.07	0.07	0.35	0.21	0.28	0.14	0.21	0.21	0.21	0.21	0.07	0.14	0.07
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	0.12	0.09	0.06	0.06	0.12	0.06	0.06	0.03	0.12	0.12	0.14	0.09	0.14	0.17	0.03
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	0.09	0.22	0.04	0.27	0.22	0.13	0.31	0.31	0.04	0.05	0.18	0.22	0.04	0.04	
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	0.02	0.02			0.02		0.04			0.02	0.02				



第 52 図　伊古田Ｂ遺跡４Ｂ２区・４Ｃ区のプラント・オパール分析結果

（１）試料を 105℃で 24 時間乾燥（絶乾）
（２）試料約 1 g に対し直径約 40 μ m のガラスビーズを約 0.02g 添加
（３）電気炉灰化法（550℃・６時間）による脱有機物処理
（４）超音波水中照射（300W・42KHz・10 分間）による分散
（５）沈底法による 20 μ m 以下の微粒子除去
（６）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
（７）検鏡・計数

同定は、400 倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来するプラント・オパールを対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が 400 以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。試料 1 g あたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率を乗じて、試料 1

g 中の植物珪酸体個数を求めた。また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体１個あたりの植物体乾重、単位：10^{-5}g）を乗じて、単位面積で層厚１cm あたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。イネの換算係数は 2.94、ヨシ属（ヨシ）は 6.31、ススキ属（ススキ）は 1.24、メダケ節は 1.16、ネザサ節は 0.48、チマキザサ節は 0.75、ミヤコザサ節は 0.30 である（杉山，2000）。

４．分析結果

分析試料から検出されたプラント・オパールは、イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科（メダケ節型、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型、その他）および未分類である。プラント・オパールの他に海綿骨針も検出された。これらの分類群について定量を行い、その結果を第３表に示した。また、検出密度と推定生産量のダイアグラムを第 52 図に示した。主要な分類群については顕微鏡写真を示す。

５．考察

（１）４Ｂ２区

Ⅲｂ層とⅣｂ層でイネのプラント・オパールが検出された。プラント・オパール密度はそれぞれ 1,800 個 /g と 600 個 /g であり、いずれも稲作跡の可能性を判断する際の基準値である 5,000 個 /g には達していない。なお、仙台平野における近年の調査例では、プラント・オパール密度が 2,000 ～ 3,000 個 /g の場合であっても水田遺構が検出された事例が多数報告されていることから、3,000 個 /g 程度の密度であっても稲作の可能性を考える必要がある。この条件でみた場合でも両層は基準値に満たないことから、本調査区ではⅢｂ層およびⅣｂ層で稲作が行われていた可能性を積極的に肯定することはできない。耕作地は近傍であったか、仮に稲作が行われていたとしても、ごく短期間の耕作であったと思われる。

Ⅳｃ層とⅤ層では、イネのプラント・オパールが検出されないことから、稲作が行われた可能性は認められない。

イネ以外の分類群はいずれも低密度であり、イネ科植生および堆積環境を検討することは困難である。プラント・オパール総量が少ないことから、堆積速度が速かったか、イネ科草本の生育に適さない環境であったと推定される。

（２）４Ｃ区

上位よりⅡ層、Ⅲａ層およびⅢｂ層でイネのプラント・オパールが検出された。このうち、Ⅱ層では 6,000 個 /g の高密度であることから、ここで稲作が行われた可能性は極めて高いと判断される。Ⅲａ層では①地点で 1,800 個 /g、②地点で 1,200 個 /g とやや低い密度である。当該層で稲作が行われた可能性はあるものの、直上のⅡ層が高密度であることから、上層から後代のプラント・オパールが混入した危険性も否定できない。

Ⅲｂ層では①地点で 3,000 個 /g の検出密度であり、上述の基準値に達している。さらに、直上のⅢａ層よりも高い密度でありピークとなっていることから、本地点において稲作が行われていた可能性は高いと考えられる。なお、②地点では 600 個 /g の低密度であり、耕作域はここまでは及んでいなかったかもしれない。

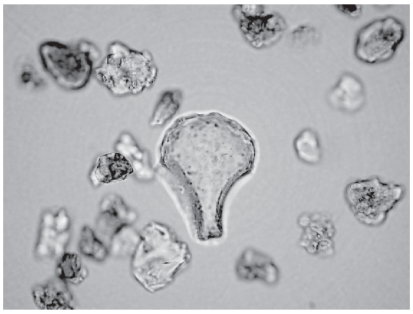
Ⅳｂ層とⅣｃ層およびⅤ層については、イネのプラント・オパールが検出されないことから、本調査区でも稲作が行われた痕跡は認められない。

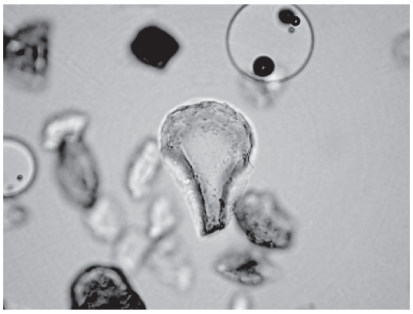
イネ以外の分類群は、①地点のⅡ層でススキ属型が、Ⅴ層でヨシ属がやや高い密度である以外は、いずれも低い密度である。Ⅱ層では、畦畔や水田の近辺の高い所などにススキ属が生育していたと推定される。Ⅴ層では、周辺にヨシ属の生育する湿地があったとみられる。その他の層については、４Ｂ２区と同様に堆積速度が速かったか、イネ科草本が生育しにくいような環境であったと推定される。

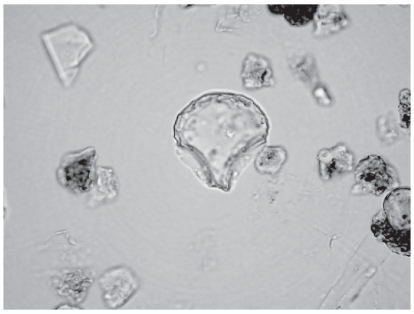
６．まとめ

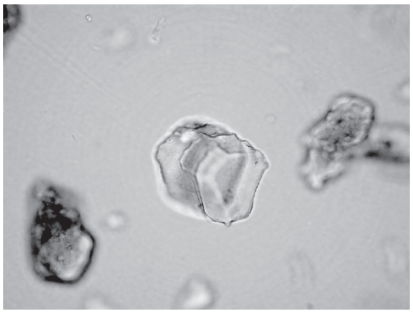
伊古田Ｂ遺跡の４Ｂ２区と４Ｃ区においてプラント・オパール分析を行い、稲作の可能性について検討した。その結果、４Ｃ区のⅡ層とⅢｂ層で稲作が行われていた可能性が高いと推定された。なお、４Ａ１区で畦畔が確認されたⅣｂ層とⅣｃ層では、４Ｂ２区のⅣｂ層でイネがわずかに検出されたのみであり、当該調査区ではこれらの層で稲作が営まれていた痕跡は認められなかった。

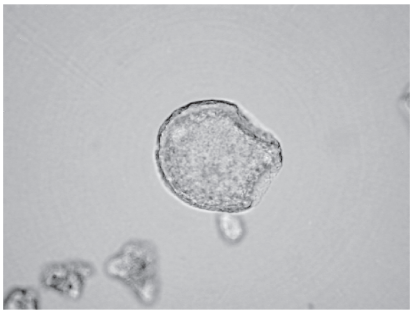
プラント・オパールの顕微鏡写真

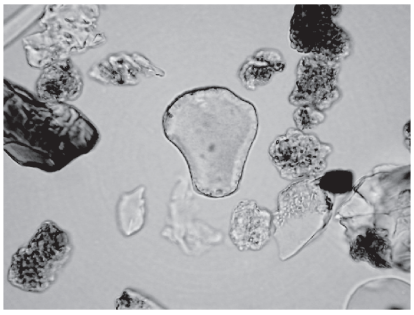

イネ

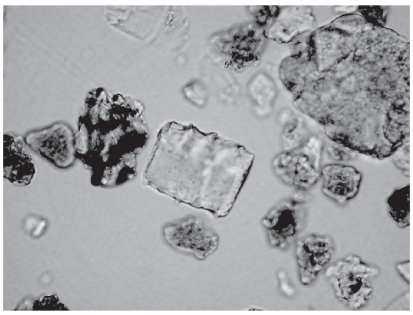

イネ

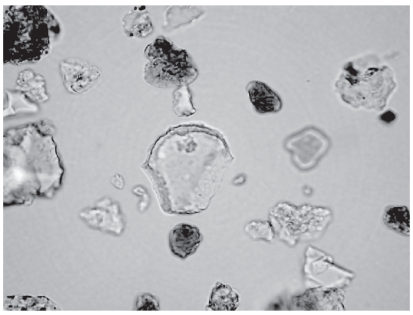

イネ

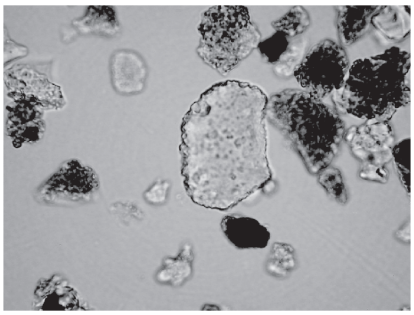

キビ族型

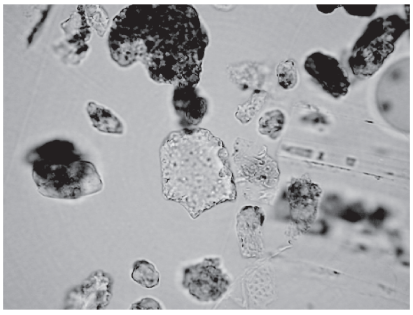

ヨシ属

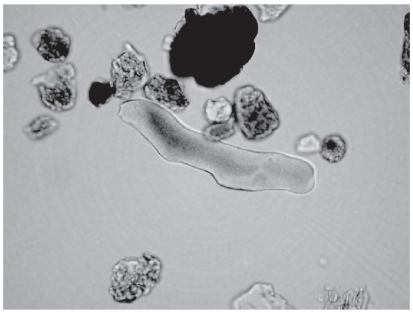

ススキ属型

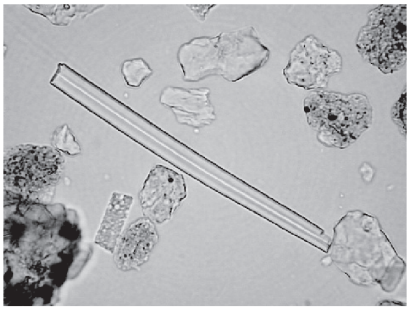

ネザサ節型


メダケ節型


チマキザサ節型


ミヤコザサ節型


その他（樹木起源）


海綿骨針

50μm

参考文献

杉山真二（1987）タケ亜科植物の機動細胞珪酸体．富士竹類植物園報告，31，p.70-83.

杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p.189-213.

杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用－古代農耕追究のための基礎資料として－．考古学と自然科学，20，p.81-92.

藤原宏志（1976）プラント･オパール分析法の基礎的研究（1）－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，p.15-29.

藤原宏志（1998）稲作の起源を探る．岩波新書．

９．まとめ

伊古田Ｂ遺跡は仙台市太白区大野田字イコタにあり、笊川の南側の自然堤防と名取川の北側の自然堤防に挟まれた後背湿地に立地する縄文・古墳時代～古代の遺跡である。平成 21 年度に約 1,922㎡の調査を行い、古墳時代～古代以降の遺構を検出した。

（１）遺構について

１）古代以降の遺構は、Ⅲ層上面で検出した。

４Ａ１区－Ⅲ 層：土坑１基、溝跡６条

４Ａ２区－Ⅲａ層：土壙墓１基、土坑１基、溝跡４条、ピット 56 基

Ⅲｂ層：ピット 12 基

４Ｃ区－ Ⅲ層：溝跡１条

２）古代の遺構は、Ⅳ層上面で検出した。

４Ａ１区－Ⅳｂ層：水田跡、小溝状遺構１群

Ⅳｃ層：水田跡（擬似畦畔Ｂ）

４Ａ２区－Ⅳｃ層：竪穴住居跡１軒、小溝状遺構群３群

４Ｂ１区－Ⅳｂ層：小溝状遺構群２群

４Ｂ２区－Ⅳｂ層：小溝状遺構群１群

Ⅳｃ層：水田跡（擬似畦畔Ｂ）、溝跡２条、小溝状遺構群３群

４Ｃ区－Ⅳｂ層：小溝状遺構群１群

Ⅳｃ層：小溝状遺構群２群

４Ｄ区－Ⅳｃ層：小溝状遺構群２群

３）古墳時代～古代の遺構は、Ⅴ層上面で検出した。

４Ａ１区－掘立柱建物跡１棟、土坑５基、溝跡２条、ピット 37 基

４Ａ２区－ピット６基

４Ａ３区－土坑１基

４Ｂ１区－ピット４基

４Ｂ２区－溝跡１条、ピット６基

４）小溝状遺構群は、４Ａ１・４Ａ２・４Ｂ１・４Ｂ２・４Ｃ・４Ｄ区で検出されている。また、４Ａ１・４Ｂ２区では小溝状遺構群より古い水田跡が検出されている。これらはいずれも古代の遺構と考えられることから、奈良～平安時代の一定期間、本遺跡周辺は食糧生産域であったと考えられる。

（2）遺物について

伊古田Ｂ遺跡からの出土遺物は平箱６箱である。全体的に小破片が多く、図化できる遺物は少ない。

１）縄文時代

４Ａ２・４Ｃ区から後期の深鉢片や壺片、注口土器片が出土している。４Ａ２区から出土した注口土器は貼瘤を伴うものであり、後期後葉の金剛寺式に比定される。石器は、４Ａ２・４Ｂ１区遺構外から打製石器（石鏃）、４Ａ１・４Ｂ２区から礫石器が出土している。

２）古代以降

４Ａ１区Ⅲ層 SD5 から体部下端～底部手持ちヘラケズリの須恵器坏が出土している。

４Ａ２区Ⅳｃ層 SI74 から多くの土師器や須恵器、金属製品（鉄製紡錘車）が出土している。土器はいずれも８世紀前半～中頃と考えられる。

４Ａ２区遺構外から有孔の砥石が出土している。

３）近世以降

４Ａ１区Ⅲ層 SD1 から陶磁器や金属製品と共に土製品（土鈴）が出土している。

４Ａ３区の撹乱からではあるが、陶器片、瓦片、砥石が出土している。

第４表　遺構一覧表（１）

４Ａ１区Ⅲ層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	時　期
SK7	E50・S410	N-23° -E	長軸 [112] ×短軸 97 ×深さ 35	楕円形・箱形	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
SD1	E40 ～ E50・S400	N-76° -W	長さ [12.18] ×幅 0.06 ～ 0.23 ×深さ 0.05	ほぼ直線・逆台形	
SD2	E40 ～ E50・S400	N-88° -W	長さ [3.17] ×幅 0.08 ～ 0.18 ×深さ 0.03	ほぼ直線・逆台形	
SD3	E40 ～ E60・S400 ～ 410	N-79° -W	長さ [19.84] ×幅 1.02 ～ 1.36 ×深さ 0.36	ほぼ直線・U 字形	
SD4	E50 ～ E60・S410	N-81° -E	長さ [10.56] ×幅 0.44 ～ 0.61 ×深さ 0.23	ほぼ直線・U 字形	
SD5	E50 ～ E60・S410 ～ 420	N-16° -E	長さ [19.75] ×幅 1.13 ～ 1.74 ×深さ 0.63	ほぼ直線・逆台形	
SD6	E50・S400	N-76° -W	長さ [5.12] ×幅 0.08 ～ 0.13 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	

４Ａ１区Ⅳｂ層

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	E40・S390	N-10° -E	長さ [1.90] ×幅 0.30 ～ 0.45 ×深さ 0.38	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -2	E40・S390 ～ 400	N-13° -E	長さ [2.93] ×幅 0.22 ～ 0.36 ×深さ 0.22	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -3	E40・S390 ～ 400	N-8° -E	長さ [5.35] ×幅 0.30 ～ 0.38 ×深さ 0.22	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -4	E40・S390 ～ 400	N-9° -E	長さ [3.45] ×幅 0.19 ～ 0.28 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -5	E40・S400	N-5° -E	長さ [2.71] ×幅 0.25 ～ 0.38 ×深さ 0.35	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -6	E40・S390 ～ 400	N-10° -E	長さ [3.03] ×幅 0.27 ～ 0.38 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -7	E40・S390 ～ 400	N-13° -E	長さ [8.90] ×幅 0.17 ～ 0.52 ×深さ 0.17	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -8	E40・S400	N-12° -E	長さ [6.48] ×幅 0.23 ～ 0.40 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -9	E40 ～ E50・S390 ～ 400	N-6° -E	長さ [4.37] ×幅 0.27 ～ 0.76 ×深さ 0.11	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -10	E40・S400	N-16° -E	長さ [4.17] ×幅 0.20 ～ 0.28 ×深さ 0.23	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -11	E40・S400	N-7° -E	長さ [8.75] ×幅 0.20 ～ 0.46 ×深さ 0.25	緩く蛇行・U 字形	
Ⅰ -12	E50・S390	N-6° -E	長さ [4.93] ×幅 0.42 ～ 0.62 ×深さ 0.07	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -13	E40 ～ E50・S400 ～ 410	N-10° -E	長さ [6.35] ×幅 0.15 ～ 0.35 ×深さ 0.35	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -14	E50・S400 ～ 410	N-16° -E	長さ [9.42] ×幅 0.26 ～ 0.35 ×深さ 0.06	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -15	E50・S390 ～ 400	N-7° -E　N-25° -E	長さ [8.60] ×幅 0.23 ～ 0.60 ×深さ 0.12	緩く蛇行・U 字形	
Ⅰ -16	E50・S400 ～ 410	N-5° -E	長さ [9.13] ×幅 0.20 ～ 0.50 ×深さ 0.05	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -17	E50・S400 ～ 410	N-7° -E	長さ 3.55 ×幅 0.26 ～ 0.40 ×深さ 0.11	緩く蛇行・U 字形	
Ⅰ -18	E50・S410	N-0° -E	長さ [1.57] ×幅 [0.70] ×深さ 0.40	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -19	E50・S400 ～ 410	N-1° -W	長さ 3.70 ×幅 0.25 ～ 0.28 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -20	E50・S400	N-7° -E	長さ [7.90] ×幅 0.20 ～ 0.29 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -21	E50・S410	N-0° -E	長さ 2.08 ×幅 0.17 ～ 0.27 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -22	E50・S400	N-10° -E	長さ [7.48] ×幅 0.38 ～ 0.42 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -23	E50・S400	N-0° -E　N-23° -E	長さ [2.75] ×幅 0.12 ～ 0.26 ×深さ 0.09	緩く蛇行・U 字形	
Ⅰ -24	E50・S410	N-3° -E	長さ [4.06] ×幅 0.37 ～ 0.63 ×深さ 0.27	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -25	E50・S400 ～ 410	N-10° -E	長さ [5.80] ×幅 0.22 ～ 0.42 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -26	E50・S410	N-2° -E	長さ 1.78 ×幅 0.17 ～ 0.22 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -27	E50・S390 ～ 410	N-8° -E	長さ [14.50] ×幅 0.20 ～ 0.40 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -28	E50・S390 ～ 410	N-12° -E	長さ [13.98] ×幅 0.32 ～ 0.60 ×深さ 0.09	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -29	E50・S410	N-11° -E	長さ [4.86] ×幅 0.26 ～ 0.48 ×深さ 0.32	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -30	E50・S400	N-10° -E	長さ [7.75] ×幅 0.22 ～ 0.47 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -31	E50・S400	N-10° -E	長さ [8.6] ×幅 0.20 ～ 0.40 ×深さ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -32	E50・S410	N-12° -E	長さ [2.35] ×幅 0.30 ～ 1.35 ×深さ 0.06	不整形・U 字形	
Ⅰ -33	E50・S410	N-3° -E	長さ 2.38 ×幅 0.23 ～ 0..30 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -34	E50・S410	N-10° -E	長さ 3.60 ×幅 0.37 ～ 0.49 ×深さ 0.09	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -35	E50 ～ E60・S400	N-14° -E	長さ [8.20] ×幅 0.25 ～ 0.40 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -36	E60・S400	N-6° -E	長さ [2.65] ×幅 0.22 ～ 0.32 ×深さ 0.09	緩く蛇行・U 字形	
Ⅰ -37	E60・S400 ～ 410	N-5° -E	長さ [9.68] ×幅 0.45 ～ 0.58 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -38	E60・S400 ～ 410	N-9° -E	長さ [1.58] ×幅 0.23 ～ 0.34 ×深さ 0.06	ほぼ直線・U 字形	

４Ａ１区Ⅳｂ層

水田跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
段差№ 1	E40 ～ 60・S400	N-70° -W	長さ [13.28] ×高さ 0.03 ～ 0.09	ほぼ直線・台形	8 世紀後半～9 世紀代
畦畔№ 2	E40 ～ 50・S410	N-78° -W	長さ [9.33] ×幅 1.25 ～ 3.15 ×高さ 0.10 ～ 0.18	ほぼ直線・台形	
畦畔№ 3	E50・S400 ～ 420	N-10 ～ 15° -E	長さ [16.05] ×幅 0.58 ～ 1.55 ×高さ 0.11 ～ 0.26	やや蛇行・台形	
畦畔№ 4	E50・S400	N-23° -E	長さ [3.27] ×幅 0.58 ～ 0.73 ×高さ 0.02 ～ 0.08	ほぼ直線・台形	

４Ａ１区Ⅳｃ層

水田跡（擬似畦畔Ｂ）

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
擬似畦畔Ｂ№ 1	E40 ～ 60・S400	N-83° -W	長さ [16.90] ×幅 1.23 ～ 1.73 ×高さ 0.01 ～ 0.08	ほぼ直線・台形	
擬似畦畔Ｂ№ 2	E40 ～ 50・S410	N-76° -W	長さ [9.25] ×幅 2.09 ～ 2.31 ×高さ 0.02 ～ 0.08	ほぼ直線・台形	
段差№ 3	E50・S400 ～ 420	N-15° -E	長さ [7.50] ×高さ 0.04 ～ 0.09	ほぼ直線・台形	

４Ａ１区Ⅴ層

掘立柱建物跡

遺構番号	位置（グリッド）	主軸方位	柱間数	建物規模（m）	時　期
SB53	E50・S410 ～ 420	N-5° -E（東側柱列）	東西２間×南北２間	3.44 ～ 3.58 × 3.46 ～ 3.72	

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	時　期
SK48	E50・S400	N-39° -W	長軸 161 ×短軸 104 ×深さ 23	楕円形・皿状	
SK49	E50・S400	-	東西 325 ×南北 316 ×深さ 41	不整形・柄杓形	
SK50	E50・S400	N-56° -W	長軸 163 ×短軸 70 ×深さ 15	不整隅丸長方形・逆台形	
SK51	E60・S410	N-81° -E	長軸 178 ×短軸 152 ×深さ 40	不整楕円形・逆台形	
SK52	E50・S420	N-32° -E	長軸 77 ×短軸 65 ×深さ 33	円形・逆台形	

第５表　遺構一覧表（２）

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
SD54	E60・S420	N-78° -W・N-23° -E	長さ [4.49] ×幅 0.19 ～ 0.28 ×深さ 0.06	L 字状・逆台形	
SD55	E60・S410	N-6° -E	長さ [2.04] ×幅 0.29 ～ 0.36 ×深さ 0.10	直線・逆台形	

４Ａ２区Ⅲａ層

土壙墓

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
SX1	E70・S420	N-4° -E（墓壙）	長軸 2.21 ×短軸 1.01 ×深さ 0.56	隅丸長方形・逆台形	
		N-8° -E（周溝）	外縁幅 4.43 ～ 4.84 ×内縁幅 3.48 ～ 3.89 ×溝幅 0.50 ～ 0.74 ×深さ 0.18 ～ 0.33	隅丸方形・逆台形	

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	時　期
SK4	E70・S440	N-15° -E	長軸 79 ×短軸 61 ×深さ 36	隅丸長方形・逆台形	

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
SD2	E100・S440 ～ 450	N-20° -E　N-57° -W	長さ [12.86] ×幅 0.62 ～ 0.98 ×深さ 0.40	L 字形・逆台形	
SD3	E60 ～ 70・S430 ～ 440	N-3 ～ 72° -W	長さ 20.21 ×幅 0.18 ～ 0.76 ×深さ 0.13	緩い弧状・逆台形	
SD5	E100・S440 ～ 450	N-13° -W	長さ 8.36 ×幅 0.10 ～ 0.23 ×深さ 0.06	ほぼ直線・U 字形	
SD6	E80・S430	N-4° -W	長さ 4.04 ×幅 0.13 ～ 0.43 ×深さ 0.04	緩く蛇行・皿状	

４Ａ２区Ⅳｃ層

竪穴住居跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	カマド	時　期
SI74	E70・S430	N-9° -W（新カマド軸）	東西 5.20 ×南北 4.70	東壁南寄り（新）・北壁中央（旧）	8 世紀前半～中頃

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	E70・S420	N-75° -W	長さ [2.83] ×幅 0.13 ～ 0.18 ×深さ 0.06	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -2	E60 ～ 70・S420	N-73° -W	長さ [11.22] ×幅 0.22 ～ 0.30 ×深さ 0.05	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -3	E70・S420	N-88° -W	長さ [0.16] ×幅 0.22 ～ 0.25 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -4	E60 ～ 70・S420	N-78° -W	長さ [15.25] ×幅 0.18 ～ 0.52 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -5	E70 ～ 80・S420	N-79° -W	長さ 2.80 ×幅 0.13 ～ 0.22 ×深さ 0.06	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -6	E60 ～ 70・S420 ～ 430	N-78° -W	長さ [13.75] ×幅 0.25 ～ 0.45 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -7	E60 ～ 80・S430	N-86° -W	長さ [13.45] ×幅 0.17 ～ 0.32 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -8	E70 ～ 80・S430	N-77° -W	長さ [8.12] ×幅 0.15 ～ 0.42 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -9	E60 ～ 80・S430	N-77° -W　N-69° -W	長さ [13.75] ×幅 0.17 ～ 0.37 ×深さ 0.03	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -10	E70 ～ 80・S430	N-74° -W	長さ [5.72] ×幅 0.28 ～ 0.37 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -11	E60 ～ 90・S430 ～ 440	N-69° -W　N-81° -W	長さ [23.2] ×幅 0.18 ～ 0.42 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -12	E60 ～ 80・S430	N-83° -W	長さ [13.01] ×幅 0.17 ～ 0.32 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -13	E60 ～ 90・S430 ～ 440	N-74° -W　N-82° -W	長さ [20.03] ×幅 0.22 ～ 0.52 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -14	E70 ～ 80・S430 ～ 440	N-72° -W　N-77° -W	長さ [15.35] ×幅 0.27 ～ 0.52 ×深さ 0.15	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -15	E60 ～ 80・S430 ～ 440	N-80° -W	長さ [11.77] ×幅 0.17 ～ 0.30 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -16	E70・S440	N-84° -W	長さ [7.20] ×幅 0.15 ～ 0.24 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -17	E70・S440	N-75° -W　N-81° -W	長さ [4.88] ×幅 0.15 ～ 0.24 ×深さ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -1	E60 ～ 70・S430	N-74° -W	長さ [3.17] ×幅 0.27 ～ 0.38 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -2	E60 ～ 70・S430	N-72° -W	長さ [2.06] ×幅 0.25 ～ 0.30 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -3	E80・S440	N-69° -W	長さ [9.65] ×幅 0.26 ～ 0.40 ×深さ 0.16	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -4	E70 ～ 80・S440	N-73° -W　N-61° -W	長さ [11.30] ×幅 0.20 ～ 0.60 ×深さ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -5	E80 ～ 90・S440 ～ 450	N-65° -W	長さ [11.85] ×幅 0.27 ～ 0.45 ×深さ 0.17	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -6	E70 ～ 90・S440 ～ 450	N-66° -W	長さ [13.85] ×幅 0.23 ～ 0.40 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -7	E70 ～ 90・S440 ～ 450	N-61° -W　N-67° -W	長さ [16.10] ×幅 0.22 ～ 0.37 ×深さ 0.13	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -8	E80 ～ 90・S450	N-65° -W	長さ [7.45] ×幅 0.23 ～ 0.32 ×深さ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -1	E60 ～ 70・S420 ～ 430	N-22° -E	長さ [7.75] ×幅 0.24 ～ 0.40 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -2	E70・S420	N-12° -E	長さ [4.95] ×幅 0.27 ～ 0.41 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -3	E70・S420	N-19° -E	長さ [2.70] ×幅 0.22 ～ 0.30 ×深さ 0.06	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -4	E70・S420	N-16° -E	長さ [3.01] ×幅 0.20 ～ 0.36 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -5	E70・S420 ～ 440	N-16° -E　N-24° -E	長さ [12.43] ×幅 0.25 ～ 0.35 ×深さ 0.17	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -6	E70 ～ 80・S420 ～ 440	N-16° -E　N-21° -E	長さ [12.63] ×幅 0.17 ～ 0.47 ×深さ 0.13	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -7	E70 ～ 80・S420 ～ 440	N-14° -E　N-22° -E	長さ [18.08] ×幅 0.27 ～ 0.45 ×深さ 0.22	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -8	E70 ～ 80・S430 ～ 440	N-21° -E　N-30° -E	長さ [7.97] ×幅 0.25 ～ 0.43 ×深さ 0.17	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -9	E80・S430 ～ 440	N-13° -E　N-19° -E	長さ [12.48] ×幅 0.28 ～ 0.45 ×深さ 0.22	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -10	E80・S430 ～ 450	N-19° -E	長さ [15.83] ×幅 0.27 ～ 0.45 ×深さ 0.13	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -11	E80・S430 ～ 440	N-19° -E	長さ [5.32] ×幅 0.23 ～ 0.31 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -12	E80・S430 ～ 440	N-31° -E　N-28° -E	長さ [8.42] ×幅 0.26 ～ 0.40 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -13	E80 ～ 90・S440 ～ 450	N-24° -E　N-27° -E	長さ [8.90] ×幅 0.27 ～ 0.38 ×深さ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -14	E80・S440 ～ 450	N-24° -E	長さ [9.07] ×幅 0.23 ～ 0.37 ×深さ 0.90	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -15	E80 ～ 90・S440 ～ 450	N-22° -E	長さ [7.95] ×幅 0.27 ～ 0.40 ×深さ 0.15	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -16	E80 ～ 90・S440 ～ 450	N-25° -E	長さ [8.62] ×幅 0.22 ～ 0.38 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -17	E90・S440 ～ 450	N-26° -E	長さ [11.69] ×幅 0.30 ～ 0.36 ×深さ 0.17	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -18	E90・S440 ～ 450	N-26° -E	長さ [2.58] ×幅 0.25 ～ 0.35 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -19	E90 ～ 100・S440 ～ 450	N-30° -E	長さ [3.35] ×幅 0.28 ～ 0.35 ×深さ 0.18	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -20	E100・S440 ～ 450	N-31° -E	長さ [2.55] ×幅 0.32 ～ 0.40 ×深さ 0.20	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -21	E100・S440 ～ 450	N-26° -E	長さ [3.68] ×幅 0.27 ～ 0.37 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -22	E90 ～ 100・S440 ～ 450	N-24° -E　N-34° -E	長さ [11.00] ×幅 0.13 ～ 0.38 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -23	E100・S450	N-24° -E	長さ [2.84] ×幅 0.22 ～ 0.25 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -24	E100・S440 ～ 450	N-24° -E	長さ [13.50] ×幅 0.30 ～ 0.45 ×深さ 0.24	ほぼ直線・U 字形	

第６表　遺構一覧表（３）

４A3 区Ⅴ層

土坑

遺構番号	位置（グリッド）	長軸方向	規　模（cm）	平面形・断面形	時　期
SK1	E40・S380	N-23° -W	長軸 153 ×短軸 123 ×深さ 24	不整形・皿状	

４B1 区Ⅳ b 層

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	W10・S390	N-9° -E	長さ [15.88] ×幅 0.24 ～ 0.27 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -2	W10 ～ W0-E0・S390 ～ 400	N-9° -E	長さ [3.79] ×幅 0.28 ～ 0.41 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -3	W0-E0・S390 ～ 400	N-10° -E	長さ 4.85 ×幅 0.24 ～ 0.31 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -4	W0-E0・S390 ～ 400	N-8° -E	長さ 5.56 ×幅 0.36 ～ 0.39 ×深さ 0.08	やや蛇行・U 字形	
Ⅰ -5	W0-E0・S390 ～ 400	N-11° -E	長さ 4.96 ×幅 0.32 ～ 0.34 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -6	W0-E0・S400	N-8° -E	長さ 2.63 ×幅 0.26 ～ 0.48 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -7	W0-E0・S400	N-15° -E	長さ [4.89] ×幅 0.31 ～ 0.35 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -1	W0-E0・S390	N-86° -W	長さ [1.15] ×幅 0.29 ～ 0.40 ×深さ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -2	W10 ～ W0-E0・S390	N-87° -W	長さ [3.95] ×幅 0.18 ～ 0.39 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -3	W10 ～ W0-E0・S390	N-87° -W	長さ [2.93] ×幅 0.26 ～ 0.30 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -4	W10 ～ W0-E0・S390	N-83° -W	長さ [4.05] ×幅 0.13 ～ 0.34 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -5	W10 ～ W0-E0・S390	N-86° -W	長さ [3.99] ×幅 0.18 ～ 0.30 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -6	W10 ～ W0-E0・S390 ～ 400	N-84° -W	長さ [4.10] ×幅 0.27 ～ 0.41 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -7	W10 ～ W0-E0・S400	N-87° -W	長さ [4.08] ×幅 0.36 ～ 0.44 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -8	W10 ～ W0-E0・S400	N-81° -W	長さ [4.20] ×幅 0.26 ～ 0.37 ×深さ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -9	W10 ～ W0-E0・S400	N-79° -W	長さ [4.30] ×幅 0.24 ～ 0.33 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -10	W10 ～ W0-E0・S400	N-76° -W	長さ [4.45] ×幅 0.21 ～ 0.32 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -11	W0-E0・S400	N-82° -W	長さ [4.22] ×幅 0.30 ～ 0.41 ×深さ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -12	W0-E0・S400	N-83° -W	長さ [3.62] ×幅 0.23 ～ 0.39 ×深さ 0.07	ほぼ直線・U 字形	

４B2 区Ⅳ b 層

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	E10 ～ 20・S430	ほぼ東西	長さ [4.76] ×幅 0.23 ～ 0.40 ×深さ 0.06 ～ 0.09	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -2	E20・S430	ほぼ東西	長さ 2.42 ×幅 0.18 ～ 0.20 ×深さ 0.05 ～ 0.07	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -3	E20・S430	ほぼ東西	長さ [3.46] ×幅 0.20 ～ 0.44 ×深さ 0.05 ～ 0.10	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -4	E10 ～ 20・S430	ほぼ東西	長さ [5.54] ×幅 0.10 ～ 0.52 ×深さ 0.06 ～ 0.09	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -5	E20・S440	ほぼ東西	長さ [1.77] ×幅 0.30 ～ 0.44 ×深さ 0.04 ～ 0.06	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -6	E20・S440	ほぼ東西	長さ 2.81 ×幅 0.17 ～ 0.39 ×深さ 0.04 ～ 0.07	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -7	E20・S440	ほぼ東西	長さ [1.53] ×幅 0.12 ～ 0.17 ×深さ 0.02 ～ 0.05	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -8	E20・S440	ほぼ東西	長さ 1.85 ×幅 0.09 ～ 021 ×深さ 0.03 ～ 0.05	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -9	E20・S440	ほぼ東西	長さ 1.67 ×幅 0.14 ～ 0.30 ×深さ 0.03 ～ 0.06	ほぼ直線・皿形	
Ⅰ -10	E20・S440	ほぼ東西	長さ 1.00 ×幅 0.08 ～ 0.15 ×深さ 0.03 ～ 0.04	ほぼ直線・皿形	

４B2 区Ⅳ c 層

水田跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
擬似畦畔№ 1	E20 ～ 30・S440	N-18° -E	長さ [6.10] ×幅 1.10 ～ 1.64 ×高さ 0.03 ～ 0.05	ほぼ直線・台形	
擬似畦畔№ 2	E20 ～ 30・S440	N-77° -W	長さ [1.65] ×幅 1.05 ～ 1.50 ×高さ 0.03 ～ 0.06	ほぼ直線・台形	

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	E20・S430	N-10° -E	長さ [2.14] ×幅 0.29 ～ 0.37 ×深さ 0.08 ～ 0.13	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -2	E20・S430 ～ 440	N-8° -E	長さ [4.67] ×幅 0.31 ～ 0.35 ×深さ 0.08 ～ 0.10	弧状・U 字形	
Ⅰ -3	E20・S430 ～ 440	N-11° -E	長さ [4.81] ×幅 0.13 ～ 0.35 ×深さ 0.08 ～ 0.13	弧状・U 字形	
Ⅰ -4	E20・S430 ～ 440	N-8° -E	長さ [2.34] ×幅 0.32 ～ 0.80 ×深さ 0.08 ～ 0.21	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -5	E20・S440	N-20° -E	長さ [0.99] ×幅 0.31 ～ 0.39 ×深さ 0.06 ～ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -1	W0-E0・S420	N-12° -E	長さ [3.37] ×幅 0.28 ～ 0.53 ×深さ 0.11 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -2	E10・S420 ～ 430	N-13° -E	長さ [4.17] ×幅 0.28 ～ 0.40 ×深さ 0.10 ～ 0.18	ほぼ直線・皿状	
Ⅱ -3	E10・S420 ～ 430	N-12° -E	長さ [6.67] ×幅 0.21 ～ 0.39 ×深さ 0.07 ～ 0.27	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -4	E10 ～ 20・S430 ～ 440	N-20° -E	長さ [4.64] ×幅 0.23 ～ 0.39 ×深さ 0.08 ～ 0.10	弧状・U 字形	
Ⅱ -5	E20・S430 ～ 440	N-18° -E	長さ [2.27] ×幅 0.25 ～ 0.45 ×深さ 0.07 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -6	E20・S430 ～ 440	N-19° -E	長さ [5.80] ×幅 0.32 ～ 0.64 ×深さ 0.09 ～ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -7	E20・S430 ～ 440	N-23° -E	長さ [5.75] ×幅 0.32 ～ 0.40 ×深さ 0.07 ～ 0.08	Y 字状・U 字形	
Ⅱ -8	E20・S430 ～ 440	N-2° -E　N-25° -E	長さ [7.02] ×幅 0.28 ～ 0.69 ×深さ 0.11 ～ 0.16	Y 字状・U 字形	
Ⅱ -9	E20・S440	N-11° -E	長さ [6.37] ×幅 0.30 ～ 0.72 ×深さ 0.08 ～ 0.14	ほぼ直線・皿状	
Ⅱ -10	E20・S440	N-6° -E	長さ [6.00] ×幅 0.23 ～ 0.39 ×深さ 0.04 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -11	E20 ～ 30・S440	N-14° -E　N-18° -E	長さ [7.43] ×幅 0.29 ～ 0.79 ×深さ 0.10 ～ 0.17	X 字状・皿状	
Ⅱ -12	E30・S440	N-3° -E　N-19° -E	長さ [5.53] ×幅 0.32 ～ 0.67 ×深さ 0.08 ～ 0.11	X 字状・U 字形	

４B2 区Ⅳ c ～Ⅴ層

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
SD16	E20・S430 ～ 440	N-3° -E	長さ [5.88] ×幅 0.22 ～ 0.43 ×深さ 0.05 ～ 0.10	ほぼ直線・逆台形	
SD42	E20・S440	N-64° -W	長さ [2.58] ×幅 0.36 ～ 0.64 ×深さ 0.10	ほぼ直線・逆台形	
SD48	E20・S430	N-86° -E	長さ [2.57] ×幅 0.17 ～ 0.21 ×深さ 0.05 ～ 0.08	ほぼ直線・逆台形	

第７表　遺構一覧表（４）

４B2 区Ⅳｃ～Ⅴ層

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅲ -1	W0-E0 ～ E10・S420	ほぼ東西	長さ [5.35] ×幅 0.32 ～ 0.48 ×深さ 0.08 ～ 0.26	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -2	W0-E0 ～ E10・S420	ほぼ東西	長さ [5.30] ×幅 0.27 ～ 0.40 ×深さ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -3	W0-E0 ～ E10・S430	ほぼ東西	長さ [4.77] ×幅 0.31 ～ 0.44 ×深さ 0.26 ～ 0.28	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -4	W0-E0 ～ E10・S430	ほぼ東西	長さ [3.88] ×幅 0.18 ～ 0.22 ×深さ 0.07 ～ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -5	W0-E0 ～ E10・S430	ほぼ東西	長さ [2.95] ×幅 0.16 ～ 0.20 ×深さ 0.06 ～ 0.07	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -6	E10・S430	ほぼ東西	長さ [2.15] ×幅 0.23 ～ 0.28 ×深さ 0.04 ～ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -7	E10 ～ 20・S430	ほぼ東西	長さ [8.86] ×幅 0.26 ～ 0.34 ×深さ 0.10 ～ 0.14	緩く蛇行・U 字形	
Ⅲ -8	E10 ～ 20・S430	ほぼ東西	長さ [7.17] ×幅 0.18 ～ 0.26 ×深さ 0.06 ～ 0.13	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -9	E10・S430	ほぼ東西	長さ [1.76] ×幅 0.18 ～ 0.20 ×深さ 0.09 ～ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -10	E10 ～ 20・S440	ほぼ東西	長さ [8.90] ×幅 0.20 ～ 0.28 ×深さ 0.08 ～ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -12	E20 ～ 30・S440	ほぼ東西	長さ [2.33] ×幅 0.27 ～ 0.40 ×深さ 0.05 ～ 0.15	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -13	E20 ～ 30・S440	ほぼ東西	長さ [9.08] ×幅 0.32 ～ 0.67 ×深さ 0.06 ～ 0.09	緩く蛇行・U 字形	
Ⅲ -14	E20 ～ 30・S440	ほぼ東西	長さ [3.25] ×幅 0.21 ～ 0.32 ×深さ 0.03 ～ 0.08	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -15	E20 ～ 30・S440	ほぼ東西	長さ [6.12] ×幅 0.23 ～ 0.40 ×深さ 0.07 ～ 0.16	ほぼ直線・U 字形	
Ⅲ -16	E20 ～ 30・S440	ほぼ東西	長さ [3.21] ×幅 0.20 ～ 0.34 ×深さ 0.05 ～ 0.06	ほぼ直線・U 字形	

４C 区Ⅲ層

溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
SD1	E20 ～ 30・S400	N-78° -W	長さ 10.38 ×幅 0.81 ～ 1.02 ×深さ 0.30	ほぼ直線・逆台形	

４C 区Ⅳｂ層

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	E40・S400	N-5° -E	長さ [1.44] ×幅 0.28 ～ 0.34 ×深さ 0.07 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -2	E40・S400	N-8° -E	長さ [2.67] ×幅 0.35 ～ 0.60 ×深さ 0.10 ～ 0.14	緩く蛇行・U 字形	
Ⅰ -3	E40・S400	N-15° -E	長さ [2.20] ×幅 0.50 ～ 0.65 ×深さ 0.07 ～ 0.14	緩く蛇行・U 字形	

４C 区Ⅳｃ層

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	E40・S400	N-9° -E	長さ [1.16] ×幅 0.45 ～ 0.58 ×深さ 0.05 ～ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -2	E40・S400	N-7° -E	長さ [2.62] ×幅 0.66 ～ 0.80 ×深さ 0.08 ～ 0.21	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -3	E40・S400	N-6° -E	長さ [2.61] ×幅 0.36 ～ 0.50 ×深さ 0.14 ～ 0.22	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -4	E30 ～ 40・S400	N-8° -E	長さ [2.65] ×幅 0.40 ～ 0.70 ×深さ 0.09 ～ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -5	E30・S400	N-9° -E	長さ [2.64] ×幅 0.48 ～ 0.68 ×深さ 0.11 ～ 0.16	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -6	E30・S400	N-3° -E	長さ [2.23] ×幅 0.26 ～ 0.50 ×深さ 0.11 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -7	E30・S400	N-13° -E	長さ [2.72] ×幅 0.20 ～ 0.35 ×深さ 0.07 ～ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -8	E30・S400	N-8° -E	長さ [2.62] ×幅 0.35 ～ 0.42 ×深さ 0.12 ～ 0.18	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -9	E30・S400	N-9° -E	長さ [2.63] ×幅 0.70 ～ 0.85 ×深さ 0.14 ～ 0.17	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -10	E30・S400	N-10° -E	長さ [2.57] ×幅 0.70 ～ 0.88 ×深さ 0.14 ～ 0.20	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -11	E30・S400	N-9° -E	長さ [2.56] ×幅 0.30 ～ 0.40 ×深さ 0.09 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -12	E30・S400	N-10° -E	長さ [2.58] ×幅 0.20 ～ 0.30 ×深さ 0.06 ～ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -13	E30・S400	N-6° -E	長さ [2.51] ×幅 0.55 ～ 0.68 ×深さ 0.14 ～ 0.17	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -14	E30・S400	N-3° -E	長さ [2.23] ×幅 0.28 ～ 0.32 ×深さ 0.02 ～ 0.06	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -15	E20・S400	N-6° -E	長さ [2.60] ×幅 0.30 ～ 0.62 ×深さ 0.06 ～ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -16	E20・S400	N-10° -E	長さ [2.64] ×幅 0.25 ～ 0.40 ×深さ 0.08 ～ 0.16	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -17	E20・S400	N-5° -E	長さ [2.54] ×幅 0.28 ～ 0.34 ×深さ 0.08 ～ 0.13	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -18	E20・S400	N-9° -E	長さ [1.80] ×幅 0.32 ～ 0.40 ×深さ 0.11 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -19	E20・S400	N-12° -E	長さ [1.48] ×幅 0.30 ～ 0.40 ×深さ 0.06 ～ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -20	E20・S400	N-4° -E	長さ [2.58] ×幅 0.32 ～ 0.40 ×深さ 0.09 ～ 0.11	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -21	E20・S400	N-6° -E	長さ [2.63] ×幅 0.26 ～ 0.36 ×深さ 0.01 ～ 0.05	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -22	E10・S400	N-6° -E	長さ [2.45] ×幅 0.23 ～ 0.33 ×深さ 0.07 ～ 0.10	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -1	E20・S400	N-88° -W	長さ [8.46] ×幅 0.30 ～ 0.40 ×深さ 0.06 ～ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -2	E10 ～ 20・S400	N-86° -W	長さ [8.16] ×幅 0.30 ～ 0.50 ×深さ 0.07 ～ 0.14	ほぼ直線・U 字形	

４D 区Ⅳｃ層

小溝状遺構群

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
Ⅰ -1	E110 ～ 120・S400	N-56° -W	長さ [2.48] ×幅 0.33 ×深さ 0.05 ～ 0.12	ほぼ直線・U 字形	
Ⅰ -2	E120・S410	N-65° -W	長さ [4.33] ×幅 0.34 ～ 0.45 ×深さ 0.09 ～ 0.16	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -1	E110 ～ 120・S400 ～ 410	N-14° -E	長さ [6.01] ×幅 0.21 ～ 0.32 ×深さ 0.09	ほぼ直線・U 字形	
Ⅱ -2	E120・S400 ～ 410	N-17° -E	長さ [6.26] ×幅 0.31 ～ 0.45 ×深さ 0.15	ほぼ直線・U 字形	

伊古田Ｂ遺跡写真図版

4A1 区Ⅲ層全景（南より）

4A1 区Ⅳ b 層小溝状遺構群（南より）

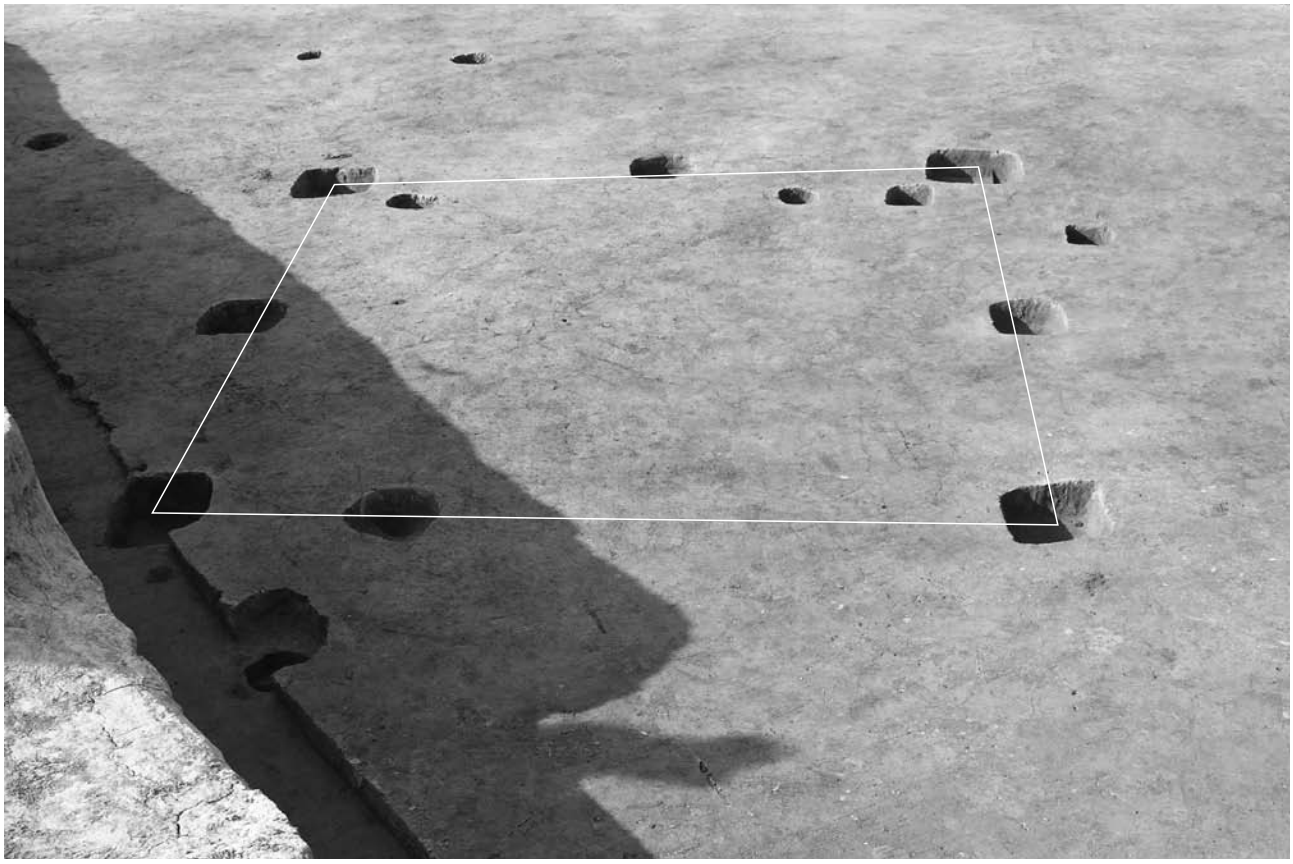
写真図版１　伊古田 B 遺跡（１）

4A1 区Ⅳｂ層水田跡（南より）

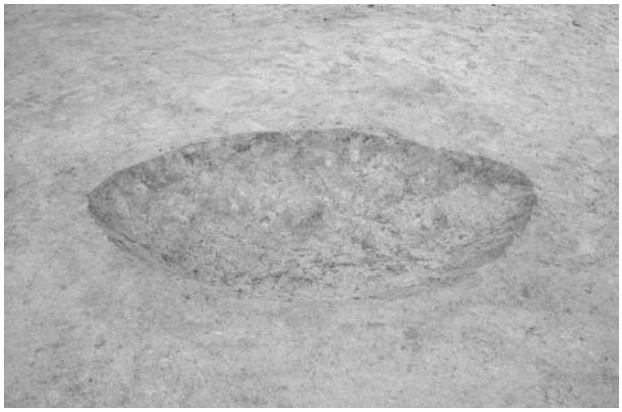
4A1 区Ⅳｃ層水田跡擬似畦畔Ｂ（南より）

写真図版２　伊古田Ｂ遺跡（２）

4A1 区Ⅳ b 層水田跡畦畔断面（北東より）



4A1 区Ⅴ層 SB53 全景（南より）



4A1 区Ⅴ層 SK48（西より）

4A1 区Ⅴ層 SK49（南より）

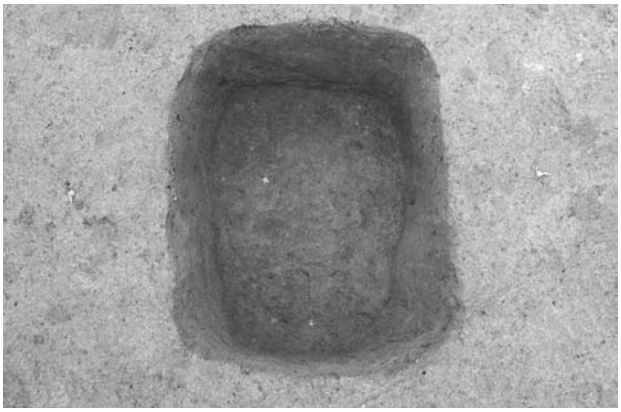
写真図版３　伊古田 B 遺跡（３）

4A1 区Ⅴ層 SK50（南より）

4A1 区Ⅴ層 SK51（西より）

4A2 区Ⅲ a 層 SX1 全景（北より）

4A2 区Ⅲ a 層 SX1 墓壙（北より）



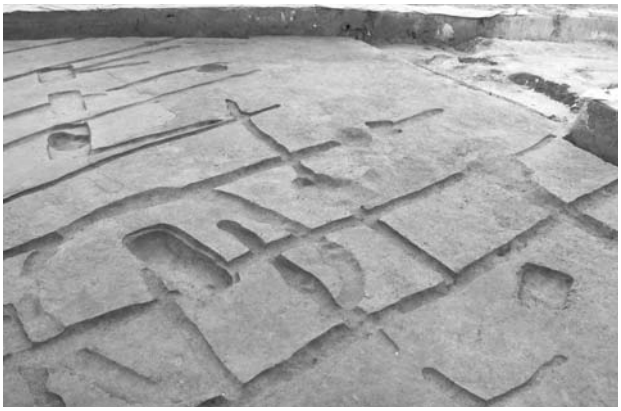
4A2 区Ⅲ a 層 SK4（南より）

写真図版４　伊古田Ｂ遺跡（４）

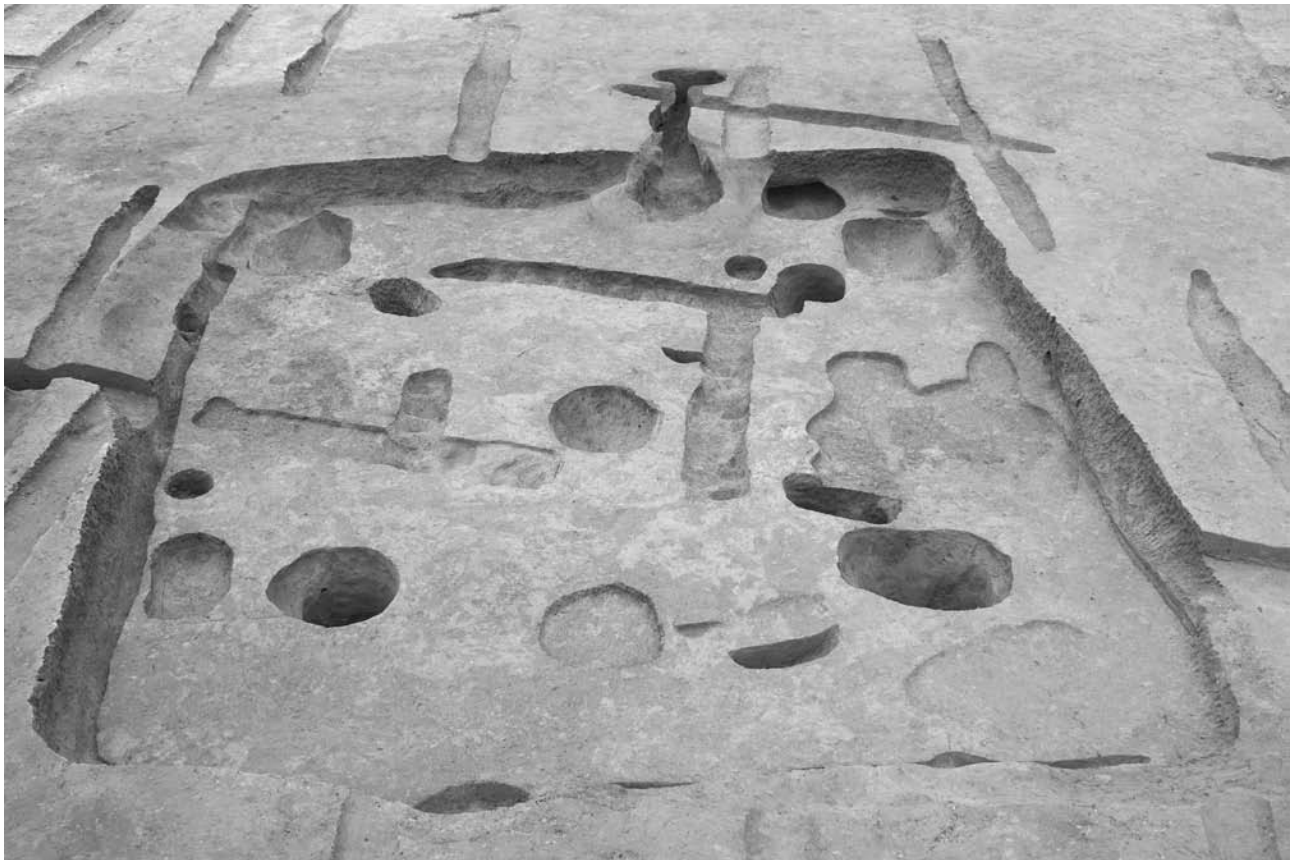
4A2 区Ⅲ a 層 SD2（南より）

4A2 区Ⅲ a 層 SD2 断面（南より）

4A2 区中央部Ⅳ c 層小溝状遺構群（北東より）



4A2 区北部Ⅳ c 層小溝状遺構群（北東より）



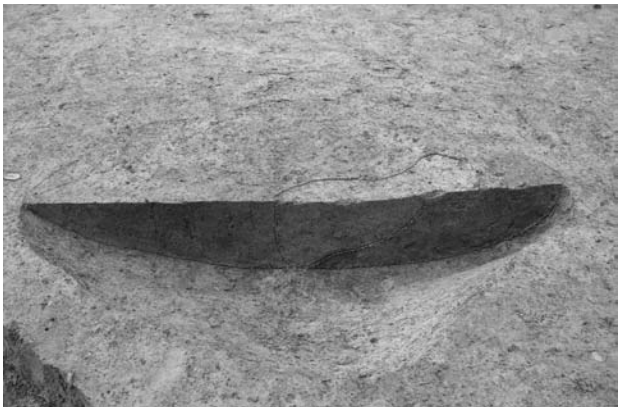
4A2 区Ⅳ c 層 SI74（西より）

写真図版５　伊古田 B 遺跡（５）

4A2 区Ⅳｃ層 SI74 新カマド（西より）

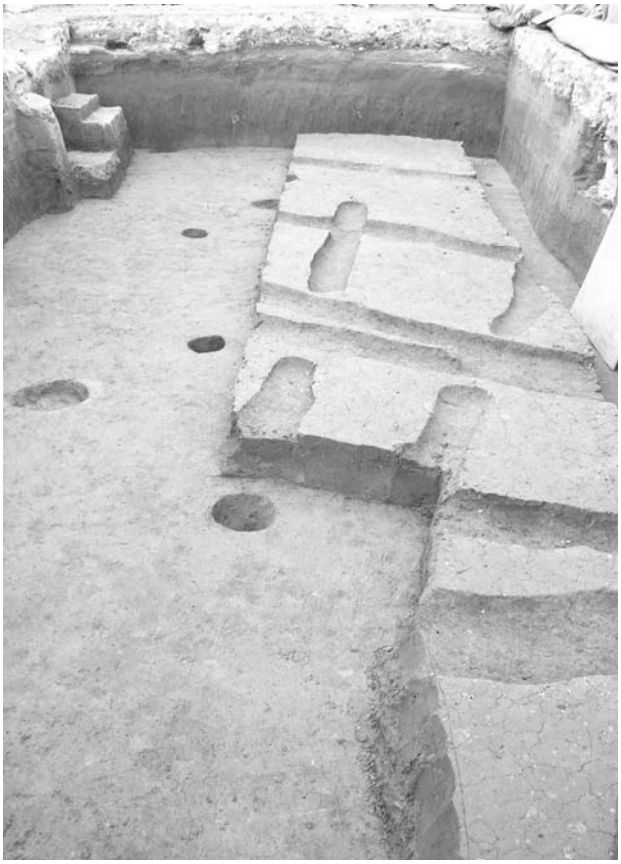
4A2 区Ⅳｃ層 SI74 旧カマド（南より）

4A3 区Ⅴ層 SK1（東より）



4A3 区Ⅴ層 SK1（東より）

4B1 区Ⅳｂ層全景（南より）



4B1 区Ⅴ層全景（北より）

写真図版６　伊古田Ｂ遺跡（６）

4B2 区Ⅳ b 層小溝状遺構群（南東より）

4B2 区南東部Ⅳ c 層小溝状遺構群（東より）

4B2 区Ⅳ c 層水田跡擬似畦畔 B（南西より）

4B2 区Ⅴ層全景（東より）

4C 区Ⅲ層 SD1（南東より）

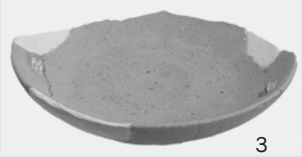
4C 区東端部Ⅳ b 層小溝状遺構群（南より）

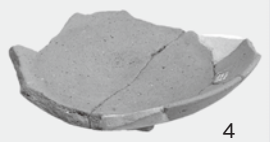
4C 区中央部Ⅳ c 層東側全景（北東より）

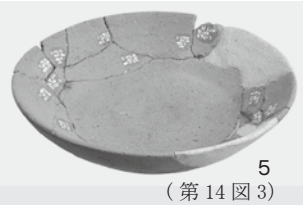
4D 区Ⅳ c 層小溝状遺構群（南より）

写真図版７　伊古田 B 遺跡（７）

1
（第４図１）

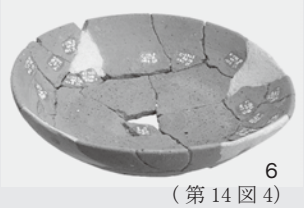

3
（第 14 図１）


4
（第 14 図２）


5
（第 14 図３）

2
（第４図２）

4A1 区 Ⅲ層 溝跡
（1･2）


6
（第 14 図４）

7
（第 14 図５）

8
（第 14 図６）

9
（第 14 図７）

10
（第 14 図８）

11
（第 14 図９）

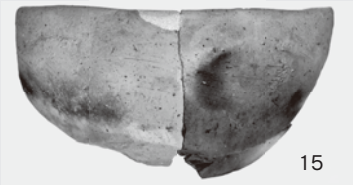
4A1 区Ⅳ層 遺構外（3 ～ 11）

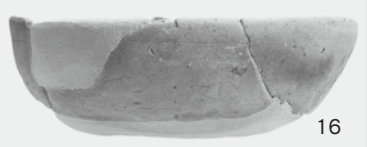
12
（第 17 図１）

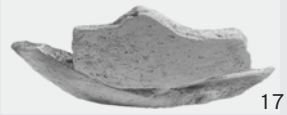
13
（第 17 図２）

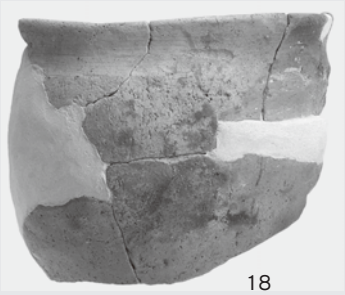
14
（第 17 図３）

4A2 区 Ⅲ a 層 SX1 土壙墓構
（12 ～ 14）


15
（第 23 図１）


16
（第 23 図２）


17
（第 23 図３）


18
（第 23 図４）

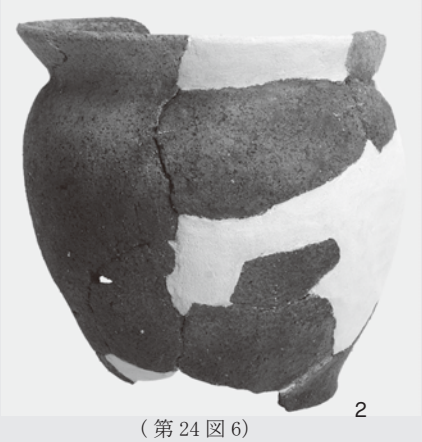
19
（第 23 図５）

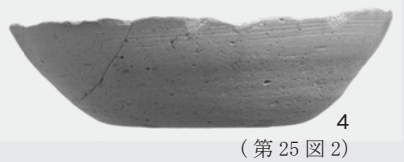
20
（第 24 図１）

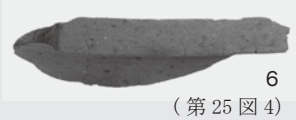
4A2 区 Ⅳ c 層 SI74（15 ～ 20）

写真図版８　伊古田Ｂ遺跡出土遺物（１）

1
（第 24 図 4）


2
（第 24 図 6）

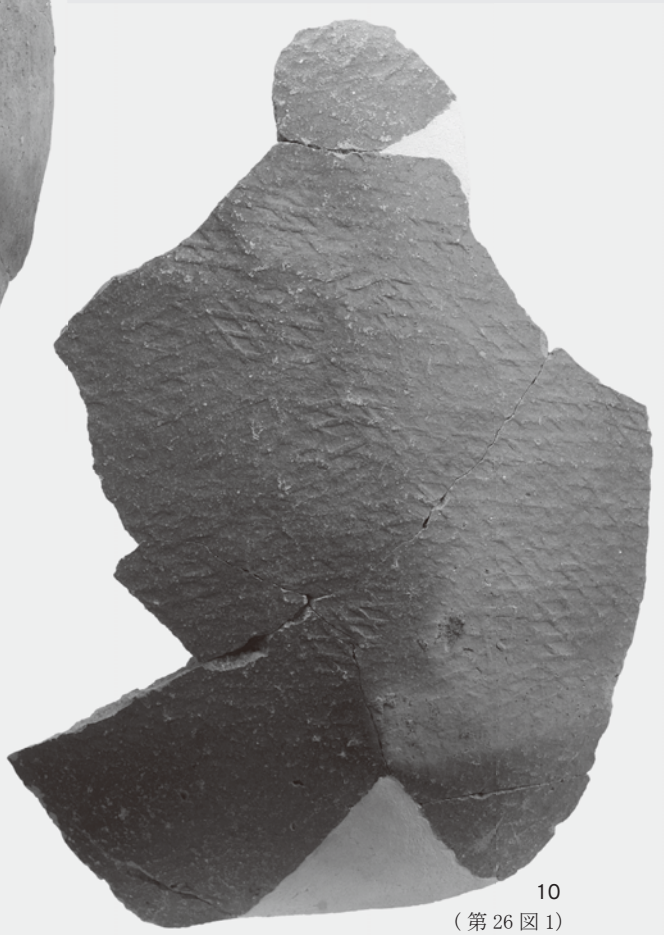

4
（第 25 図 2）


6
（第 25 図 4）

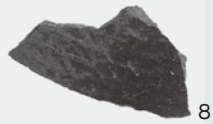
3
（第 24 図 5）

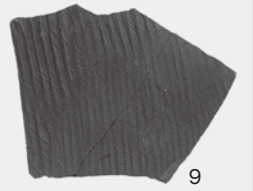
5
（第 25 図 3）

7
（第 25 図 5）


10
（第 26 図 1）

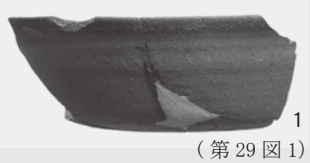
11
（第 25 図 1）


8
（第 25 図 6）

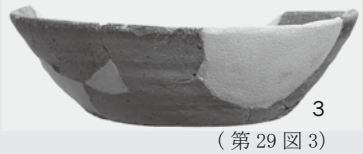

9
（第 25 図 7）

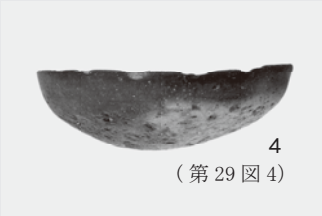
4A2 区 Ⅳ c 層 SI74

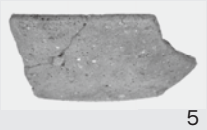
写真図版９　伊古田 B 遺跡出土遺物（２）

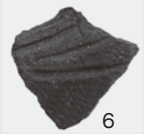

1
（第 29 図 1）

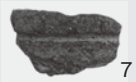
2
（第 29 図 2）


3
（第 29 図 3）


4
（第 29 図 4）


5
（第 29 図 5）

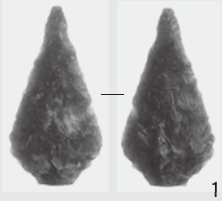

6
（第 29 図 6）

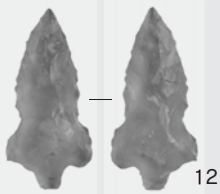

7
（第 29 図 7）

8
（第 29 図 8）

9
（第 29 図 9）

10
（第 29 図 10）

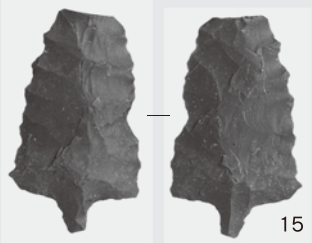

11
（第 29 図 11）


12
（第 29 図 12）

13
（第 29 図 13）

14
（第 29 図 14）

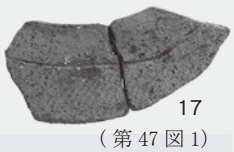
4A2 区 遺構外（1 ～ 14）


15
（第 34 図 1）

4B1 区 遺構外（15）

16
（第 42 図 1）

4B2 区 遺構外（16）


17
（第 47 図 1）

4C 区 遺構外（17･18）

18
（第 47 図 2）

写真図版 10　伊古田Ｂ遺跡出土遺物（３）

第６節　皿屋敷遺跡

１．調査要項

（1）遺 跡 名：皿屋敷遺跡（宮城県遺跡登録番号 01429）
（2）所 在 地：仙台市太白区大野田字皿屋敷
（3）調査面積：約 116㎡（1 ～ 3 トレンチ）
（4）調査主体：仙台市教育委員会
（5）調査担当：仙台市教育委員会文化財課
（6）担当職員：平間亮輔・佐藤典昭　（派遣調査員：馬場由行／国際文化財）
（7）調査期間
（野外調査）：平成 20 年 12 月 1 日～ 12 月 5 日
（整理作業）各調査終了後に基礎整理を行い、以下の期間で最終整理を実施した。
・平成 22 年度：平成 22 年 10 月 8 日～平成 23 年 3 月 31 日
・平成 23 年度：平成 23 年 9 月 22 日～平成 24 年 3 月 30 日
・平成 24 年度：平成 24 年 6 月 21 日～平成 25 年 3 月 29 日

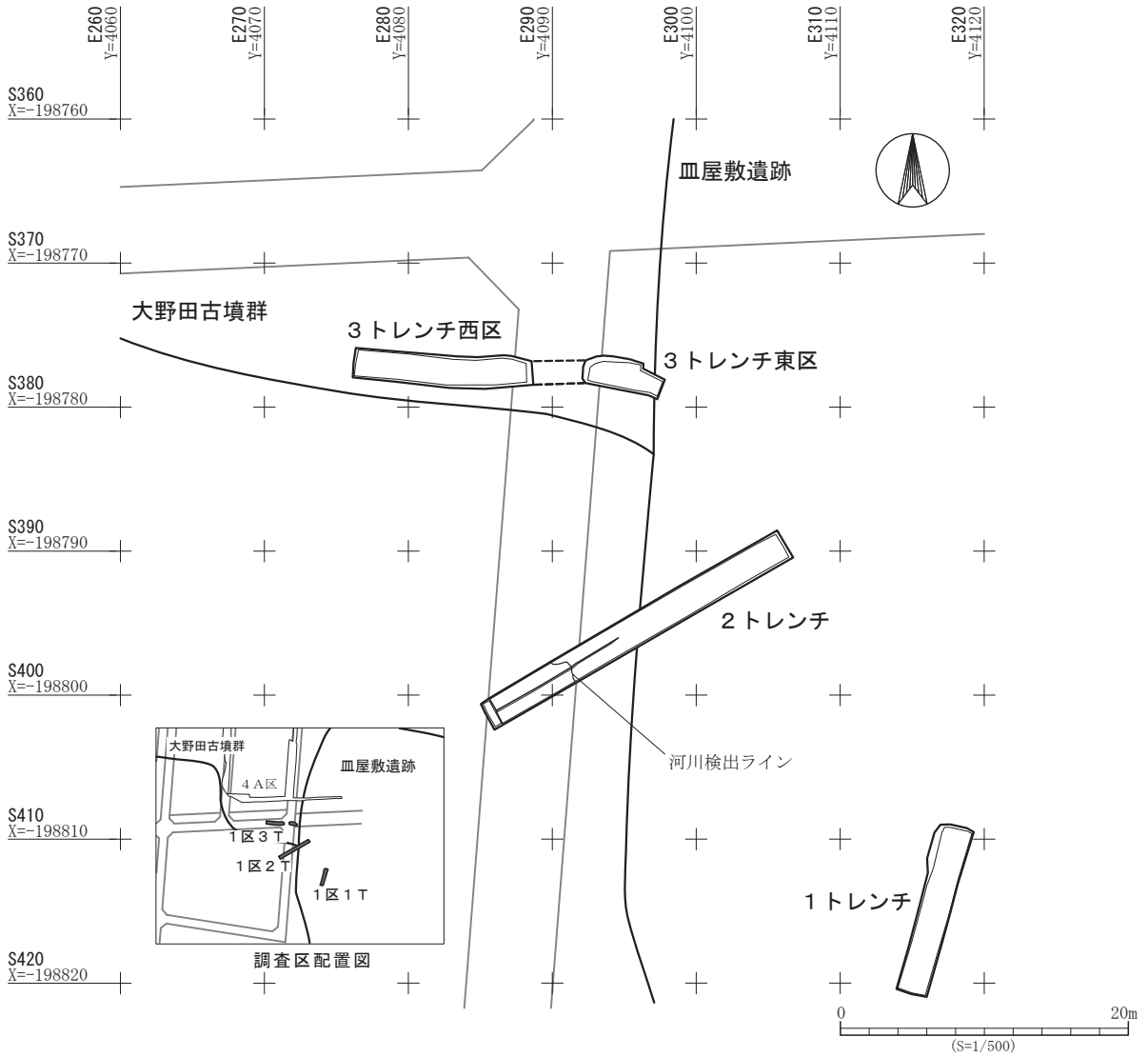
2．１区の調査

１区では、河川跡を検出した。平成 4 年度の皿屋敷遺跡（王ノ壇遺跡Ｘ区・本調査区の東約 30m）の調査結果（仙台市教委　2000c）から、本調査区の大部分が近世以降の河川域に入ることが想定されたため、調査対象地点 3 箇所にトレンチを設定し、調査に着手した。

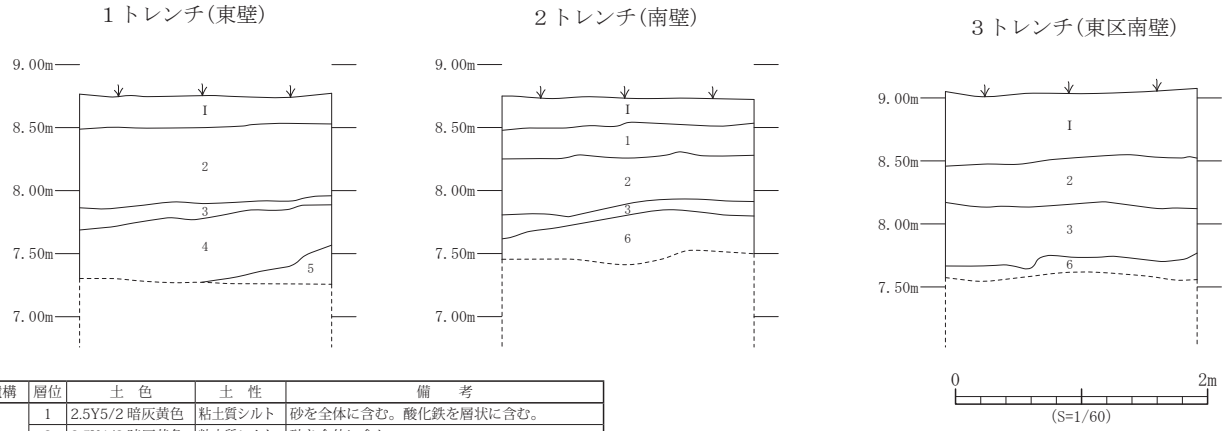
ＳＲ１河川跡（第 1 図、図版 1）　いずれのトレンチもⅠ層直下から河川堆積土と考えられる砂を多量に含む層を検出したほか、地表面から 1.3 ～ 1.7m 程の深度で河床とみられる小礫の集積層を検出した。このことから、Ⅲ層（古代～近世の遺構検出面）以下が河川により削平され、存在しないことが確認された。トレンチ調査のため河川跡の規模は不明である。いずれのトレンチからも遺物は出土していない。

３．まとめ

皿屋敷遺跡は仙台市南部の太白区大野田字皿屋敷に所在する。標高 10m 前後の自然堤防と後背湿地にまたがって立地する古代～近世の複合遺跡であり、北側に隣接する王ノ壇遺跡と一体の遺跡であると考えられる。平成 20 年度に 1 区で確認調査を行い、河川跡を検出した。



第１図　皿屋敷遺跡１区　遺構配置図



遺構	層位	土　色	土　性	備　　考
SR1	1	2.5Y5/2 暗灰黄色	粘土質シルト	砂を全体に含む。酸化鉄を層状に含む。
	2	2.5Y4/2 暗灰黄色	粘土質シルト	砂を全体に含む。
	3	10Y5/1 灰色	粘土	砂を層状に含む。上層に酸化鉄を管状に含む。
	4	10YR6/2 灰黄褐色	粘土	黒褐色粘土をブロック状に少量含む。一部に酸化鉄を管状に含む。
	5	10YR6/4 にぶい黄橙色	細砂	下位に暗褐色砂を層状に含む。
	6	-	礫集積層	河床。

第２図　皿屋敷遺跡１区　基本層序模式図

皿屋敷遺跡写真図版

１区１トレンチ全景（北より）

１区１トレンチ断面（北西より）

１区２トレンチ断面（西より）

１区２トレンチ全景（南西より）

１区３トレンチ全景（北西より）

１区３トレンチ東区断面（北西より）

写真図版１　皿屋敷遺跡（１）

第７節　袋前遺跡

１．調査要項

（1）遺 跡 名：袋前遺跡（宮城県遺跡登録番号 01439）
（2）所 在 地：仙台市太白区大野田字袋前、竹松、六反田
（3）調査面積：約 3㎡（5 区）
（4）調査主体：仙台市教育委員会
（5）調査担当：仙台市教育委員会文化財課
（6）担当職員：荒井　格
（7）調査期間
（野外調査）：平成 19 年 10 月 11 日～平成 19 年 10 月 12 日
（整理作業）各調査終了後に基礎整理を行い、以下の期間で最終整理を実施した。
・平成 22 年度：平成 22 年 10 月 8 日～平成 23 年 3 月 31 日
・平成 23 年度：平成 23 年 9 月 22 日～平成 24 年 3 月 30 日
・平成 24 年度：平成 24 年 6 月 21 日～平成 25 年 3 月 29 日

2．５区の調査

５区の調査では、Ⅳｂ層上面（古代以降の遺構検出面）において、溝３条、ピット１基を検出した。

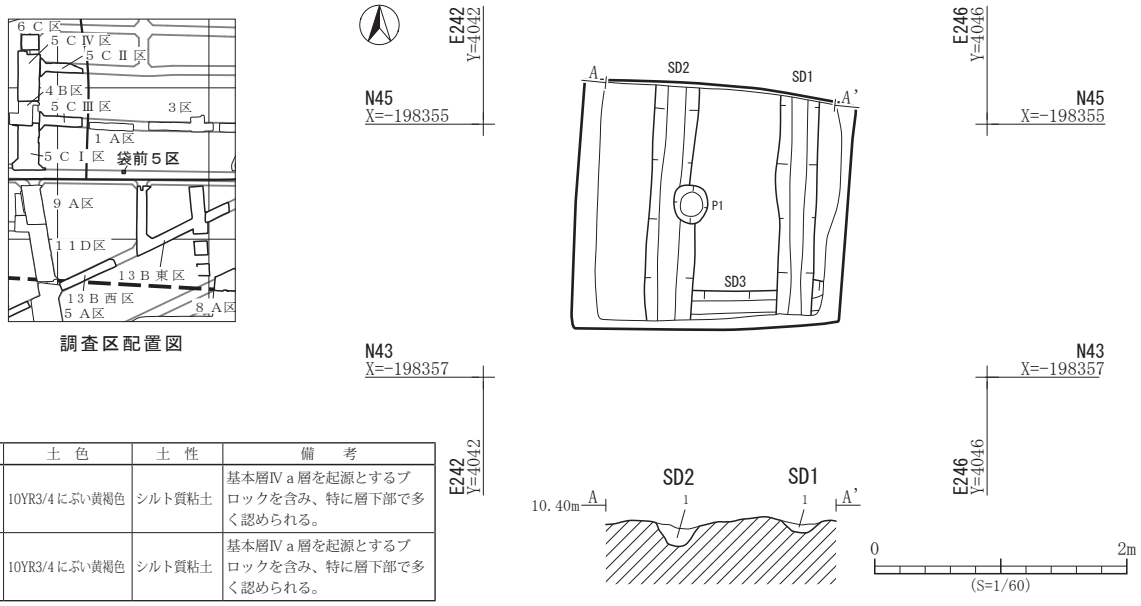
（1）Ⅳｂ層検出の遺構（第１図）

1）溝跡

SD1 溝跡（第１図）　N40・E240 グリッドで検出した。SD3 と重複関係にあり、本遺構が新しい。主軸方向はほぼ南北正方位で、検出長 1.22m、幅 25 ～ 32cm、深さ 5cm である。SD2 溝跡との間隔は 0.65m で、南北両側ともに調査区外に延びる。断面形は逆台形状である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

SD2 溝跡（第１図）　N40・E240 グリッドで検出した。SD3・P1 と重複関係にあり、P1 より古く、SD3 より新しい。主軸方向はほぼ南北正方位で、検出長 1.85m、幅 30 ～ 38cm、深さ 17cm である。南北両側ともに調査区外に延びる。断面形は逆台形である。堆積土は単層である。遺物は出土していない。

SD3 溝跡（第１図）　N40・E240 グリッドで検出した。SD1･2 と重複関係にあり、本遺構が古い。主軸方向はほぼ東西正方位で、検出長 67cm、幅 17 ～ 22cm、深さは不明である。西側末端は SD2 で途切れ、東側の調査区外に



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SD1	1	10YR3/4 にぶい黄褐色	シルト質粘土	基本層Ⅳａ層を起源とするブロックを含み、特に層下部で多く認められる。
SD2	1	10YR3/4 にぶい黄褐色	シルト質粘土	基本層Ⅳａ層を起源とするブロックを含み、特に層下部で多く認められる。

第１図　袋前５区Ⅳｂ層遺構配置図・SD1・２溝跡断面図

延びる。断面形は不明である。遺物は出土していない。

2）ピット（第１図）

１基のピット（P1）を検出した。遺物は出土していない。

３．まとめ

袋前遺跡は仙台市太白区大野田字袋前、竹松、六反田にあり、自然堤防に立地する。標高は 10.00 ～ 11.40m である。平成 19 年度に約 3㎡の調査を行い、古代の遺構群を検出した。

（１）遺構について

古代以降の遺構はⅣｂ層上面で溝跡３条、ピット１基を検出した。溝跡は周辺の調査で多数検出されている畑耕作に伴う小溝状遺構群の特徴と類似しており、同様の遺構の一部と考えられる。また、堆積土中から遺物は出土していないものの、周辺調査区での調査結果から、10 世紀前半以前の古代の遺構と考えられる。

（２）遺物について

本調査区からは出土していない。

第１表　遺構一覧表

５区Ⅳｂ層
溝跡

遺構番号	位置（グリッド）	方　向	規　模（m）	平面形・断面形	時　期
SD1	E240・N40	N-2°-E	長さ [1.22] ×幅 0.25 ～ 0.32 ×深さ 0.05	ほぼ直線・逆台形	
SD2	E240・N40	N-3°-E	長さ [1.85] ×幅 0.30 ～ 0.38 ×深さ 0.17	ほぼ直線・逆台形	
SD3	E240・N40	N-88°-E	長さ [0.67] ×幅 0.17 ～ 0.22 ×深さ不明	ほぼ直線・不明	

第８節　下ノ内遺跡

１．調査要項

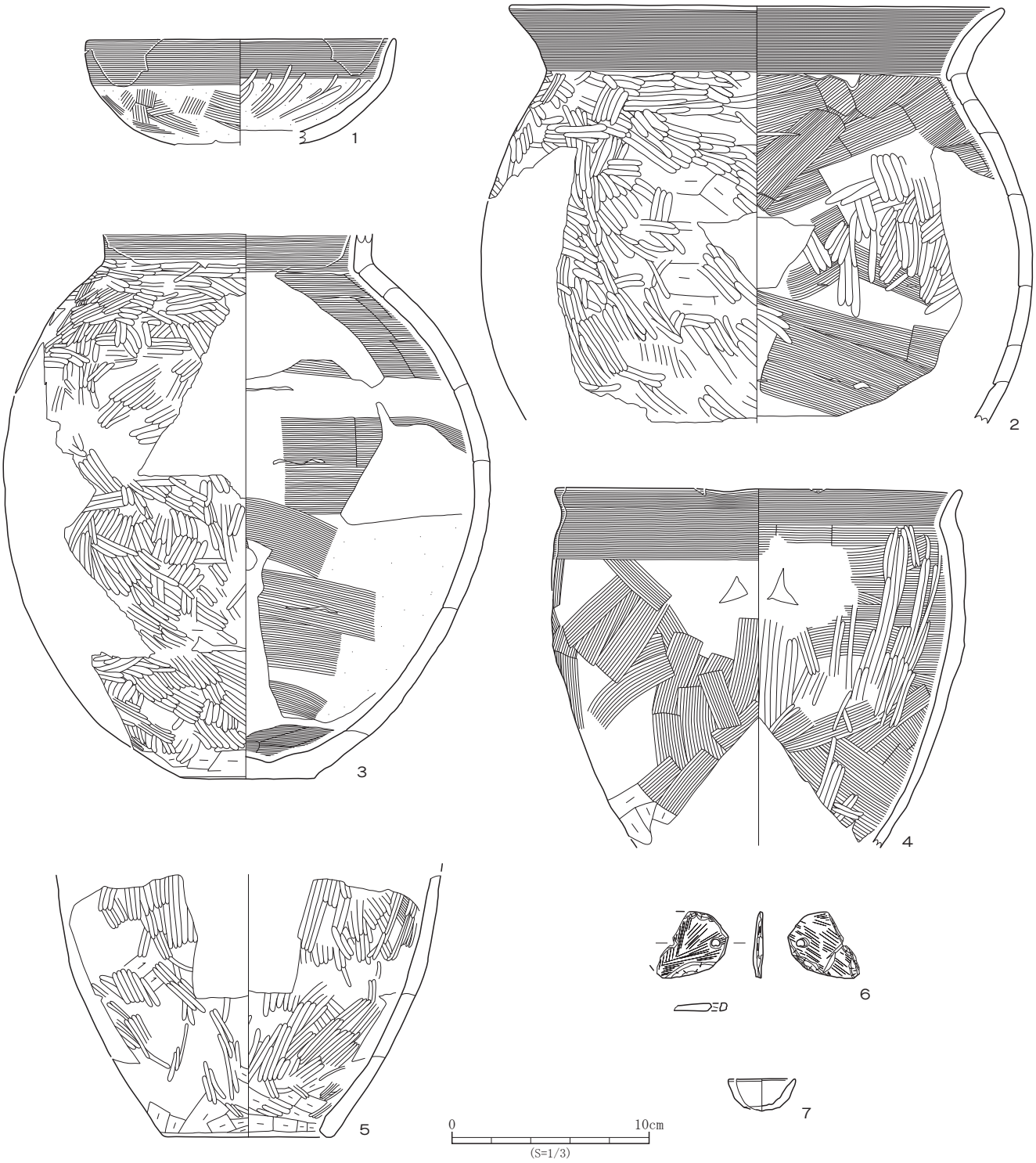
（1）遺 跡 名：下ノ内遺跡（宮城県遺跡登録番号 01425）
（2）所 在 地：仙台市太白区富沢四丁目、大野田字五反田
（3）調査面積：約 6,820㎡
・平成 19 年度：約 2,747㎡（8 区；Ⅰ～Ⅷ層）
・平成 20 年度：約 3,974㎡（8 区；Ⅸ層、9 区、10 区；確認調査）
（4）調査主体：仙台市教育委員会
（5）調査担当：仙台市教育委員会文化財課
（6）担当職員
・平成 19 年度：斎野裕彦・佐藤　洋・主濱光朗・荒井　格・廣瀬真理子・佐藤典昭・早川潤一
（派遣調査員：蝦名　純・長内礼二・迫　和幸／玉川文化財研究所、近江屋成陽・越智　徹・千葉孝之／山武考古学研究所）
・平成 20 年度：平間亮輔・米川暢敬・小泉博明・廣瀬真理子・佐藤典昭・佐々木匠
（派遣調査員：馬場由行／国際文化財）
（7）調査期間
（野外調査）・平成 19 年度：平成 19 年 7 月 20 日～平成 20 年 3 月 19 日
・平成 20 年度：平成 20 年 4 月 9 日～平成 20 年 11 月 26 日
（整理作業）各調査終了後に基礎整理を行い、以下の期間で最終整理を実施した。
・平成 22 年度：平成 22 年 10 月 8 日～平成 23 年 3 月 31 日
・平成 23 年度：平成 23 年 9 月 22 日～平成 24 年 3 月 30 日
・平成 24 年度：平成 24 年 6 月 21 日～平成 25 年 3 月 29 日

２．本節の構成

第１章第３節で既述したように、本節では平成 19･20 年度に調査した本遺跡８区出土遺物のうち、基本層Ⅰ層下面～Ⅸ層上面検出遺構出土石器およびⅥ～Ⅸ層出土石器を除いた遺物を報告する。遺物実測図および遺物写真は、調査の進行に対応させて掲載した。ただし、古墳時代～古代の遺構検出面であるⅤ層より上位の遺構や基本層から出土した縄文時代の遺物については、最後に纏めて掲載した。

Ⅰ層下面検出遺構出土遺物　Ⅰ層出土遺物
Ⅳ層出土遺物
Ⅴ層上面検出遺構出土遺物　Ⅴ層出土遺物
Ⅵ層出土遺物
Ⅶ層上面検出遺構出土遺物　Ⅶ層出土遺物　Ⅶｂ層出土遺物
Ⅷ層出土遺物　Ⅷｂ層出土遺物　Ⅷｃ層出土遺物
Ⅸ層上面検出遺構出土遺物
Ⅹ層出土遺物
Ⅰ～Ⅴ層出土縄文時代の遺物

なお、Ⅳ層上面検出遺構からは、図示できるような遺物は出土しなかった。上記したものを除く各基本層についても同様である。

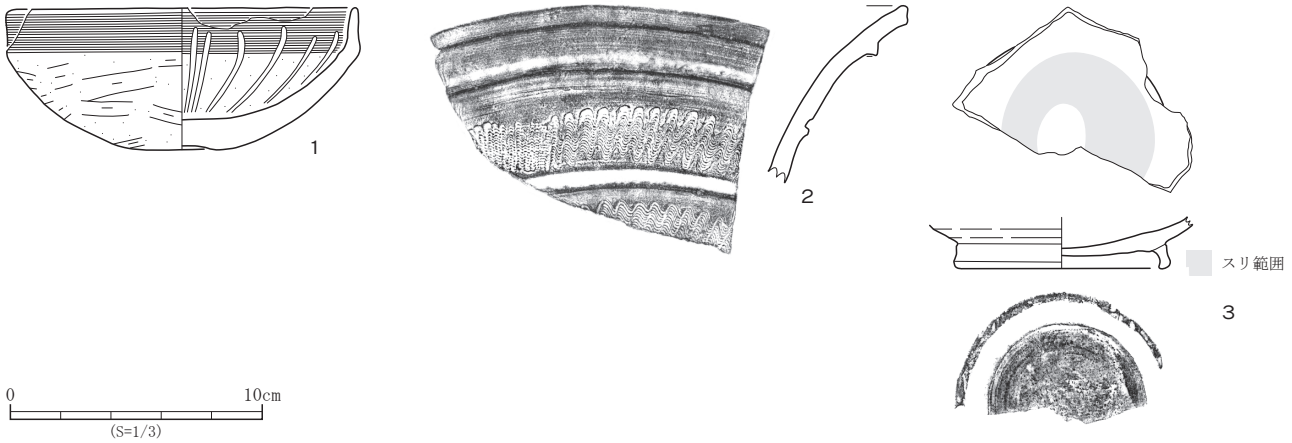


No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-41	8	SR1	-	土師器	坏	15.6 × - ×現 5.3	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ？・ヘラミガキ（放射状）		1-1
2	C-44	8	SR1	-	土師器	甕	25.2 × - ×現 21.2	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ		1-2
3	C-45	8	SR1	-	土師器	甕	- × (6.5) ×現 27.6	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヘラナデ・ヨコナデ		1-3
4	C-42	8	SR1	-	土師器	甑	(20.6) × - ×現 18.1	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ		1-4
5	C-43	8	SR1	-	土師器	甑	- × (8.6) ×現 13.3	ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヘラナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	単孔。	1-5

No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	石　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
6	Kd-e-2	8	SR1	-	石製品	石製模造品	緑泥片岩	(3.4) × (3.6) × 0.5　(5.25)	有孔円盤（２孔）、端部欠損。	1-6

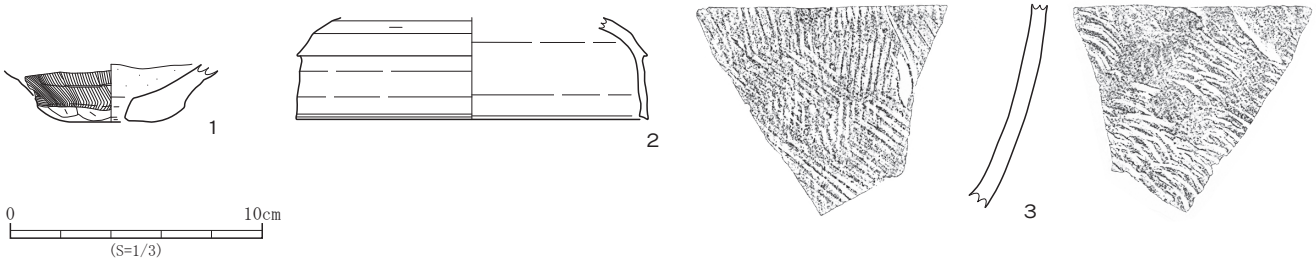
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
7	C-32	8	SD23	-	土師器	ミニチュア	(3.4) × - × 1.6	無調整	無調整	手捏ね。	1-7

第１図　Ⅰ層下面河川跡、溝跡出土遺物



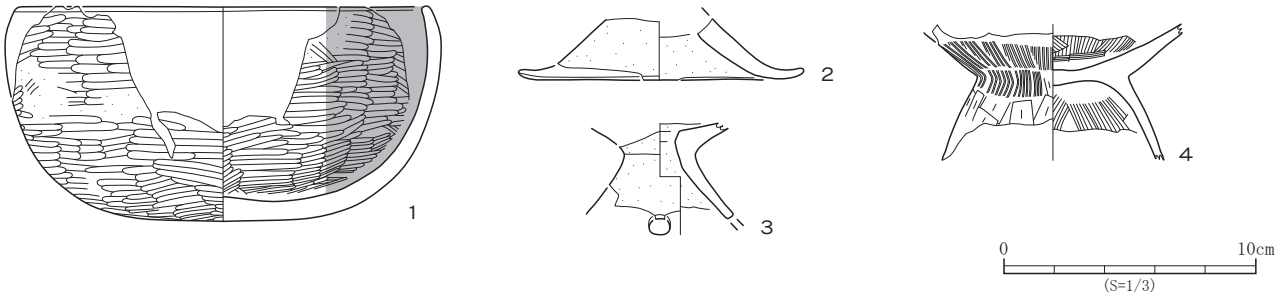
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-46	8	Ⅰ	W290･S130	土師器	坏	14.0 × 2.6 × 5.6	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ？・ヘラミガキ (放射状)	外面赤彩。	1-8
2	E-8	8	Ⅰ	W290･S130	須恵器	甕	- × - ×現 7.0	ロクロナデ・沈線・櫛描波状文	ロクロナデ		1-9
3	I-4	8	Ⅰ	W290･S130	灰釉陶器	高台付坏	- × (8.2) ×現 2.0	ロクロナデ　底部回転糸切り→高台貼付	ロクロナデ→施釉（ハケヌリ？）	見込みにスリ範囲あり（転用硯か？）、I-1･2 と同一？	1-10

第２図　Ⅰ層出土遺物



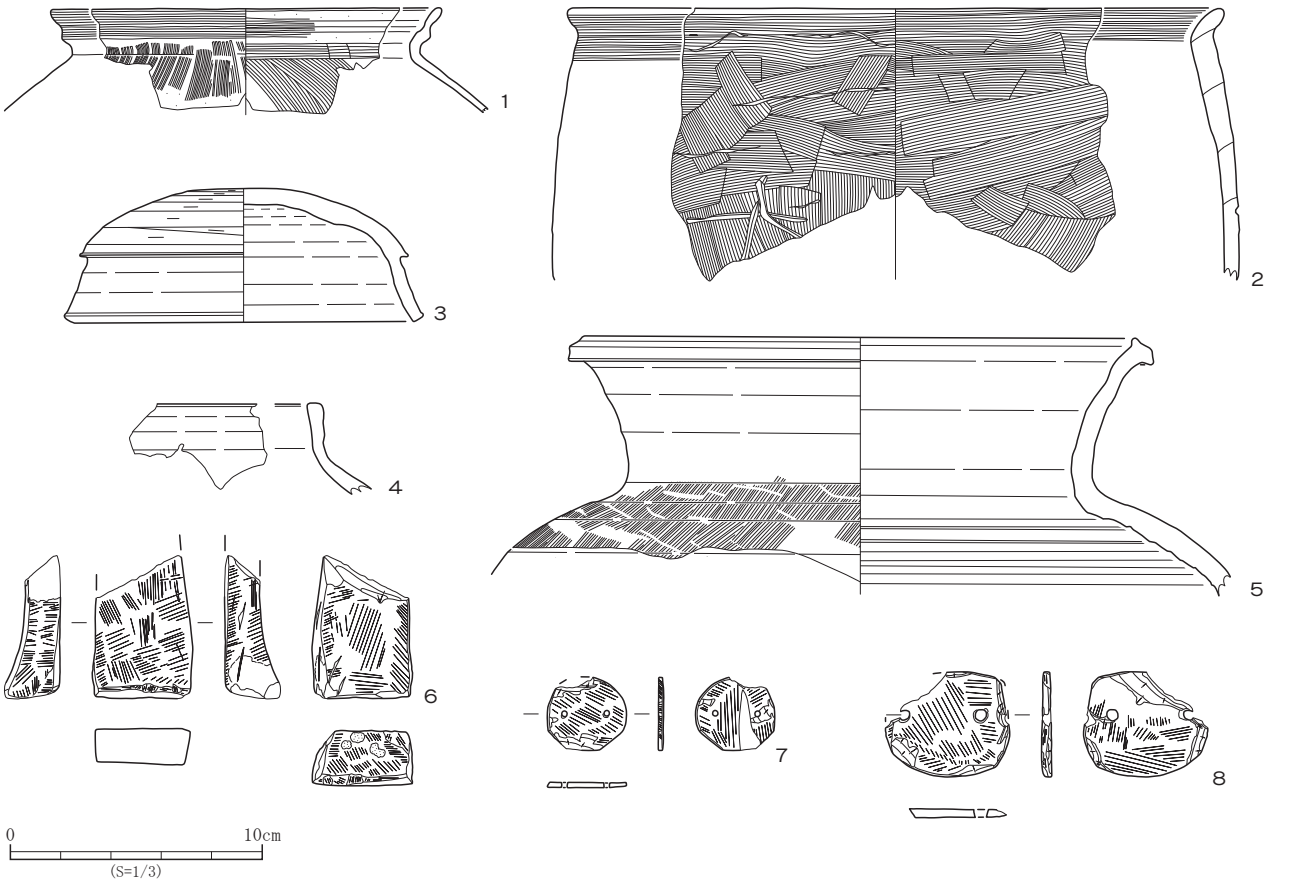
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-47	8	Ⅱ	W295･S130	土師器	有孔鉢	- × (5.8) ×現 2.3	ヘラナデ・ヘラケズリ	ヘラケズリ	孔径 11㎜、内面摩滅。	1-11
2	E-10	8	Ⅱ	W280･S125	須恵器	蓋	(14.0) × - ×現 4.1	ロクロナデ・回転ヘラケズリ	ロクロナデ		1-12
3	E-9	8	Ⅱ	W270･S130	須恵器	甕	- × - ×現 7.6	平行タタキ	当て具痕（青海波文）		-

第３図　Ⅱ層出土遺物



No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-48	8	Ⅳ	W335･S120	土師器	坏	(16.5) × - × 8.5	ヘラミガキ	ヘラミガキ・黒色処理		1-13
2	C-50	8	Ⅳ	W325･S134	土師器	高坏	- × (11.4) ×現 2.4	-	-	内外面摩滅。	1-14
3	C-49	8	Ⅳ	W285･S120	土師器	器台	- × - ×現 3.7	-	-	中空、透し孔あり、内外面摩滅。	1-15
4	C-51	8	Ⅳ	W305･S140	土師器	台付甕	- × - ×現 5.4	ハケメ・ヘラケズリ	ヘラナデ	内外面被熱。	1-16

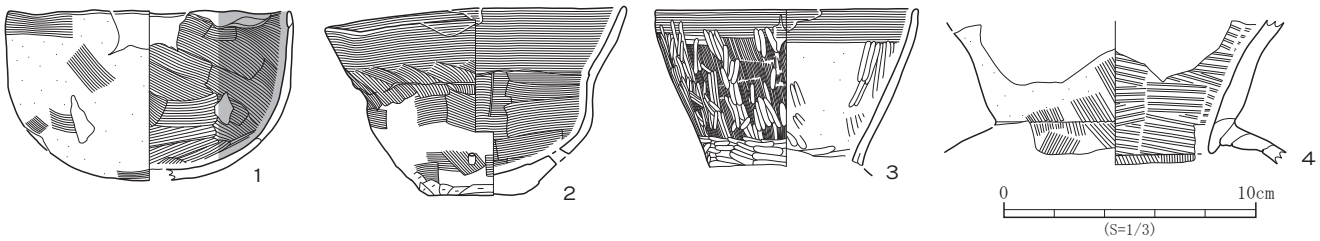
第４図　Ⅳ層出土遺物（１）



No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-56	8	Ⅳ	W305･S140	土師器	甕	(15.4) × - ×現 4.2	ヨコナデ・ハケメ	ヨコナデ・ヘラナデ	S 字状口縁、内外面被熱。	2-1
2	C-52	8	Ⅳ	W280･S130	土師器	甕	(26.0) × - ×現 10.8	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ	外面「大」刻書、炭化物付着。	2-2
3	E-11	8	Ⅳ	W285･S135	須恵器	蓋	(14.2) × - × 5.3	ロクロナデ・回転ヘラケズリ	ロクロナデ		2-3
4	E-12	8	Ⅳ	W285･S135	須恵器	壺	(10.4) × - ×現 3.6	ロクロナデ	ロクロナデ		2-4
5	E-13	8	Ⅳ	W310･S145	須恵器	甕	(22.0) × - ×現 10.1	ロクロナデ・平行タタキ	ロクロナデ		2-5

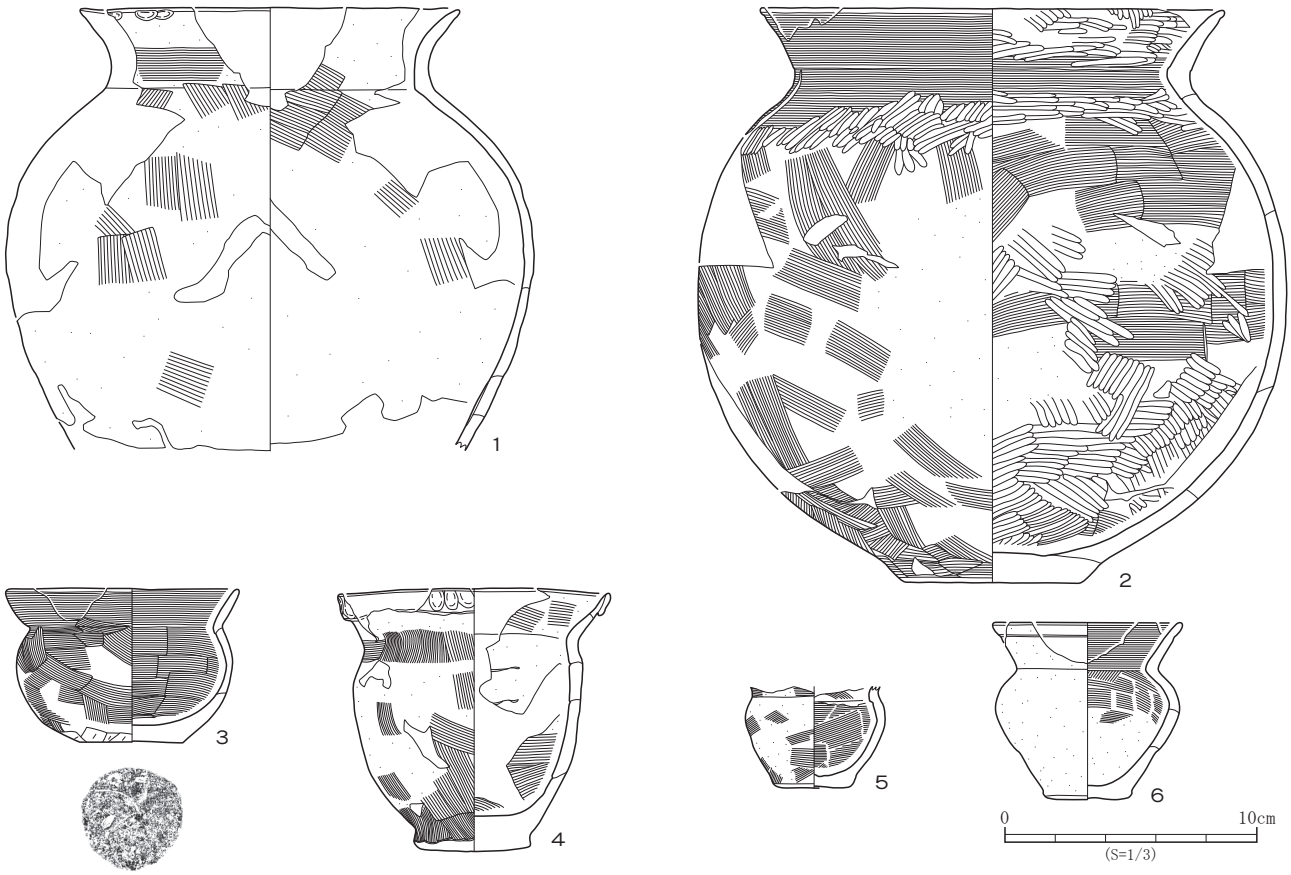
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	石　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
6	Kd-a-2	8	Ⅳ	W315･S145	石製品	砥石	石英安山岩質凝灰岩	(5.7) × (4.0) × 2.2　(53.66)	砥面５面、上部欠損。	2-6
7	Kd-e-1	8	Ⅳ	W305･S100	石製品	石製模造品	緑泥片岩	(2.9) × 3.2 × 0.2　(3.96)	有孔円盤（２孔）、端部欠損。	2-7
8	Kd-e-3	8	Ⅳ	W280･S140	石製品	石製模造品	緑泥片岩	(4.2) × (4.9) × 0.4　(11.60)	有孔円盤（２孔）、端部欠損。	2-8

第５図　Ⅳ層出土遺物（２）



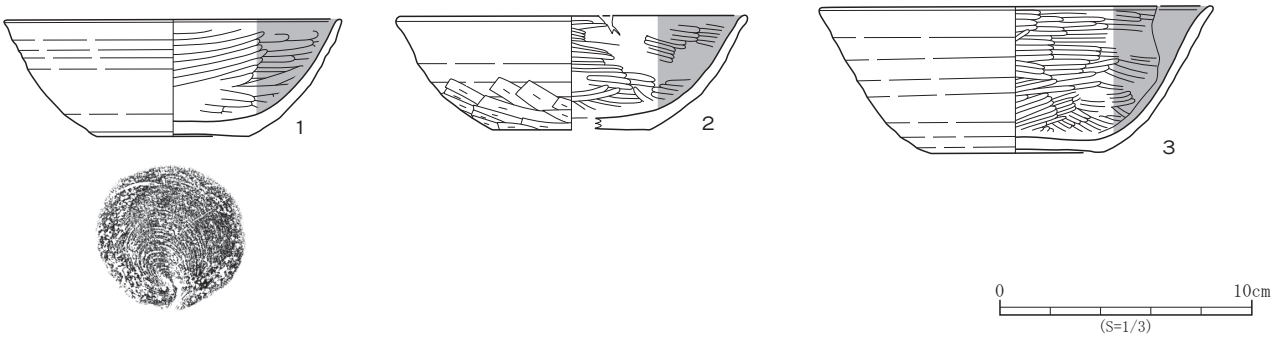
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-3	8	SI72-SX5･P6	-	土師器	埦	(11.2) × - × 6.7	ヨコナデ・ナデ	ヘラナデ・黒色処理		2-9
2	C-5	8	SI72	1	土師器	鉢	12.0 × 3.8 × 7.5	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ	胴部穿孔。	2-10
3	C-7	8	SI72	1	土師器	坩	10.4 × - ×現 6.2	ヨコナデ・ハケメ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラミガキ		2-11
4	C-8	8	SI72	1	土師器	壺	- × - ×現 5.7	ハケメ	ハケメ・ナデ		2-12

第６図　Ｖ層ＳＩ 72 竪穴住居跡出土遺物（１）



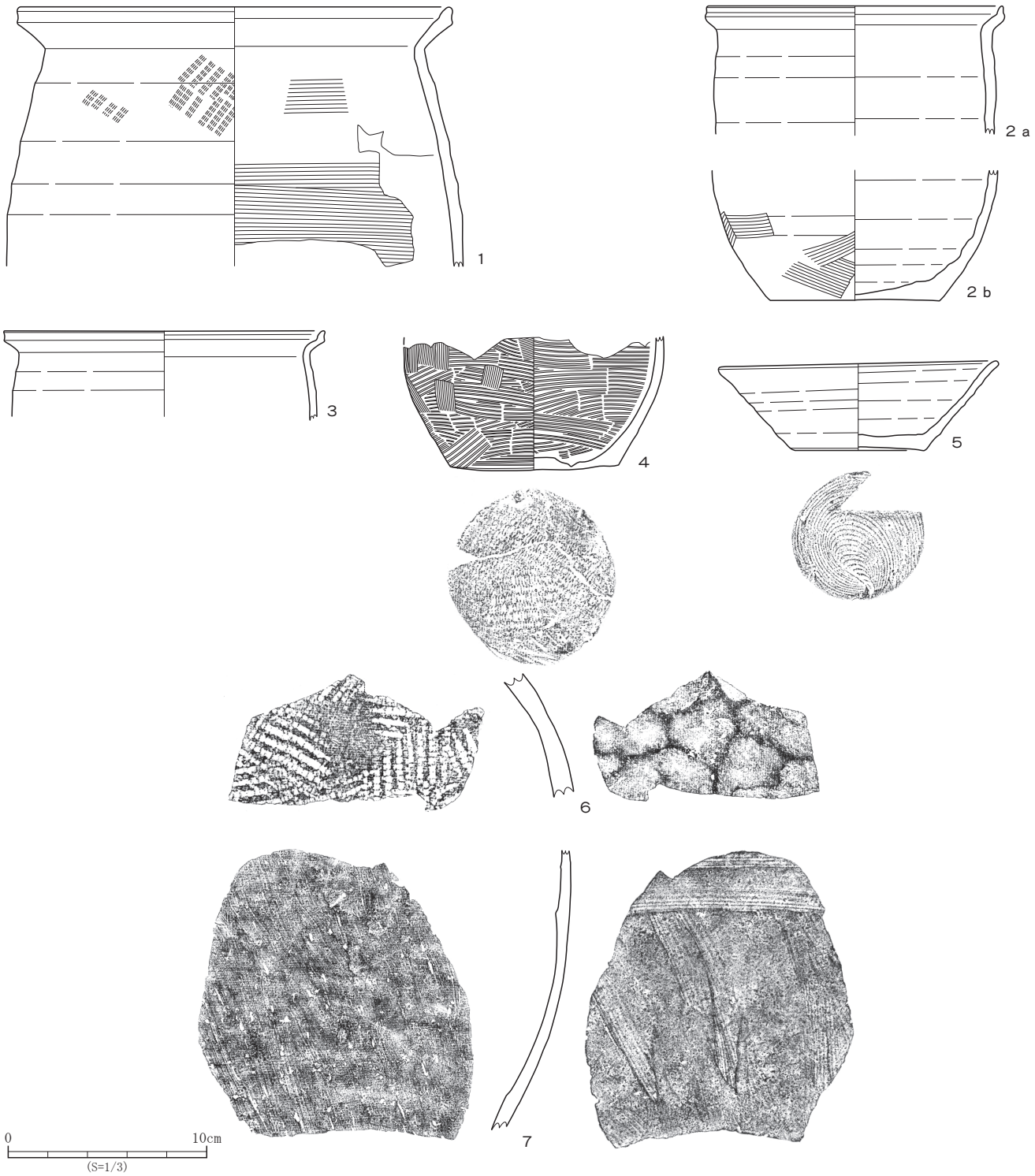
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-9	8	SI72	-	土師器	甕	(14.6) × - ×現 17.6	ヨコナデ・指オサエ・ヘラナデ	ヘラナデ	内外面被熱。	2-13
2	C-10	8	SI72	1	土師器	甕	(18.4) × 6.9 × 22.8	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ　底部ナデ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	内外面被熱。	2-14
3	C-4	8	SI72	1	土師器	甕	9.3 × 4.1 × 6.1	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ・ナデ	ヨコナデ・ヘラナデ	底部外面籾痕、内外面被熱。	2-15
4	C-6	8	SI72	1	土師器	甕	10.8 × 4.5 × 10.4	指オサエ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ	折り返し口縁。	2-16
5	C-1	8	SI72-SK1	検出面	土師器	ミニチュア	- × 3.2 ×現 4.0	ナデ	ナデ		2-17
6	C-2	8	SI72	1	土師器	ミニチュア	(7.6) × 3.4 × 7.0	-	ヨコナデ・ナデ	外面摩滅。	2-18

第７図　Ｖ層ＳＩ 72 竪穴住居跡出土遺物（２）



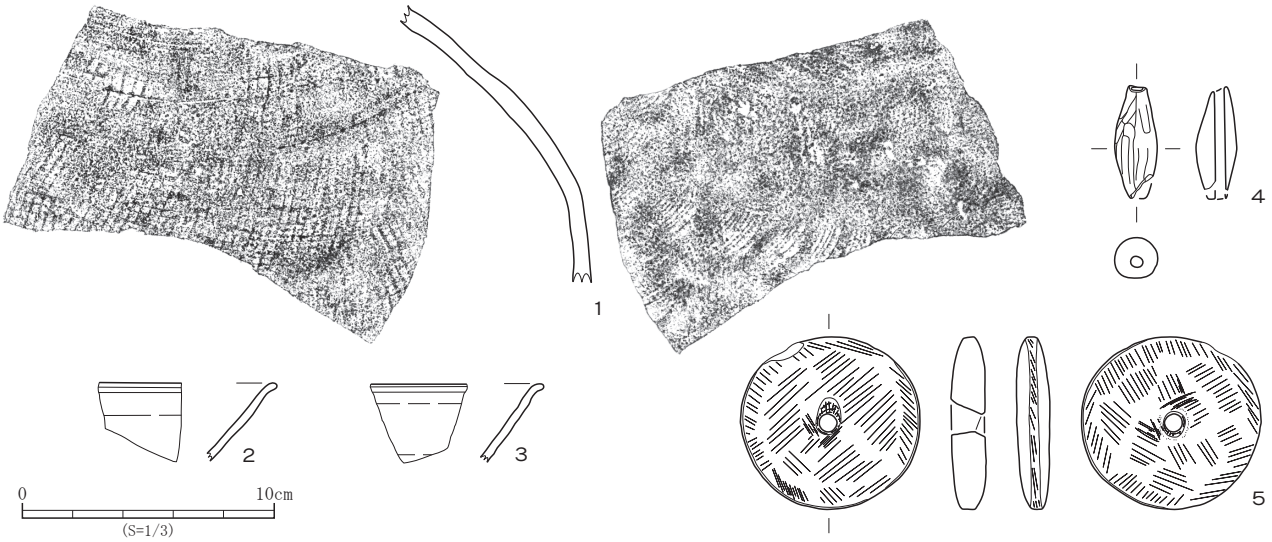
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-1	8	SI76	床直	土師器	坏	13.4 × 6.0 × 4.7	ロクロナデ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理		3-1
2	D-3	8	SI76	床直	土師器	坏	(14.0) × (6.2) × 4.5	ロクロナデ・手持ちヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	底部切り離し不明。	3-2
3	D-2	8	SI76	床直	土師器	坏	(15.6) × 7.0 × 5.8	ロクロナデ　底部回転ヘラケズリ	ヘラミガキ・黒色処理	外面被熱。	3-3

第８図　Ｖ層ＳＩ 76 竪穴住居跡出土遺物（１）



№.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-5	8	SI76	床面	土師器	甕	(22.0) × - ×現 13.2	ロクロナデ・平行タタキ	ロクロナデ・ヘラナデ	内外面被熱。	3-4
2	D-6	8	SI76-SK1	-	土師器	甕	(14.8) × (8.6) ×現 6.4+6.6	ロクロナデ・ヘラナデ　底部手持ちヘラケズリ	ロクロナデ	内外面被熱。	3-5
3	D-4	8	SI76-SK1	-	土師器	甕	(16.2) × - ×現 4.5	ロクロナデ	ロクロナデ	内外面被熱、外面煤付着。	3-6
4	C-11	8	SI76-SK1	-	土師器	甕	- × 8.5 ×現 6.7	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ	底部網代痕、外面被熱、内外面炭化物付着。	3-7
5	E-1	8	SI76	床直	須恵器	坏	14.0 × 6.7 × 4.5	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		3-8
6	E-2	8	SI76-SK1	-	須恵器	甕	- × - ×現 6.2	平行タタキ	当て具痕（青海波文）		3-9
7	E-3	8	SI76	床直	須恵器	甕	- × - ×現 13.5	ナデ・ヘラケズリ	ヘラナデ・ナデ		-

第９図　Ｖ層ＳＩ 76 竪穴住居跡出土遺物（２）

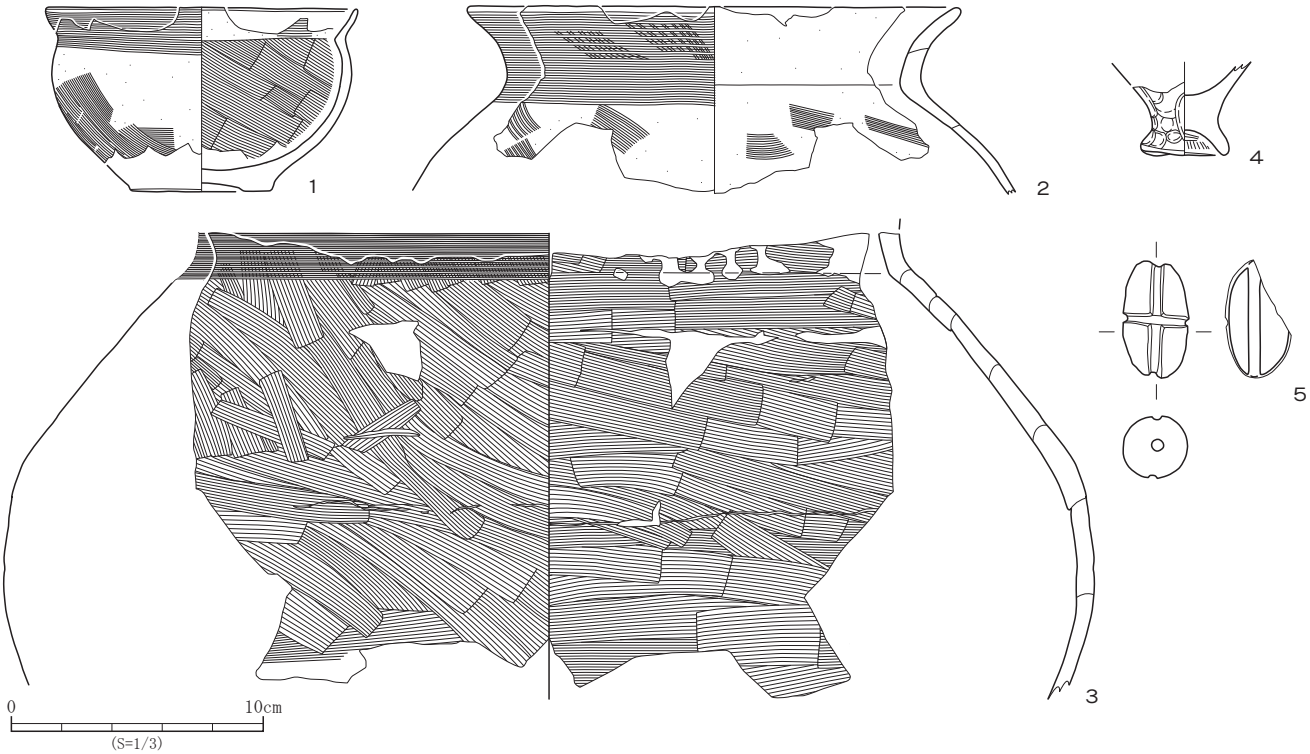


No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	E-4	8	SI76	床直	須恵器	甕	- × - ×現 10.8	平行タタキ→ロクロナデ	当て具痕（青海波文）→ロクロナデ		-
2	I-2	8	SI76	床面	灰釉陶器	皿	- × - ×現 3.1	ロクロナデ→施釉（ハケヌリ？）	ロクロナデ→施釉（ハケヌリ？）	I-1・4 と同一？	3-10
3	I-1	8	SI76	-	灰釉陶器	皿	- × - ×現 3.1	ロクロナデ→施釉（ハケヌリ？）	ロクロナデ→施釉（ハケヌリ？）	I-2・4 と同一？	3-11

No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
4	P-1	8	SI76	3	土製品	土錘	ナデ	45 × 17 × 16㎜　6.6g　孔径 5㎜。	

No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	石　材	長さ×幅×厚さ（cm）　重さ（g）	備　考	写真図版
5	Kd-f-1	8	SI76	-	石製品	石製紡錘車	石英安山岩質凝灰岩	6.9 × 7.1 × 1.4　40.22	孔径 0.7㎝	3-12
-	Ke-1	8	SI76	3	その他	碁石	頁岩	1.9 × 1.8 × 0.7　4.07	写真のみ。	3-14
-	Ke-2	8	SI76	3	その他	碁石	頁岩	2.0 × 1.3 × 0.8　3.07	写真のみ。	3-15
-	Ke-3	8	SI76	3	その他	碁石	頁岩	1.9 × 1.3 × 1.1　3.48	写真のみ。	3-16
-	Ke-4	8	SI76	-	その他	碁石	頁岩	1.9 × 1.8 × 0.6　3.36	写真のみ。	3-17
-	Ke-5	8	SI76	-	その他	碁石	頁岩	1.8 × 1.5 × 0.7　2.91	写真のみ。	3-18
-	Ke-6	8	SI76	-	その他	碁石	頁岩	1.7 × 1.4 × 0.7　2.30	写真のみ。	3-19

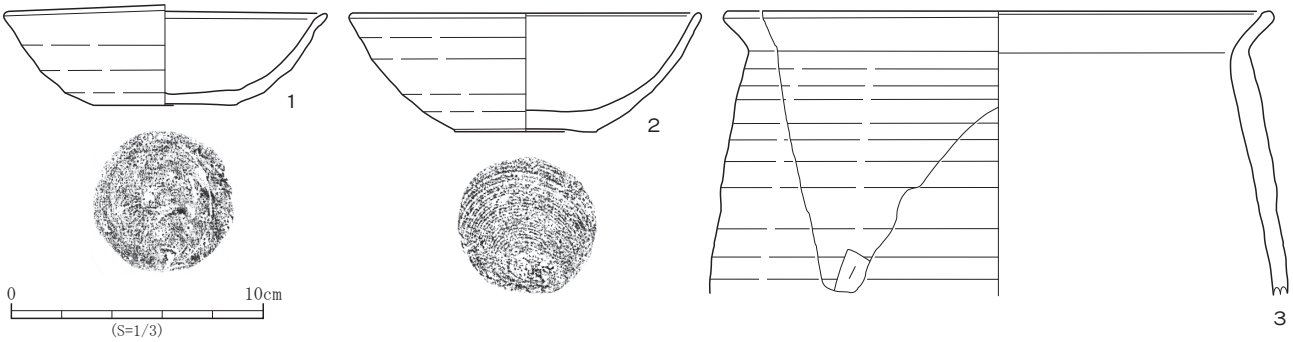
第 10 図　Ｖ層ＳＩ 76 竪穴住居跡出土遺物（３）



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-59	8	SI78	-	土師器	鉢	(12.4) × 5.4 × 7.2	ヨコナデ・ナデ	ヨコナデ・ヘラナデ		3-20
2	C-13	8	SI78	-	土師器	甕	19.6 × - ×現 7.9	ヨコナデ・ハケメ	ハケメ		3-21
3	C-14	8	SI78	-	土師器	甕	- × - ×現 18.5	ヨコナデ・ヘラナデ	ヘラナデ		3-22
4	C-12	8	SI78	-	土師器	ミニチュア	- × 3.5 ×現 3.7	指オサエ	ナデ		3-23

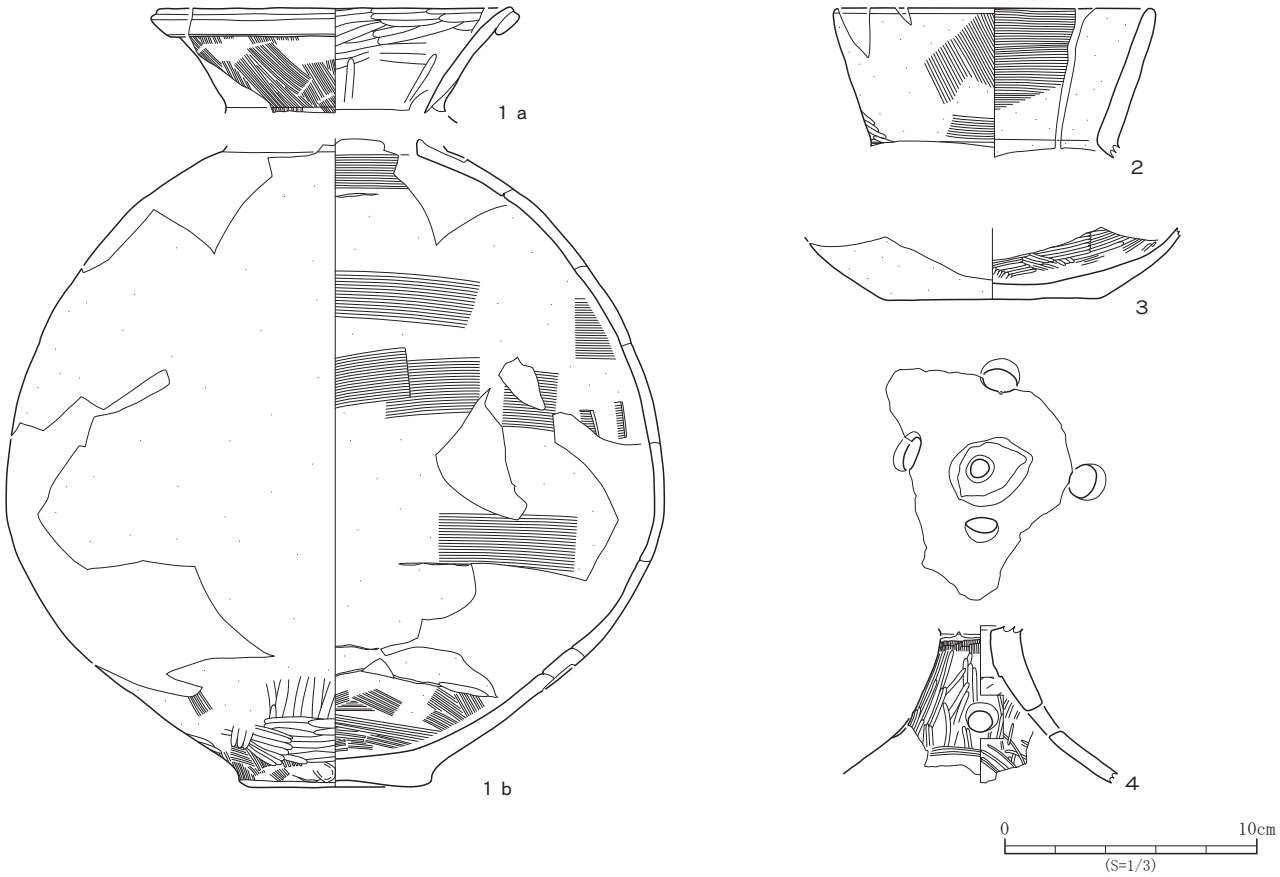
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
5	P-3	8	SI78	2	土製品	土錘	幅３～５㎜の十字溝あり。	46 × 26 × 26㎜　26.3g　孔径 4mm。	3-24

第 11 図　Ｖ層ＳＩ 78 竪穴住居跡出土遺物



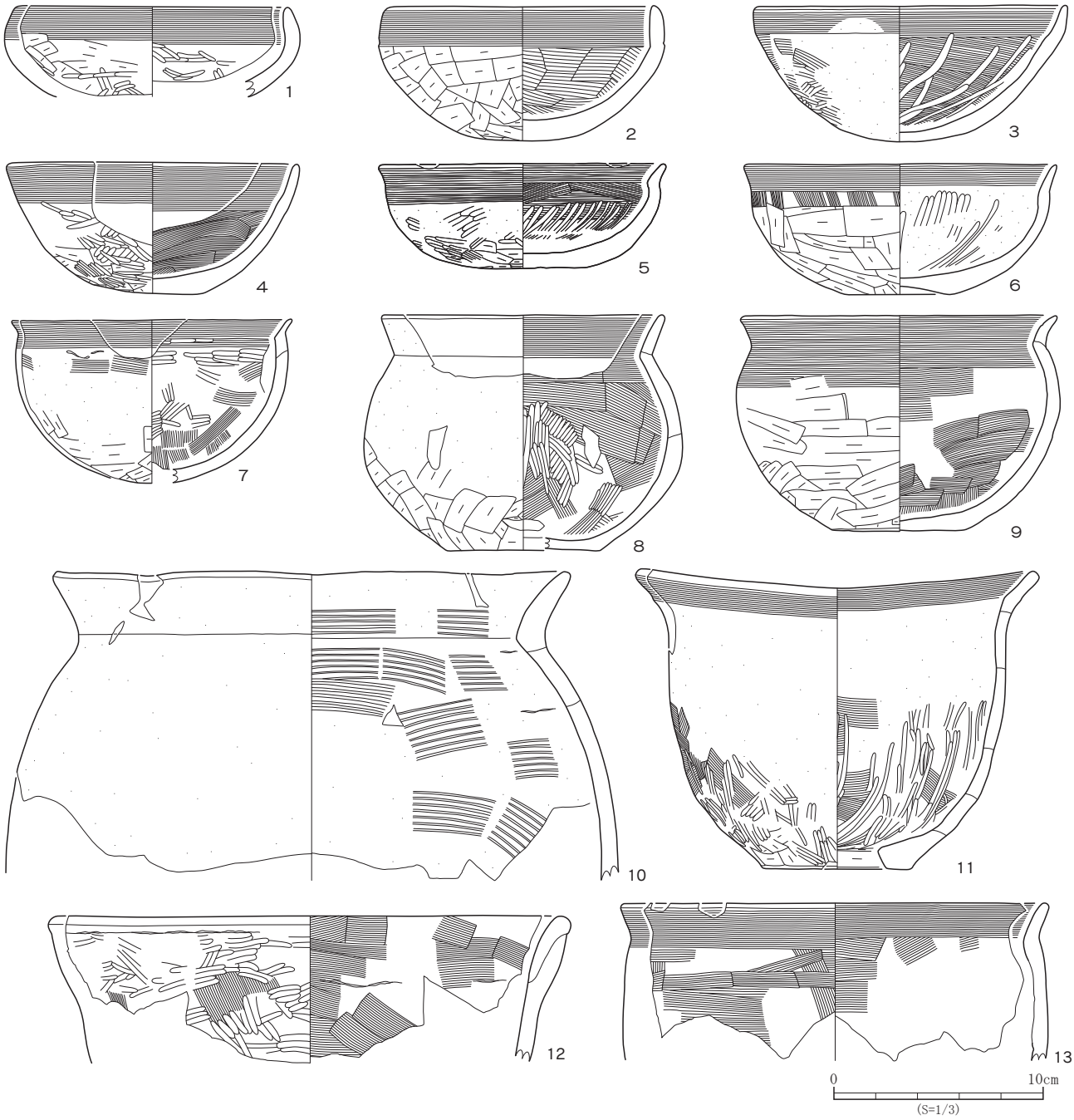
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-8	8	SI79-SK3	-	赤焼土器	坏	12.8 × 5.7 × 4.0	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ	外面炭化物付着。	4-1
2	D-9	8	SI79	床直	赤焼土器	坏	(14.0) × 5.6 × 4.7	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ		4-2
3	D-10	8	SI79	-	土師器	甕	(21.5) × - ×現 11.3	ロクロナデ・ヘラケズリ	ロクロナデ		4-3

第 12 図　Ｖ層ＳＩ 79 竪穴住居跡出土遺物



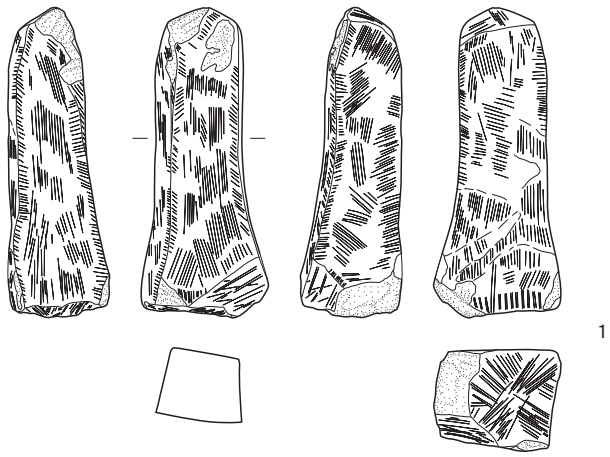
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-18	8	SI80	-	土師器	壺	(14.8) × 7.6 ×現 25.2+4.2	ヨコナデ・ハケメ・指オサエ・ヘラミガキ　底部ヘラケズリ・ナデ	ヘラナデ・ハケメ・ヘラミガキ	折り返し口縁。	4-4
2	C-17	8	SI80-SK1	-	土師器	壺	(12.5) × - ×現 5.9	ヘラナデ・ヘラミガキ	ヘラナデ	内外面赤彩。	4-5
3	C-16	8	SI80	3	土師器	甕	- × (8.4) ×現 2.8	-	ヘラミガキ	外面摩滅。	4-6
4	C-15	8	SI80	-	土師器	器台	- × - ×現 6.2	ヘラナデ・ヘラミガキ	ヘラケズリ・ヘラミガキ	透し孔 4 孔、内外面赤彩。	4-7

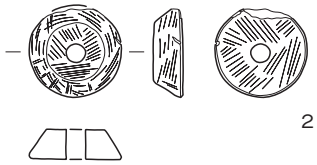
第 13 図　Ｖ層ＳＩ 80 竪穴住居跡出土遺物



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-23	8	SI104-P3	3	土師器	坏	(13.0) × - ×現 4.3	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ		4-8
2	C-22	8	SI104-P3	3	土師器	坏	12.9 × - × 6.4	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ	内外面被熱。	4-9
3	C-19	8	SI104	床直	土師器	坏	14.9 × - × 6.5	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ (放射状)		4-10
4	C-21	8	SI104-P3	3	土師器	坏	14.0 × - × 6.3	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ		4-11
5	C-20	8	SI104	床直	土師器	坏	13.8 × - × 5.0	ヨコナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ (放射状)		4-12
6	C-25	8	SI104-P3	3	土師器	坏	(15.0) × 5.0 × 6.2	ヨコナデ・ハケメ・ヘラケズリ・ヘラミガキ?	ヨコナデ・ヘラミガキ (放射状)		4-13
7	C-27	8	SI104- カマド	-	土師器	埦	(13.4) × - × 7.8	ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ナデ・ヘラミガキ		4-14
8	C-24	8	SI104	3	土師器	鉢	(13.6) × (7.2) × 11.2	ヨコナデ? ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	外面被熱。	4-15
9	C-26	8	SI104-SK1	-	土師器	鉢	15.1 × 6.5 × 10.3	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ	外面被熱、外面炭化物・内外面煤付着。	4-16
10	C-29	8	SI104-P3	床直	土師器	甕	(24.2) × - ×現 14.8	-	ハケメ・ヘラナデ	外面摩滅。	5-1
11	C-30	8	SI104- カマド	4	土師器	甑	(19.4) × 7.0 × 14.3	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラケズリ・ヘラミガキ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ	単孔。	5-2
12	C-31	8	SI104- カマド	-	土師器	甑	(24.4) × - ×現 7.0	ヘラナデ・ヘラミガキ	ヘラナデ		5-3
13	C-28	8	SI104	床直	土師器	甑?	(20.4) × - ×現 7.5	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ・ヘラナデ		5-4

第 14 図　Ｖ層ＳＩ 104 竪穴住居跡出土遺物（1）



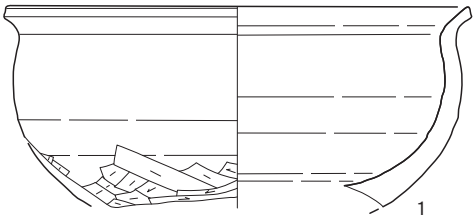


No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種
1	Kd-a-1	8	SI104-P3	-	石製品	砥石
2	Kd-f-2	8	SI104	掘り方	石製品	石製紡錘車

No.	石　材	長さ×幅×厚さ(cm)　重さ(g)	備　考	写真図版
1	石英安山岩質凝灰岩	12.3 × 5.1 × 4.1　266.45		5-5
2	緑泥片岩	(3.5) × 3.7 × 1.2　(19.85)	孔径 7㎜、端部欠損。	5-6

0　10cm
(S=1/3)

第 15 図　Ｖ層ＳＩ 104 竪穴住居跡出土遺物（２）

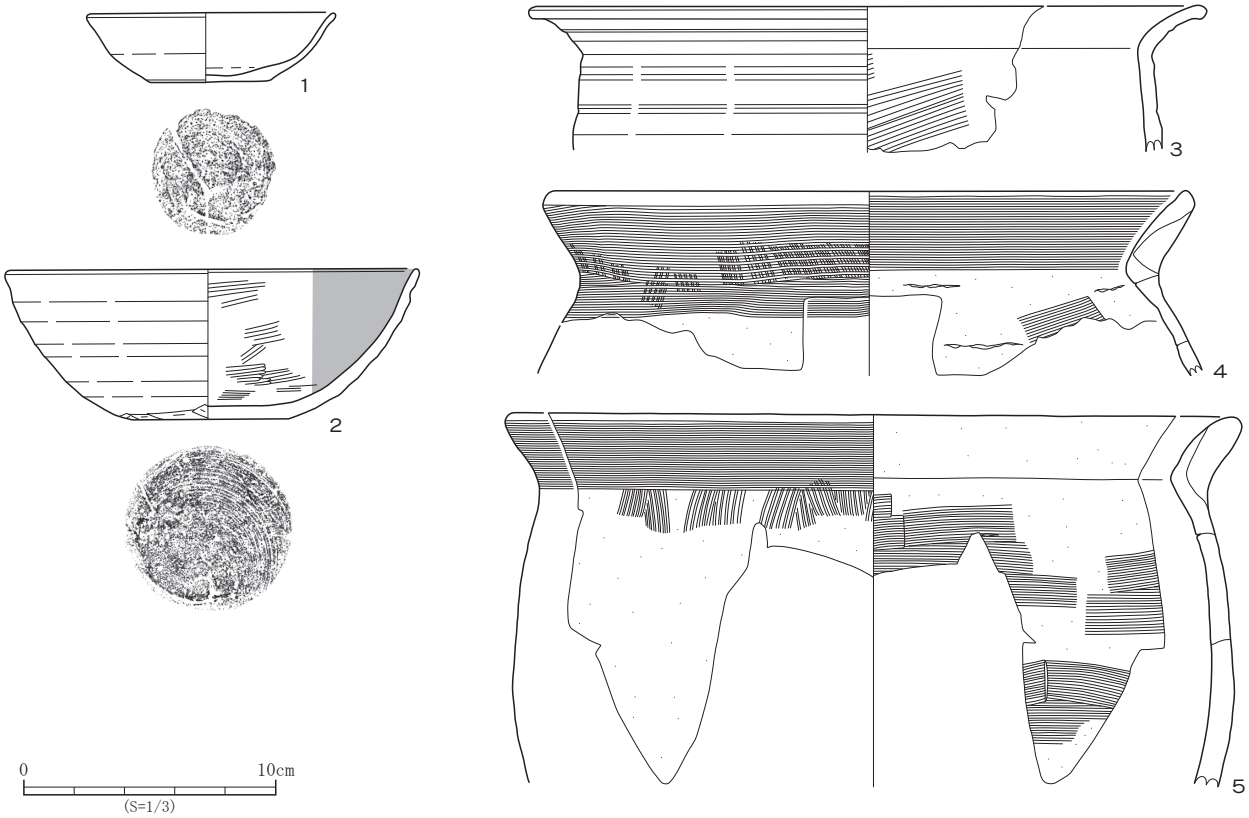


No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)
1	E-5	8	SI160	6	須恵器	鉢	(18.4) × - ×現 8.0

No.	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	ロクロナデ・手持ちヘラケズリ	ロクロナデ		5-7

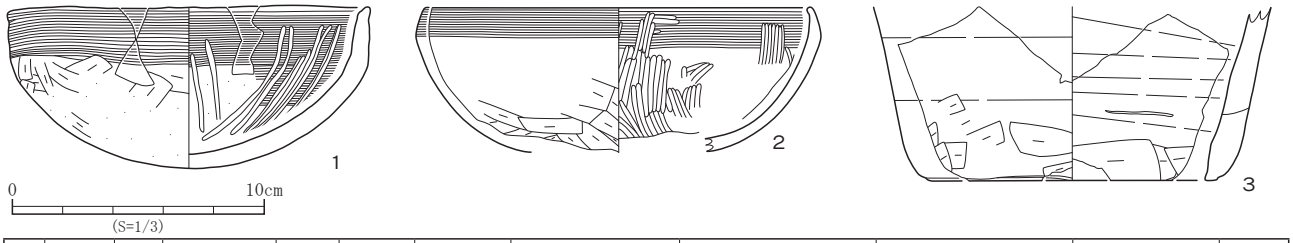
0　10cm
(S=1/3)

第 16 図　Ｖ層ＳＩ 160 竪穴住居跡出土遺物



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	D-11	8	SK83	1	赤焼土器	坏	9.9 × 4.8 × 2.8	ロクロナデ　底部回転糸切り	ロクロナデ	内外面被熱、内面煤付着。	5-8
2	D-12	8	SK86	2	土師器	坏	16.4 × 6.6 × 5.9	ロクロナデ・手持ちヘラケズリ　底部回転糸切り	ヘラミガキ・黒色処理	外面被熱。	5-9
3	D-13	8	SK86	2	土師器	甕	(27.0) × - ×現 5.8	ロクロナデ	ロクロナデ・ナデ		5-10
4	C-34	8	SK99	1	土師器	甕	25.2 × - ×現 7.3	ヨコナデ・ハケメ	ヨコナデ・ヘラナデ		5-11
5	C-35	8	SK99	1	土師器	甕	(29.2) × - ×現 14.7	ヨコナデ・ハケメ	ヘラナデ		5-12

第 17 図　Ｖ層土坑出土遺物

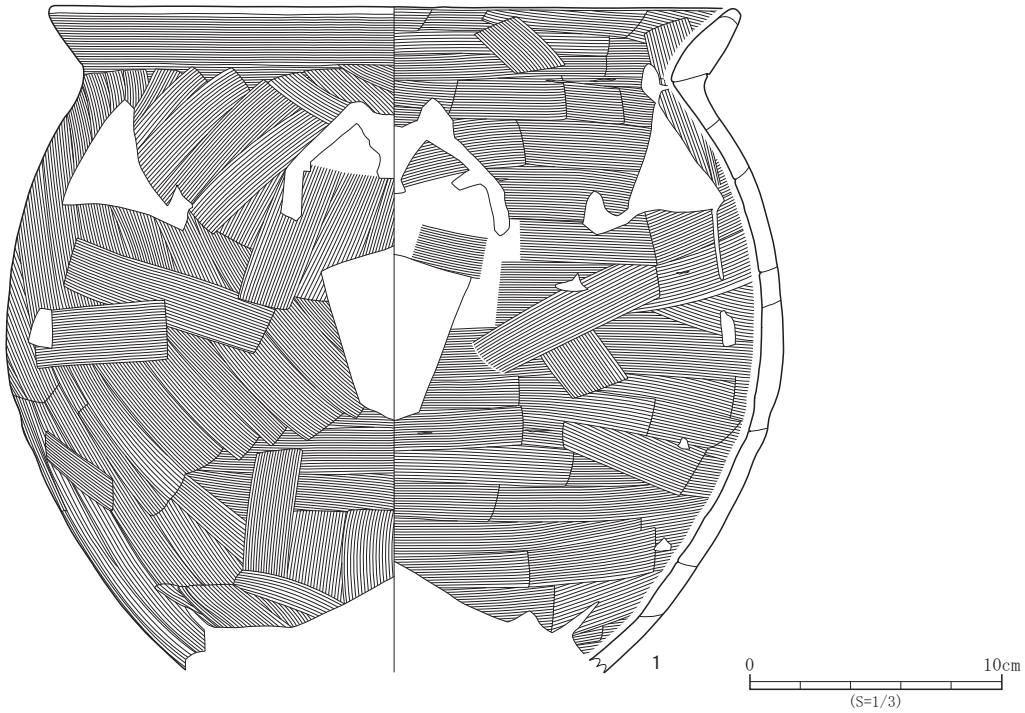


No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-39	8	SX98	1	土師器	坏	14.4 × - × 6.5	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラナデ・ヘラミガキ(放射状)	内面黒色漆仕上げ。	5-13
2	C-38	8	SX98	1	土師器	坏	(15.2) × - ×現 5.7	ヨコナデ・ヘラケズリ	ヨコナデ・ヘラミガキ	外面赤彩。	5-14
3	E-6	8	SX105	-	須恵器	甑	- × (11.4) ×現 6.9	ロクロナデ・手持ちヘラケズリ	ロクロナデ・手持ちヘラケズリ		5-15

第 18 図　Ⅴ層性格不明遺構出土遺物

No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-33	8	SD52	1	土師器	坩	- × - ×現 4.7	ヨコナデ？・ナデ・ヘラケズリ	ヘラミガキ・ヘラナデ		5-16

第 19 図　Ⅴ層溝跡出土遺物



No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備　考	写真図版
1	C-58	8	Ⅴ	W280･S125	土師器	甕	27.4 × - ×現 26.4	ヨコナデ・ヘラナデ	ヘラナデ		6-1

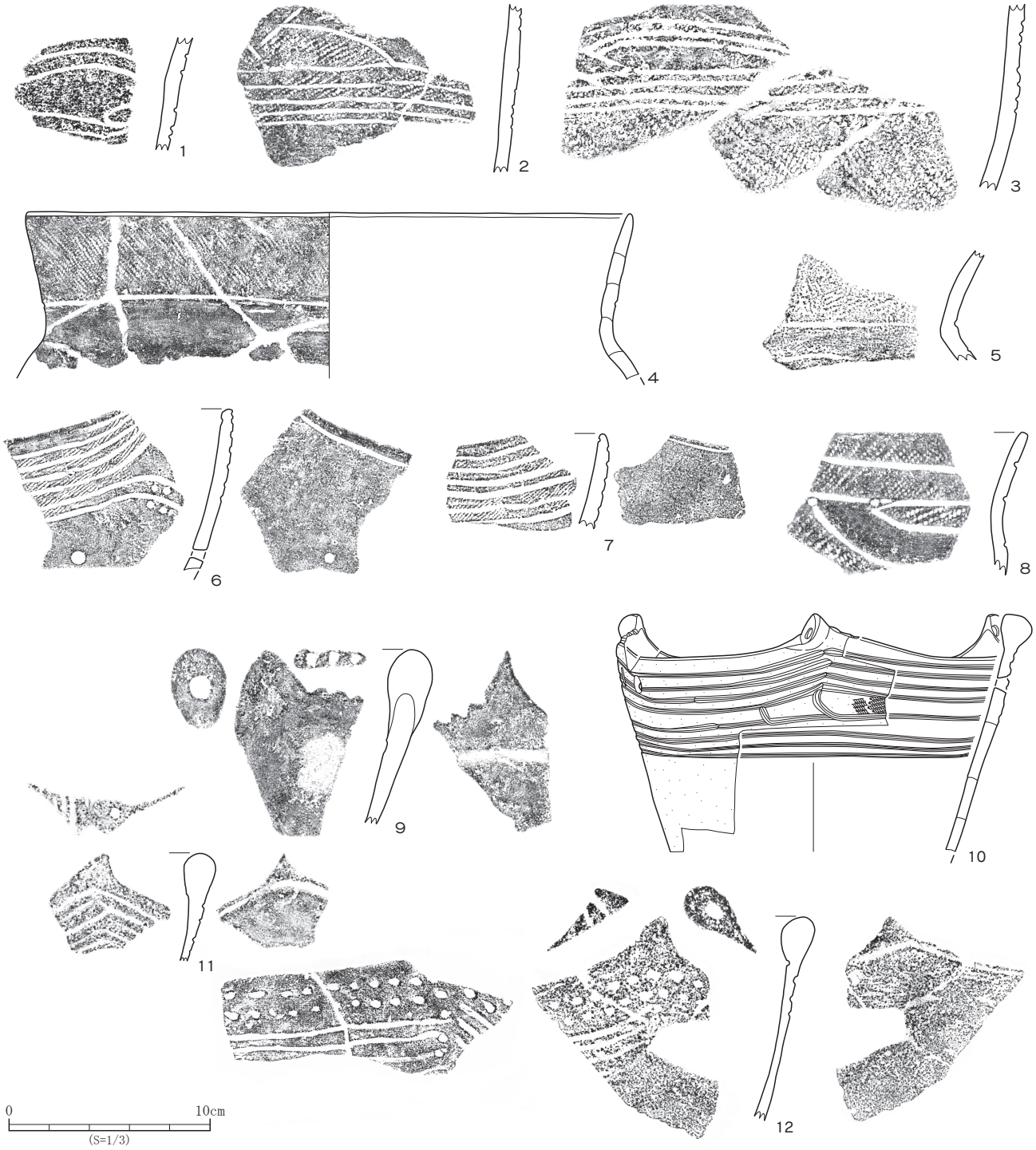
第 20 図　Ⅴ層出土遺物

No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-151	8	Ⅵ	W295・S135	縄文土器	深鉢	口縁～胴部・波状口縁・沈線文・RL 縄文		6-2

第21図　Ⅵ層出土遺物（１）

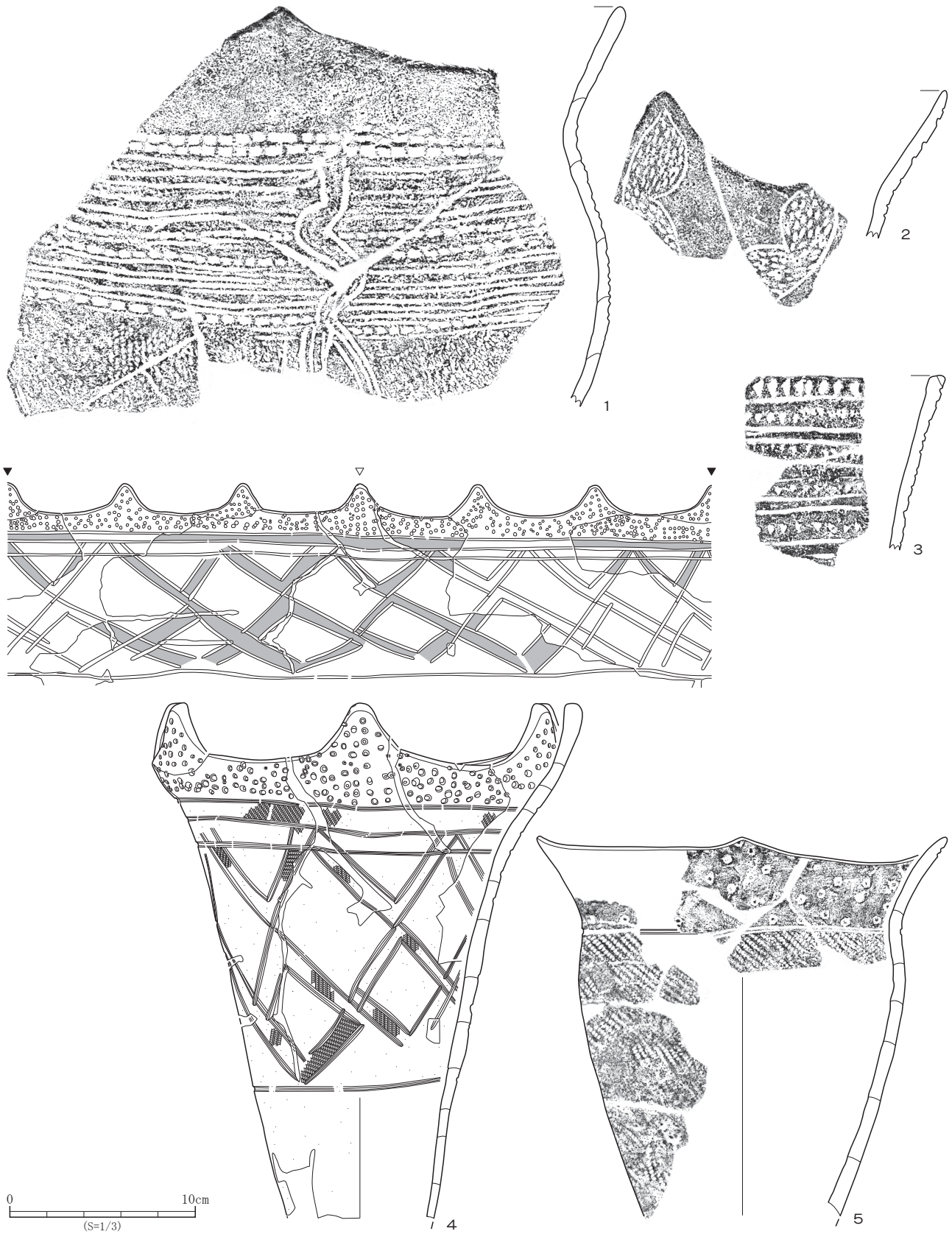
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-124	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	鉢	突起 - 隆線文・沈線文	胎土に金雲母混入。	6-3
2	A-101	8	Ⅵ	W325･S120	縄文土器	不明	橋状把手・ナデ・貫通孔	上半剥落。	-
3	A-24	8	Ⅵ	W315･S110	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 沈線文 ･RL 縄文		6-4
4	A-32	8	Ⅵ	W310･S125	縄文土器	鉢	口縁 - 沈線文　口唇部 - 有刻	胎土に金雲母混入。	6-5
5	A-46	8	Ⅵ	W285･S138	縄文土器	鉢	口縁～胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		6-6
6	A-35	8	Ⅵ	W315･S125	縄文土器	鉢	口縁部 - 波状口縁・沈線文		6-7
7	A-38	8	Ⅵ	W305･S140	縄文土器	鉢	口縁部 - 沈線文 ･LR 縄文		6-8
8	A-30	8	Ⅵ	W310･S115	縄文土器	鉢	口縁部 - 沈線文		-
9	A-39	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	鉢	口縁部 - 沈線文 ･LR 縄文		-
10	A-37	8	Ⅵ	W280･S130	縄文土器	鉢	胴部 - 沈線文 ･RL 縄文	内面炭化物付着。	7-1
11	A-31	8	Ⅵ	W320･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文・沈線文 ･RL 縄文	内面炭化物付着。	7-2
12	A-86	8	Ⅵ	W310･S123	縄文土器	鉢	胴部 -「クランク」状文 ･RL 縄文 ･LR 縄文		7-3
13	A-48	8	Ⅵ	W285･S140	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		7-4
14	A-47	8	Ⅵ	W285･S140	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		-
15	A-28	8	Ⅵ	W335･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		7-5
16	A-76	8	Ⅵ	W304･S131	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文・「クランク」状文 ･LR 縄文　底部 - 網代痕	内外面摩滅、下ノ内遺跡 7A 区Ⅵ層 SX18 出土 A-41 と同一。	7-6

第 22 図　Ⅵ層出土遺物（２）



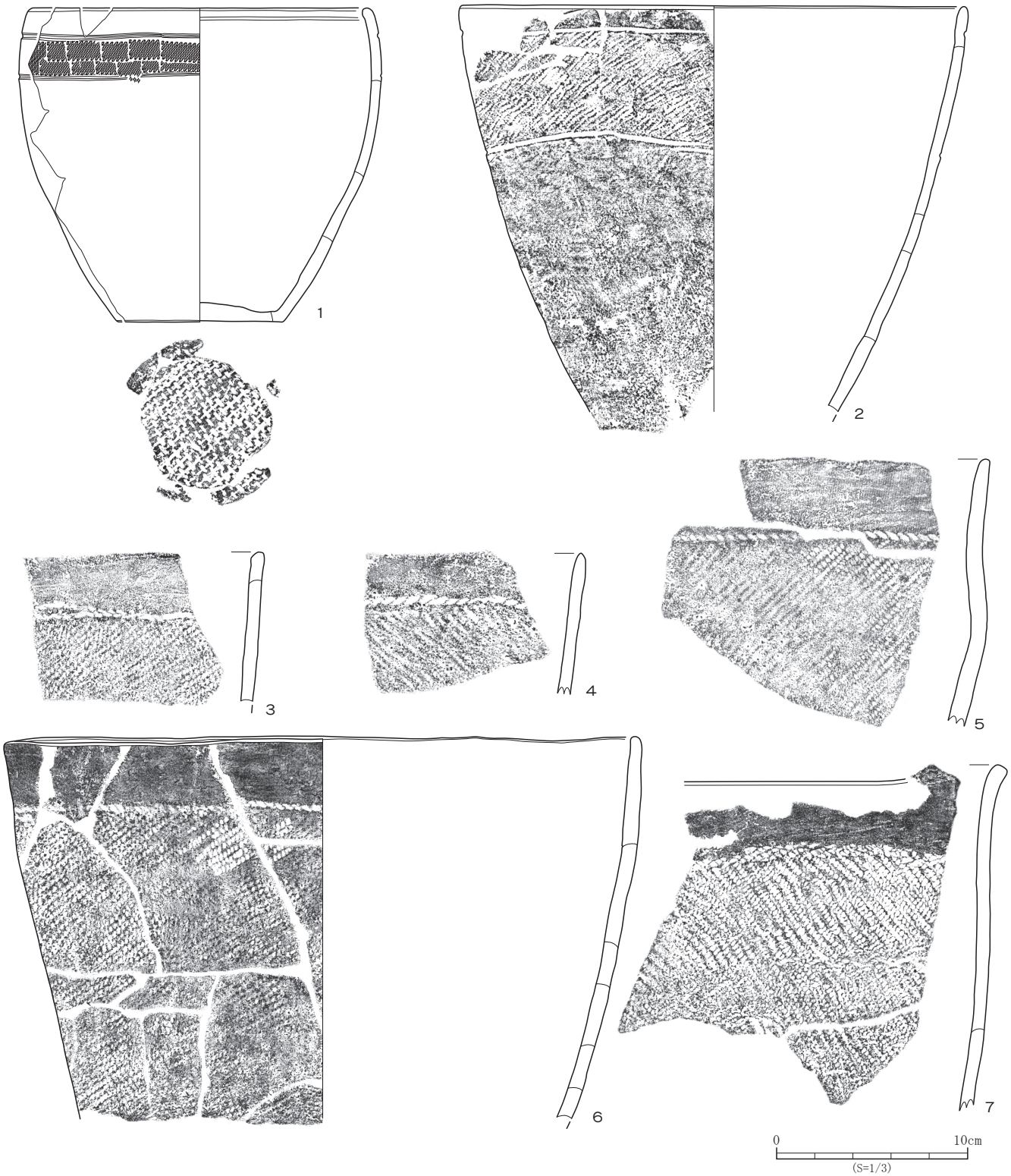
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-40	8	Ⅵ	W315･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文？	内外面摩滅。	7-7
2	A-42	8	Ⅵ	-	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		7-8
3	A-85	8	Ⅵ	-	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･RL 縄文		7-9
4	A-26	8	Ⅵ	W315･S111	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 沈線文 ･RL 縄文		7-10
5	A-23	8	Ⅵ	-	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		7-11
6	A-33	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	鉢	口縁部 - 波状口縁・沈線文・刺突文 ･L 縄文　内面に沈線文	補修孔あり、A-36 と同一。	7-12
7	A-36	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	鉢	口縁部 - 波状口縁・沈線文 ･L 縄文　内面に沈線文	A-33 と同一。	-
8	A-34	8	Ⅵ	W325･S110	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文・刺突文 ･LR 縄文		7-13
9	A-125	8	Ⅵ	-	縄文土器	深鉢	口縁部 - 波状口縁・山形突起　外面：ナデ　内面に沈線文　口唇部 - 有刻　突起側面 - 刺突文		7-14
10	A-22	8	Ⅵ	W315･S110	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・山形小突起・沈線文・刺突文 ･RL 縄文　口唇部 - 有刻　突起側面 - 刺突文	補修孔あり、胎土に金雲母混入、内外面摩滅。	7-15
11	A-245	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	鉢	口縁部 - 波状口縁・山形小突起・沈線文　内面に沈線文　突起側面 - 有刻・刺突文		7-16
12	A-99	8	Ⅵ	W325･S110	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・山形突起・沈線文・刺突文　内面に沈線文　突起側面 - 刺突文・有刻		7-17

第 23 図　Ⅵ層出土遺物（３）



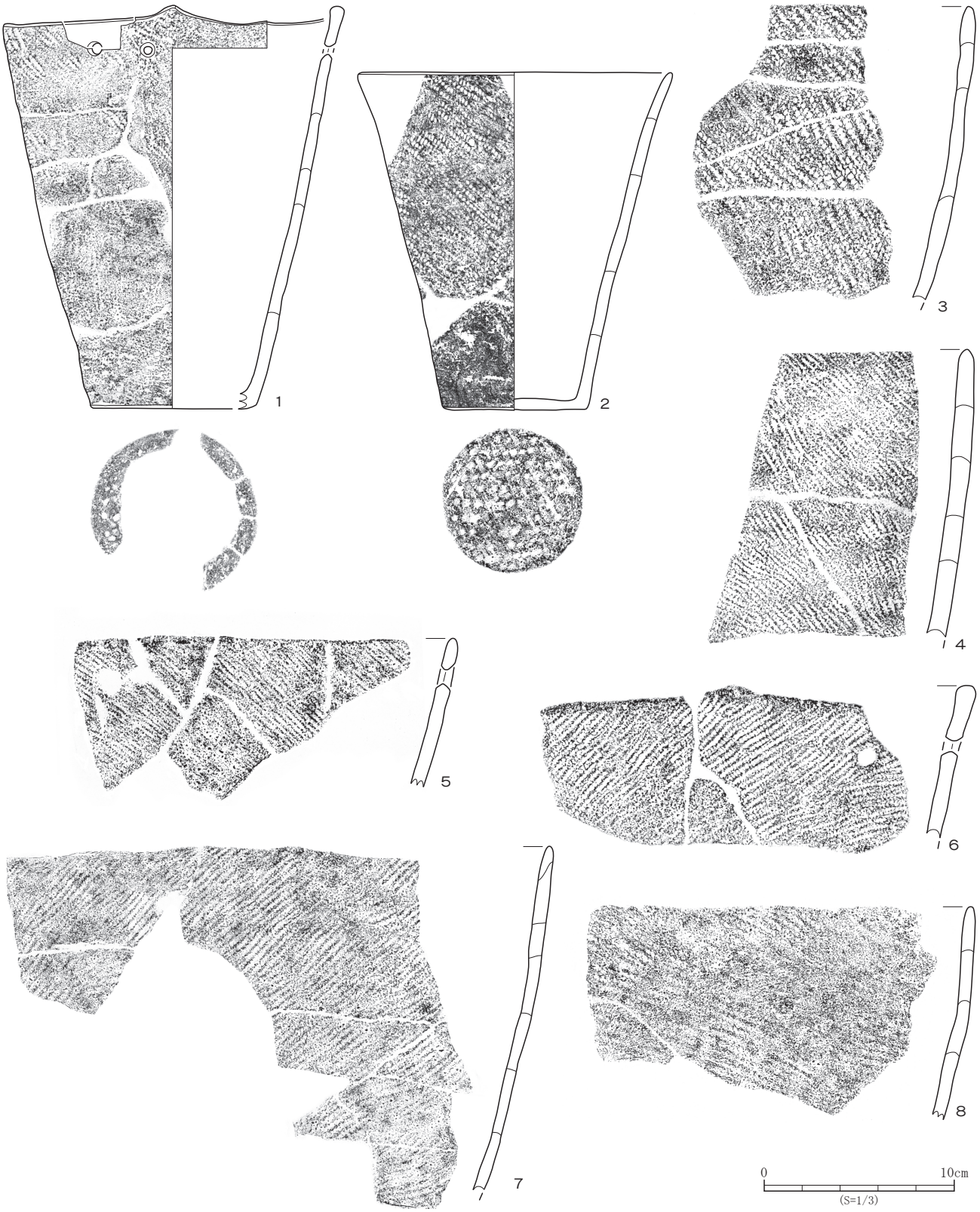
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-43	8	Ⅵ	W295･S135	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・押し引き沈線文区画・沈線文・刺突文・RLR 縄文		8-1
2	A-95	8	Ⅵ	W305･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・沈線文・刺突文		8-2
3	A-96	8	Ⅵ	W335･S100	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 沈線文・刺突文　口唇部 - 有刻		8-3
4	A-100	8	Ⅵ	W297･S140	縄文土器	深鉢	口縁部 - 波状口縁・刺突文　胴部 - 沈線文区画・「菱形」状文・RL 縄文		8-4
5	A-27	8	Ⅵ	-	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・沈線文・刺突文・RL 縄文		8-5

第 24 図　Ⅵ層出土遺物（４）



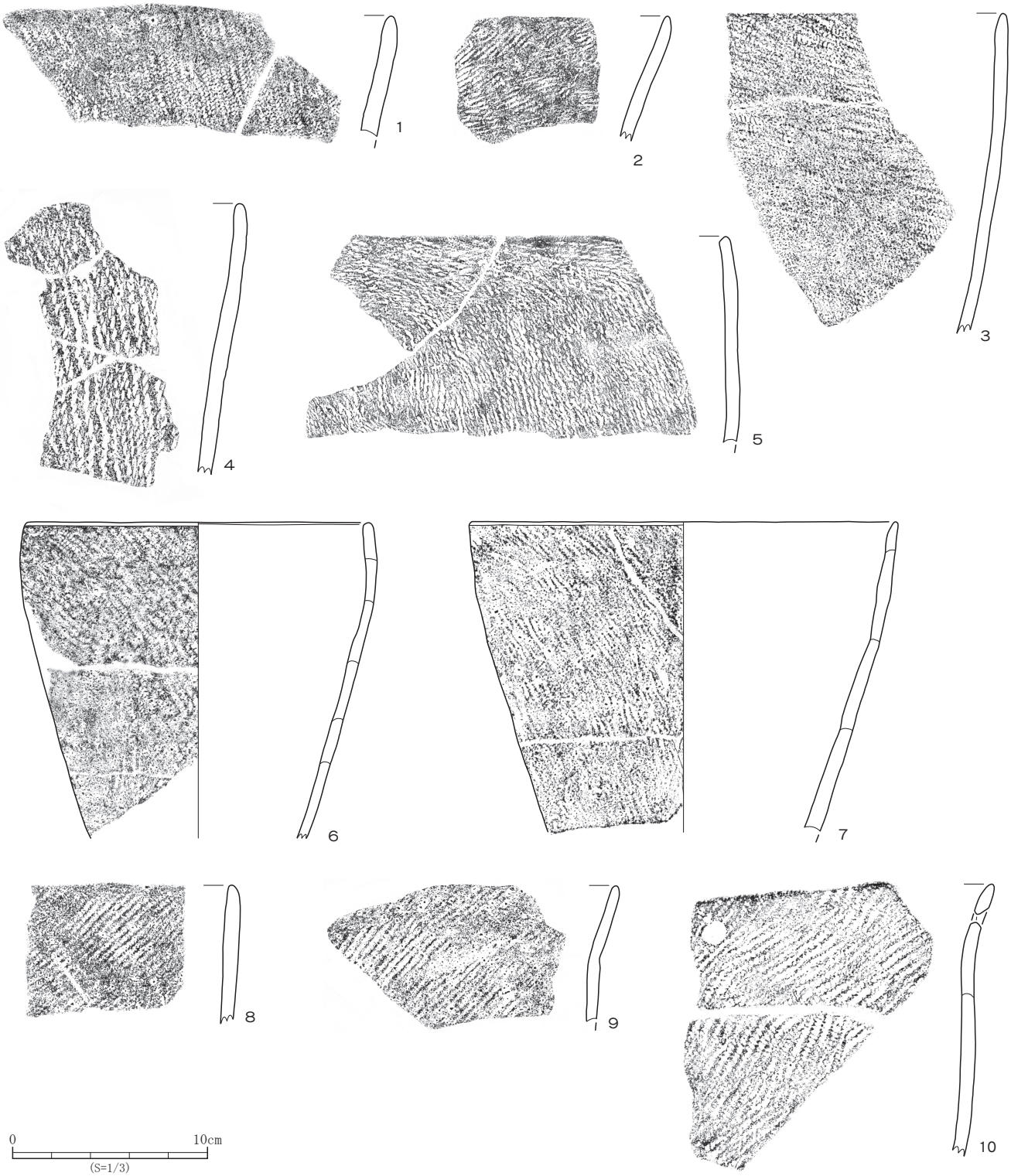
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-94	8	Ⅵ	W305･S131	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文 ･LR 縄文　胴部 - ミガキ　底部 - 網代痕		8-6
2	A-49	8	Ⅵ	W299･S140	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文 ･LR 縄文　胴部 - ミガキ		8-7
3	A-112	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文 ･LR 縄文側面押圧		9-1
4	A-115	8	Ⅵ	W315･S110	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文 ･RL 縄文側面押圧		-
5	A-118	8	Ⅵ	W315･S110	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文 ･LR 縄文側面押圧		9-2
6	A-129	8	Ⅵ	W325･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文 ･LR 縄文側面押圧		9-3
7	A-116	8	Ⅵ	W304･S131	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 山形小突起 ･RL 縄文 ･L 綾絡文 ･RL 縄文側面押圧		9-4

第 25 図　Ⅵ層出土遺物（５）



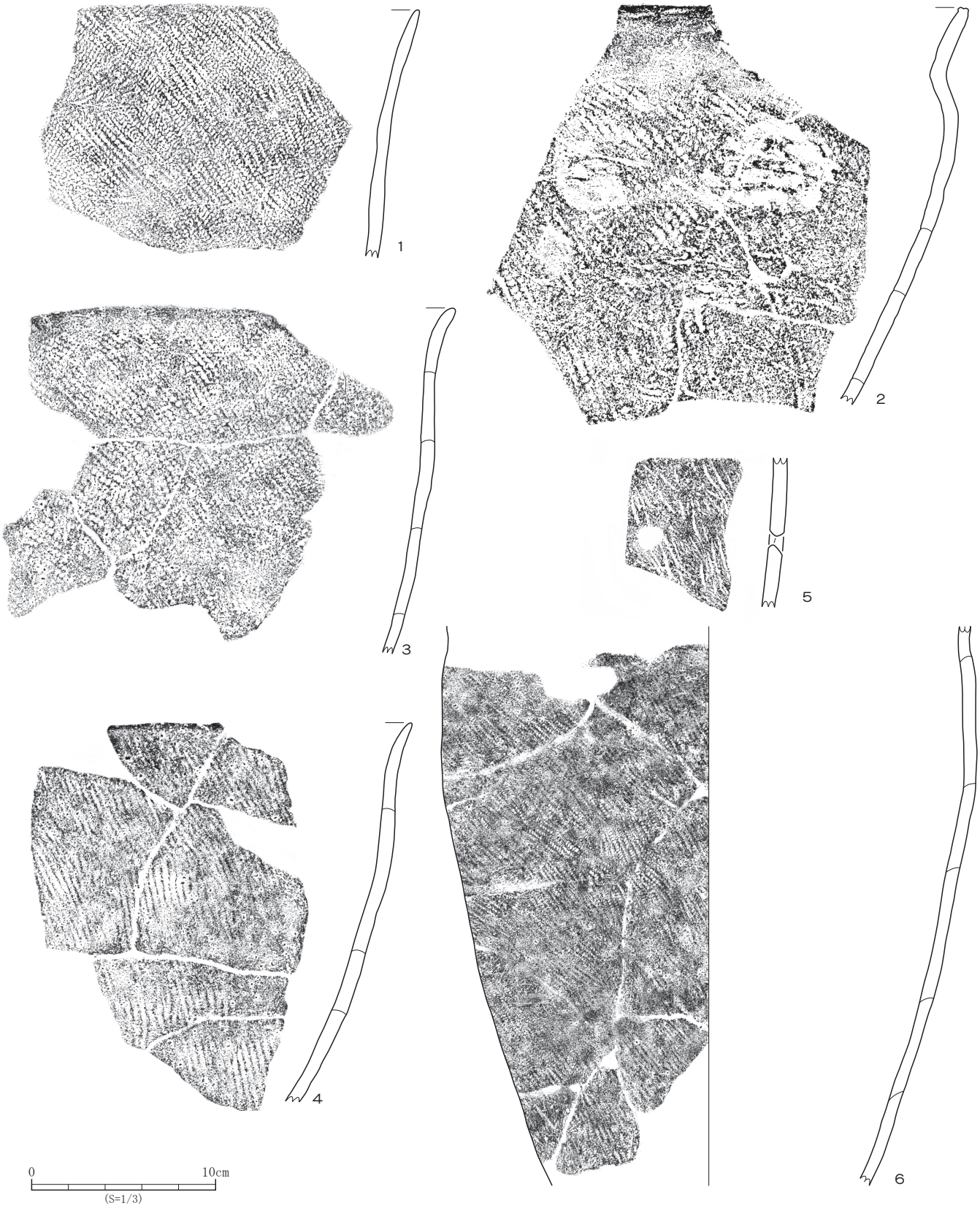
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-104	8	Ⅵ	W304･S131	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 山形小突起 ･RL 縄文　底部 - 網代痕	補修孔あり、外面炭化物付着。	9-5
2	A-122	8	Ⅵ	W297･S140	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文　底部 - 網代痕		9-6
3	A-60	8	Ⅵ	W315･S110	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		9-7
4	A-106	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文 (０段異条)		9-8
5	A-111	8	Ⅵ	W315･S120	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文	補修孔あり。	-
6	A-109	8	Ⅵ	W285･S140	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 山形小突起 ･LR 縄文	補修孔あり。	9-9
7	A-107	8	Ⅵ	W320･S110	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文		10-1
8	A-108	8	Ⅵ	W310･S140	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		-

第 26 図　Ⅵ層出土遺物（６）



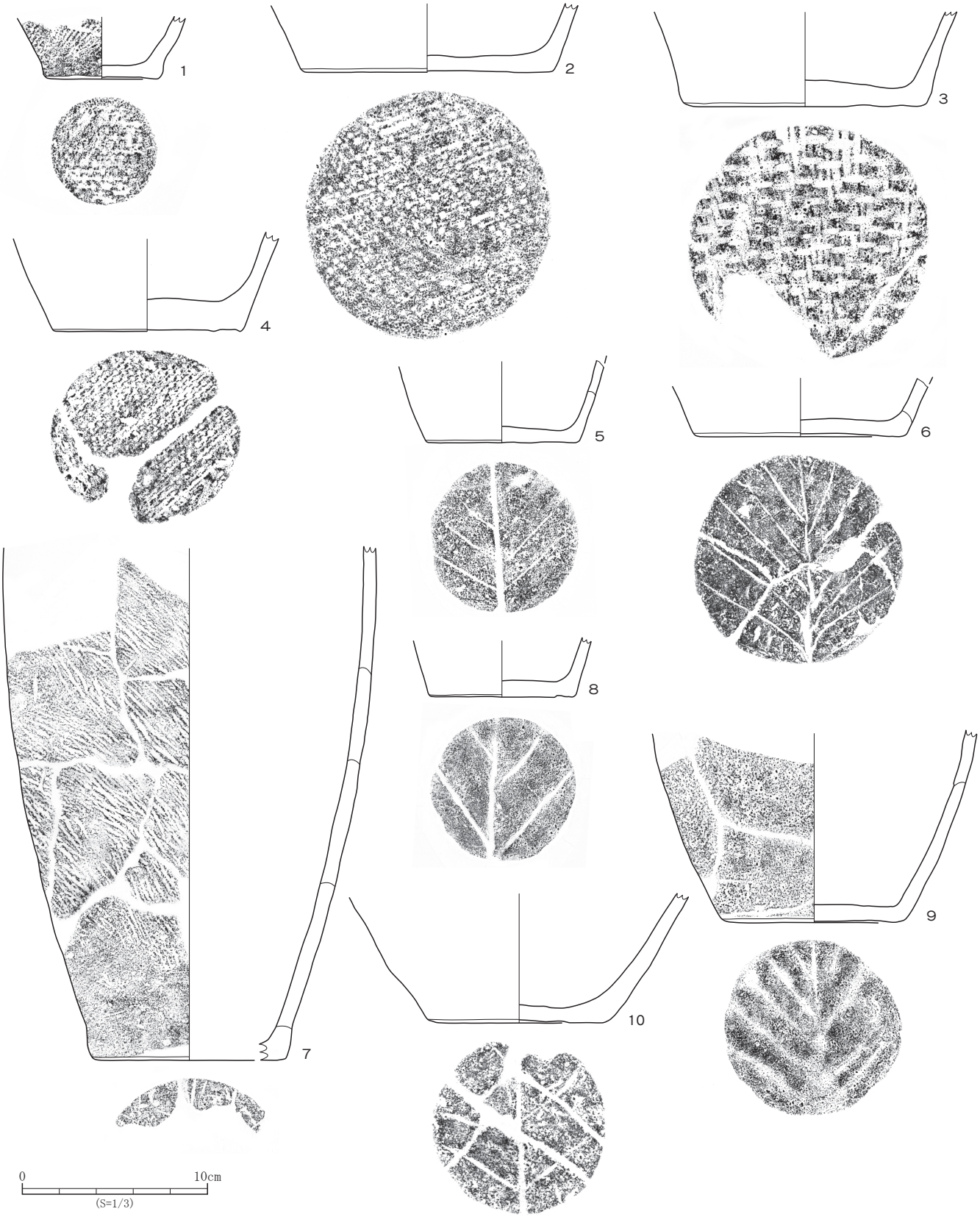
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-64	8	Ⅵ	W285･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文 (0 段多条)		-
2	A-68	8	Ⅵ	W330･S115	縄文土器	深鉢	口縁部 -L 縄文	内面赤色顔料付着。	-
3	A-62	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		10-2
4	A-63	8	Ⅵ	W305･S140	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -L 撚糸文		10-3
5	A-70	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -R 撚糸文	外面炭化物付着。	10-4
6	A-119	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		10-5
7	A-153	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		10-6
8	A-67	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	口縁部 -LR 縄文		-
9	A-66	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文		10-7
10	A-113	8	Ⅵ	W285･S140	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文	補修孔あり。	10-8

第 27 図　Ⅵ層出土遺物（７）



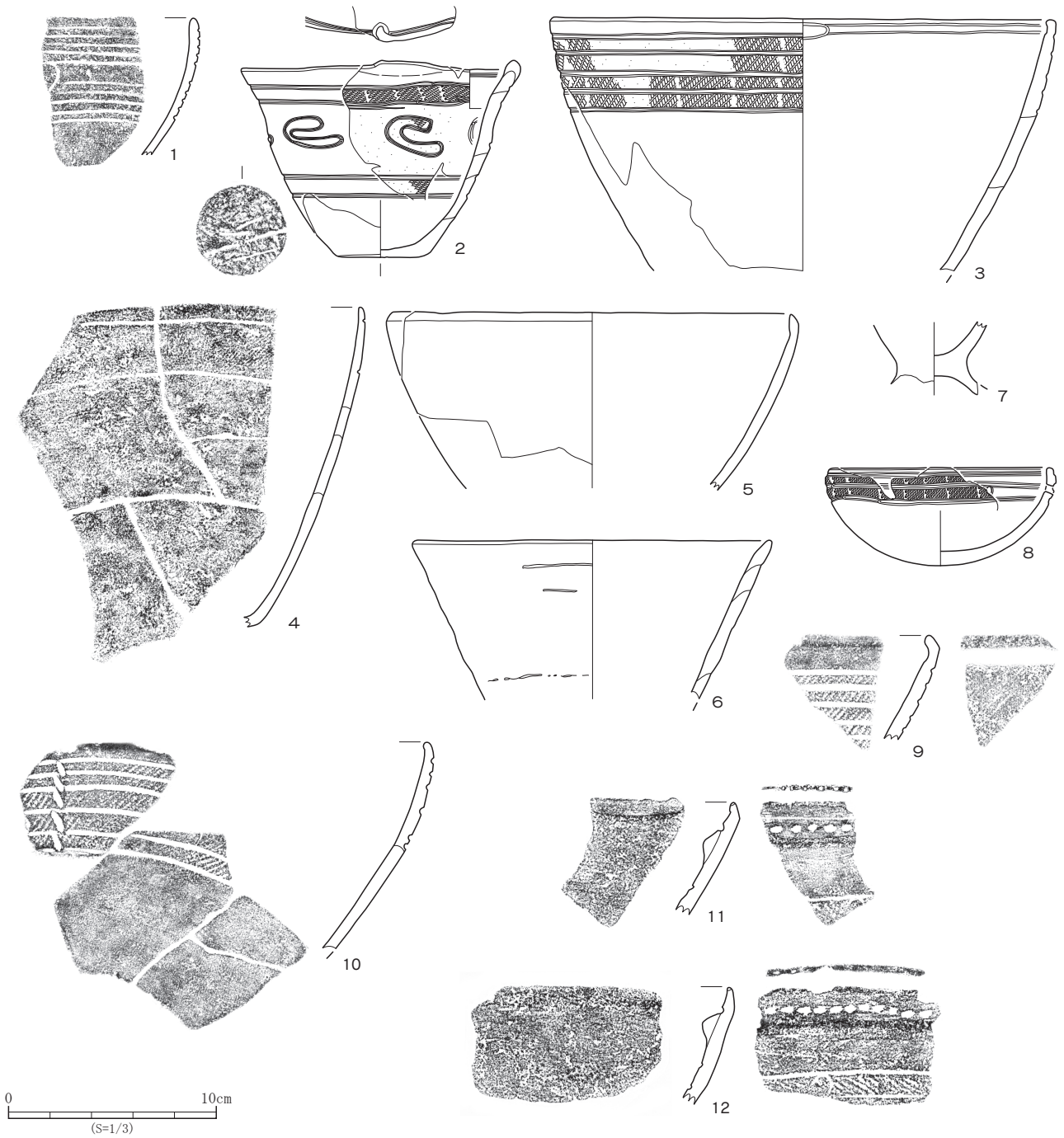
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-110	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		10-9
2	A-128	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文	外面剥落。	10-10
3	A-121	8	Ⅵ	W325･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文		11-1
4	A-127	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		11-2
5	A-69	8	Ⅵ	W285･S130	縄文土器	深鉢	胴部 -R 撚糸文	補修孔あり、内外面黒色物付着。	-
6	A-126	8	Ⅵ	W320･S115	縄文土器	深鉢	胴部 -RL 縄文	内面赤色顔料付着。	11-3

第 28 図　Ⅵ層出土遺物（８）



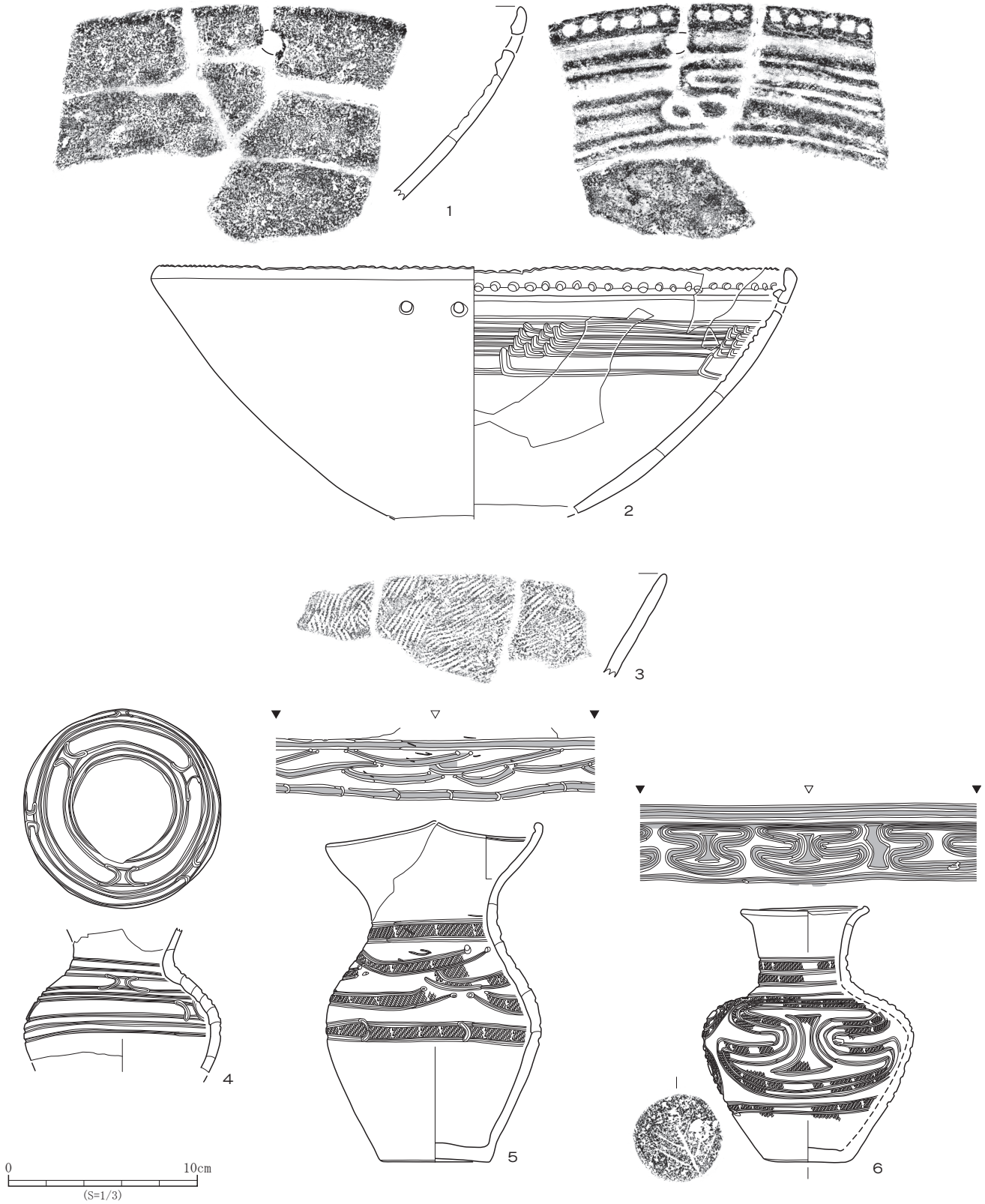
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-56	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	胴部 -LR 縄文　底部 - 網代痕		11-4
2	A-57	8	Ⅵ	W306･S131	縄文土器	深鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 網代痕		11-5
3	A-59	8	Ⅵ	W295･S135	縄文土器	深鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 網代痕		11-6
4	A-58	8	Ⅵ	W300･S135	縄文土器	深鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 網代痕		-
5	A-54	8	Ⅵ	W285･S130	縄文土器	深鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 木葉痕		-
6	A-53	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 木葉痕		-
7	A-105	8	Ⅵ	W285･S140	縄文土器	深鉢	胴部 -R 撚糸文　底部 - 木葉痕		12-1
8	A-55	8	Ⅵ	-	縄文土器	深鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 木葉痕		-
9	A-52	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	胴部 -LR 縄文？　底部 - 木葉痕	内外面摩滅。	-
10	A-51	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	深鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 木葉痕		-

第 29 図　Ⅵ層出土遺物（９）



No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-74	8	Ⅵ	W310・S125	縄文土器	鉢	口縁～胴部 - 沈線文・LR 縄文		12-2
2	A-79	8	Ⅵ	W310・S125	縄文土器	深鉢	外面：口縁～胴部 - 山形小突起・沈線文区画・「C」字状文・LR 縄文　底部 - 沈線文？　内面：突起頂部 - 隆線文　口縁部 - 沈線文	外面摩滅。	12-3
3	A-87	8	Ⅵ	W325・S135	縄文土器	鉢	外面：口縁部 - 沈線文・LR 縄文　胴部 - ミガキ 内面：口縁部 - 沈線文		12-4
4	A-45	8	Ⅵ	W315・S110	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文・L 縄文？　胴部 - ミガキ　底部 - 不明		12-5
5	A-50	8	Ⅵ	W305・S125	縄文土器	鉢	口縁～胴部 - ミガキ		12-6
6	A-61	8	Ⅵ	W325・S105	縄文土器	鉢	口縁～胴部 - ミガキ		12-7
7	A-102	8	Ⅵ	W310・S135	縄文土器	台付鉢	胴～台部 - ナデ		12-8
8	A-82	8	Ⅵ	W305・S125	縄文土器	浅鉢	口縁部 - 沈線文・LR 縄文　胴～底部 - ミガキ	丸底、貫通孔 1 ヶ所あり。	12-9
9	A-41	8	Ⅵ	W305・S125	縄文土器	浅鉢	外面：口縁部 - 沈線文・LR 縄文　内面：沈線文	胎土に金雲母混入。	12-10
10	A-89	8	Ⅵ	W300・S140	縄文土器	浅鉢	口縁部 - 沈線文区画・沈線文・LR 縄文　胴部 - ミガキ		12-11
11	A-92	8	Ⅵ	W304・S130	縄文土器	浅鉢	口縁～胴部 - 外面：ミガキ　内面：口縁部 - 隆線文・刺突文　胴部 - 沈線文区画・RL 縄文　口唇部 - 有刻	A-93 と同一。	-
12	A-93	8	Ⅵ	W305・S130	縄文土器	浅鉢	口縁～胴部 - 外面 : ミガキ　内面：口縁部 - 隆線文・刺突文　胴部 - 沈線文区画・沈線文・RL 縄文　口唇部 - 有刻	A-92 と同一。	12-12

第 30 図　Ⅵ層出土遺物（10）

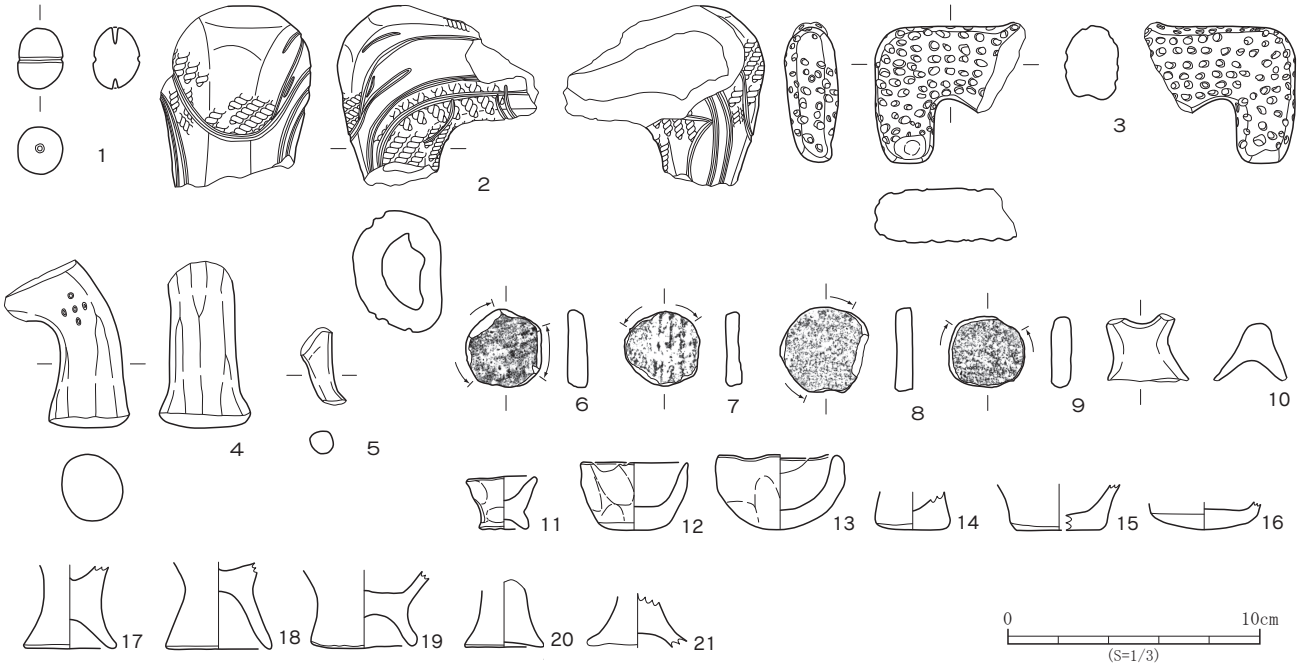


№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-44	8	Ⅵ	W315･S110	縄文土器	浅鉢	口縁～胴部 - 外面：ミガキ　内面：口縁部 - 刺突文　胴部 - 隆線文・沈線文	貫通孔 1 ヶ所あり。	12-13
2	A-91	8	Ⅵ	-	縄文土器	浅鉢	口縁～胴部 - 外面：ミガキ　内面：口縁部 - 隆線文・刺突文　胴部 - 沈線文区画・「クランク」状文　口唇部 - 有刻	補修孔あり。	13-1
3	A-114	8	Ⅵ	W305･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文 (0 段多条)		-
4	A-80	8	Ⅵ	W285･S130	縄文土器	壺	胴部 - 沈線文区画・沈線文		13-2
5	A-475	8	Ⅵ	W306･S132	縄文土器	壺	口縁部 - 波状口縁　胴部 - 沈線文区画・沈線文・刺突文 ･LR 縄文 口縁部内面に沈線文	胎土に金雲母混入。	13-3
6	A-77	8	Ⅵ	W285･S135	縄文土器	壺	外面：口縁部 - ミガキ　頸～胴部 - 沈線文区画・沈線文 ･LR 縄文 底部 - 木葉痕　口縁部内面に沈線文		13-4

第 31 図　Ⅵ層出土遺物（11）

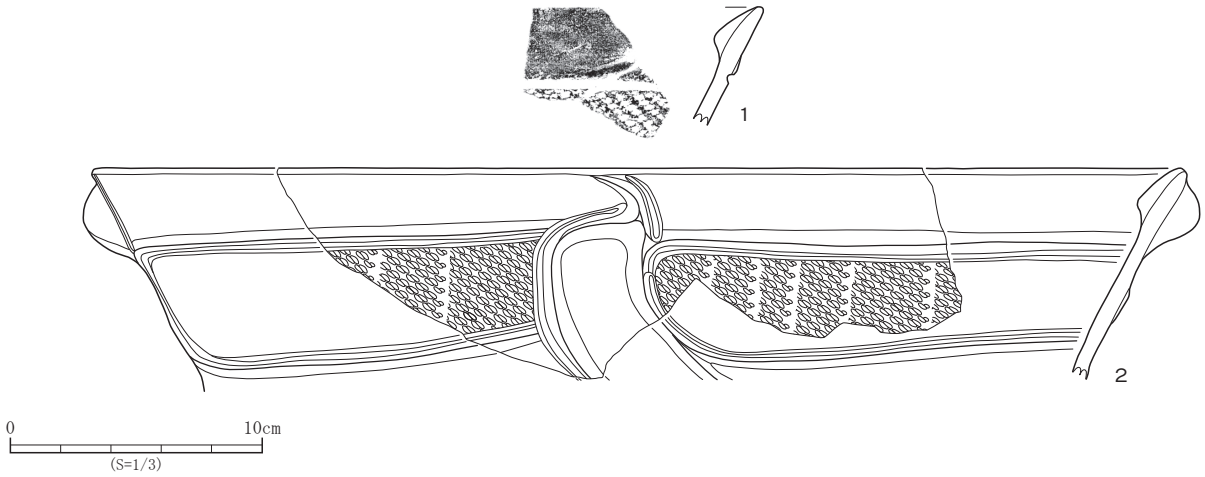
№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-90	8	Ⅵ	W305･S130	縄文土器	壺	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		13-5
2	A-72	8	Ⅵ	W304･S130	縄文土器	鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		13-6
3	A-83	8	Ⅵ	W330･S125	縄文土器	壺	口縁～胴部 -RL 縄文		13-7
4	A-65	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	壺	口縁部 - ナデ　胴部 -LR 縄文		13-8
5	A-71	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	壺	口縁～胴部 -RL 縄文		14-1
6	A-75	8	Ⅵ	-	縄文土器	鉢	胴部 - ミガキ　底部 - 網代痕		-
7	A-103	8	Ⅵ	W315･S115	縄文土器	台付土器	脚部 - ナデ？	外面摩滅。	14-2
8	A-123	8	Ⅵ	W300･S135	縄文土器	台付土器	脚部 - ナデ・ミガキ	外面炭化物付着。	14-3
9	A-20	8	Ⅵ	W325･S105	縄文土器	小型土器	外面：口縁～胴部 - ナデ　底部 - 木葉痕？　内面：口縁部 - 沈線	内外面摩滅。	14-4
10	A-78	8	Ⅵ	W290･S135	縄文土器	小型土器	口縁～底部 - 山形小突起・ナデ		14-5
11	A-81	8	Ⅵ	W320･S110	縄文土器	小型土器	口縁～底部 - ナデ		14-6
12	A-117	8	Ⅵ	W304･S131	縄文土器	小型土器	口縁～胴部 -R 縄文　底部 - 網代痕		14-7
13	A-21	8	Ⅵ	W305･S127	縄文土器	小型土器	口縁～底部 - 指オサエ	丸底。	14-8
14	A-73	8	Ⅵ	W315･S115	縄文土器	小型土器	口縁～底部 - ナデ	丸底。	14-9

第 32 図　Ⅵ層出土遺物（12）



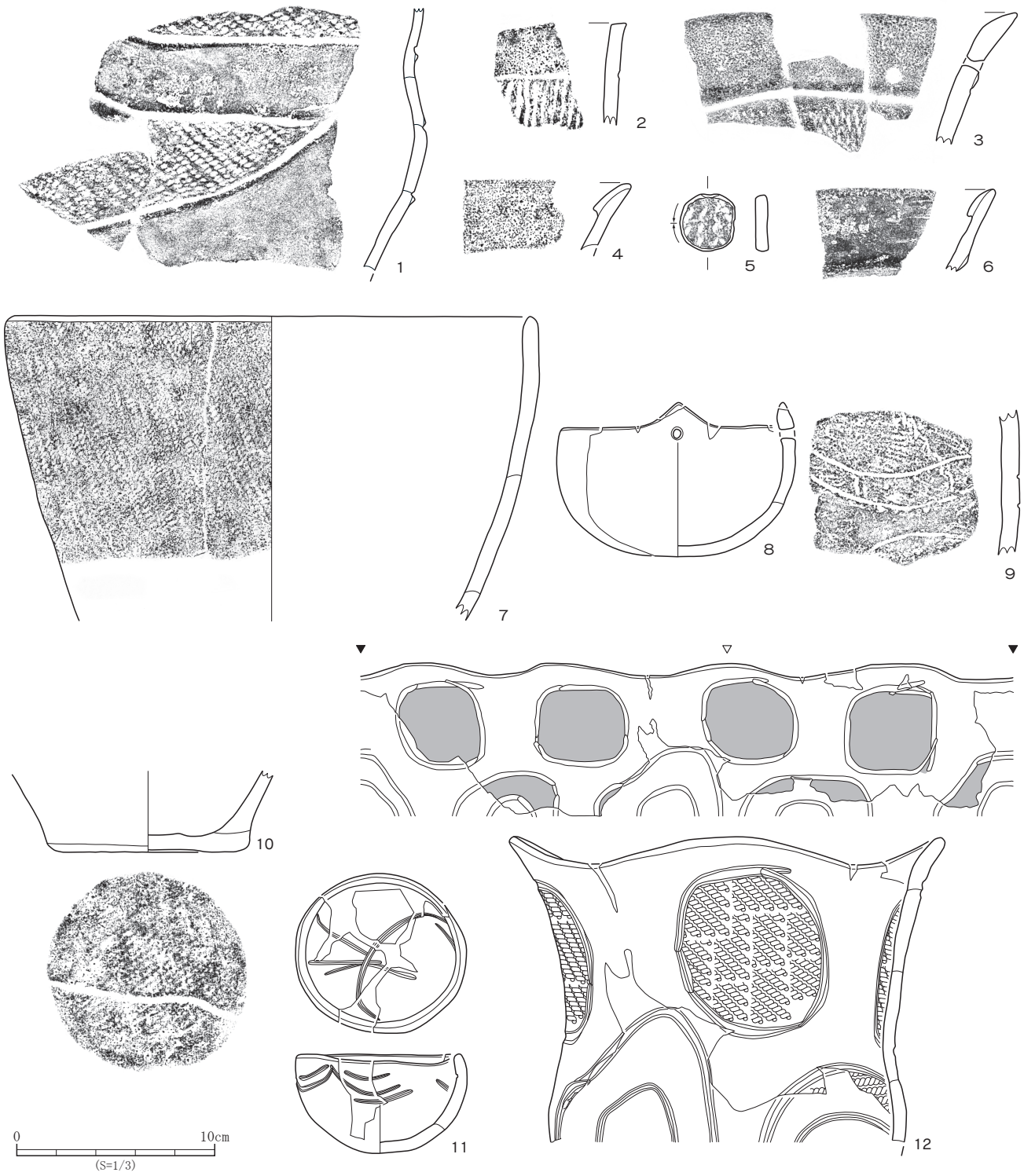
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	P-11	8	Ⅵ	W290・S125	土製品	土錘？	上下両端に径 3㎜の孔 (非貫通)・側面に幅 2㎜の凹線。	24 × 18 × 19㎜　8.3g	14-10
2	P-14	8	Ⅵ	W305・S125	土製品	土偶	肩部 - 沈線文・RL 縄文	中空。	14-11
3	P-15	8	Ⅵ	W285・S140	土製品	土偶	腕部 - 刺突文・ナデ		14-12
4	P-12	8	Ⅵ	W305・S125	土製品	土偶	脚部 - 刺突文・ナデ		14-13
5	P-13	8	Ⅵ	W310・S130	土製品	土偶	腕部 - ナデ		-
6	P-16	8	Ⅵ	W330・S130	土製品	土製円盤	不明　摩滅顕著	31 × 30 × 9㎜　9.1g	14-14
7	P-17	8	Ⅵ	W320・S115	土製品	土製円盤	L 撚糸文	30 × 30 × 7㎜　6.4g	14-15
8	P-18	8	Ⅵ	W325・S105	土製品	土製円盤	不明　摩滅顕著	34 × 35 × 8㎜　10.3g	14-16
9	P-19	8	Ⅵ	W304・S130	土製品	土製円盤	不明　摩滅顕著	28 × 31 × 9㎜　8.5g	14-17
10	P-96	8	Ⅵ	W285・S130	土製品	鐸型土製品	ナデ	現 27 ×現 32 × 29㎜	14-18
11	P-98	8	Ⅵ	W315・S120	土製品	耳栓	ナデ	28 × 20 × 21㎜　臼形。	14-19
12	P-105	8	Ⅵ	W305・S125	土製品	ミニチュア	口縁～底部 - ナデ		14-20
13	A-84	8	Ⅵ	W310・S120	縄文土器	ミニチュア	口縁～底部 - ナデ	丸底。	14-21
14	P-101	8	Ⅵ	W330・S105	土製品	ミニチュア	胴～底部 - ナデ		14-22
15	P-102	8	Ⅵ	W305・S140	土製品	ミニチュア	胴～底部 - ナデ		14-23
16	P-103	8	Ⅵ	W295・S135	土製品	ミニチュア	胴～底部 - ナデ	丸底。	14-24
17	P-99	8	Ⅵ	W295・S130	土製品	ミニチュア	脚部 - ナデ		14-25
18	P-100	8	Ⅵ	W285・S135	土製品	ミニチュア	脚部 - ナデ		14-26
19	P-104	8	Ⅵ	W300・S135	土製品	ミニチュア	胴～脚部 - ナデ		14-27
20	A-478	8	Ⅵ	W325・S120	縄文土器	ミニチュア	脚部 - ナデ		14-28
21	A-482	8	Ⅵ	W320・S130	縄文土器	ミニチュア	脚部 - 不明	外面摩滅。	-

第 33 図　Ⅵ層出土遺物（13）



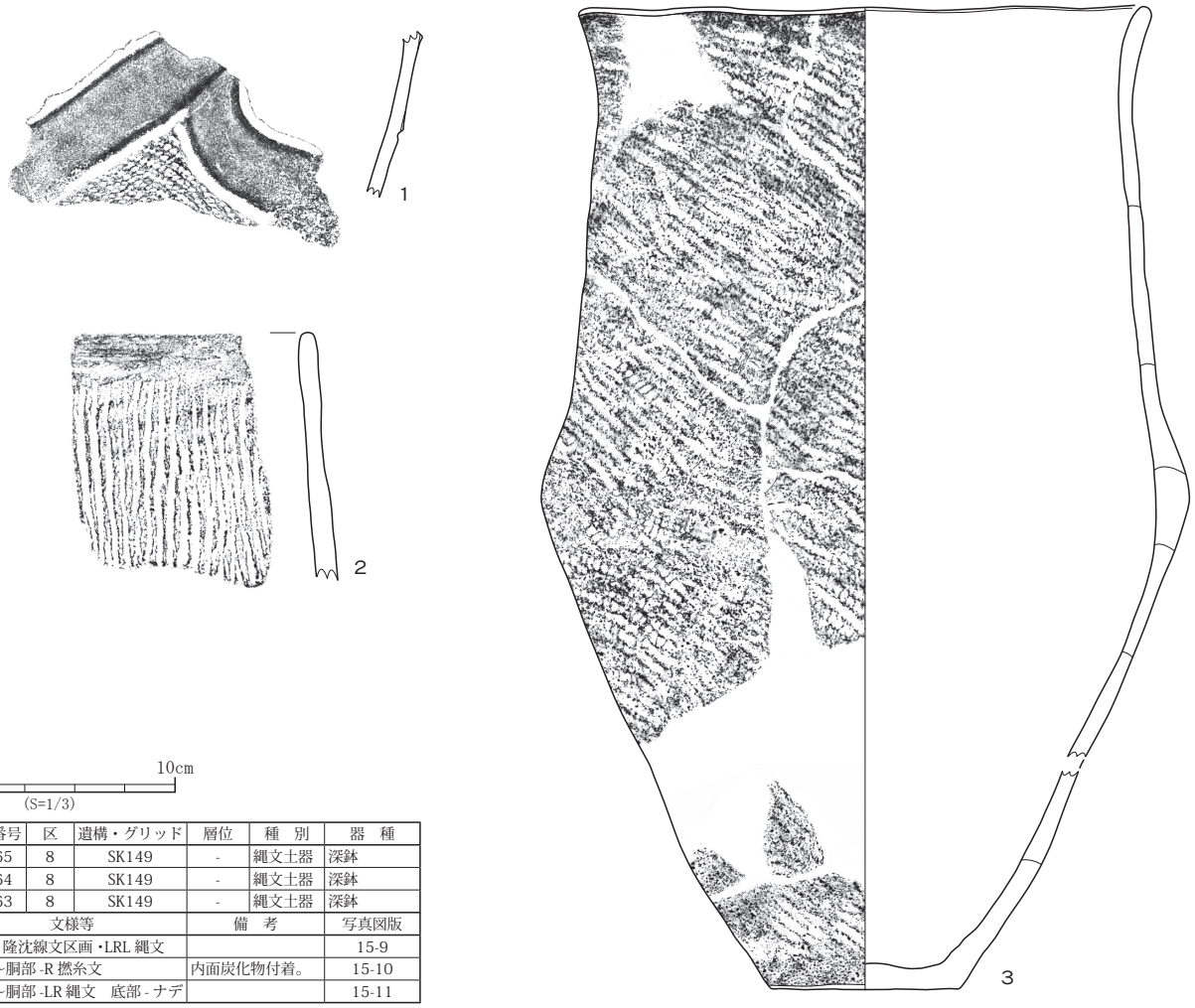
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-3	8	SK108	-	縄文土器	深鉢	口縁部 - 隆沈線文・LRL 縄文		-
2	A-6	8	SK109	-	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 隆沈線文・LRL 縄文・鰭状隆線文		14-29

第 34 図　Ⅶ層土坑出土遺物（１）



№.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-7	8	SK109	-	縄文土器	深鉢	胴部 - 隆沈線文区画・LRL 縄文		14-30
2	A-4	8	SK109	-	縄文土器	深鉢	口縁部 - 波状口縁・沈線文・L 撚糸文		-
3	A-8	8	SK109	-	縄文土器	深鉢	口縁部 - 隆沈線文・LRL 縄文	補修孔あり。	15-1
4	A-5	8	SK109	-	縄文土器	深鉢	口縁部 - ミガキ	外面摩滅。	-
5	P-4	8	SK109	-	土製品	土製円盤	LRL 縄文	29 × 28 × 7㎜　6.9g	15-2
6	A-9	8	SK113	-	縄文土器	深鉢	口縁部 - 隆線文		15-3
7	A-472	8	SK126	-	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		15-4
8	A-459	8	SK162	-	縄文土器	鉢	口縁～胴部 - 山形突起・貫通孔・ナデ　底部 - ナデ	丸底。	15-5
9	A-470	8	SK165	-	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文・LR 縄文・R 綾絡文		15-6
10	A-473	8	SK165	-	縄文土器	深鉢	胴部 - ナデ　底部 - 網代痕		-
11	A-454	8	SK165	-	縄文土器	浅鉢	外面：口縁～胴部 - 沈線文　底部 - ナデ　内面：沈線文	丸底。	15-7
12	A-462	8	SK149	-	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・沈線文区画・「O」字状文・LR 縄文		15-8

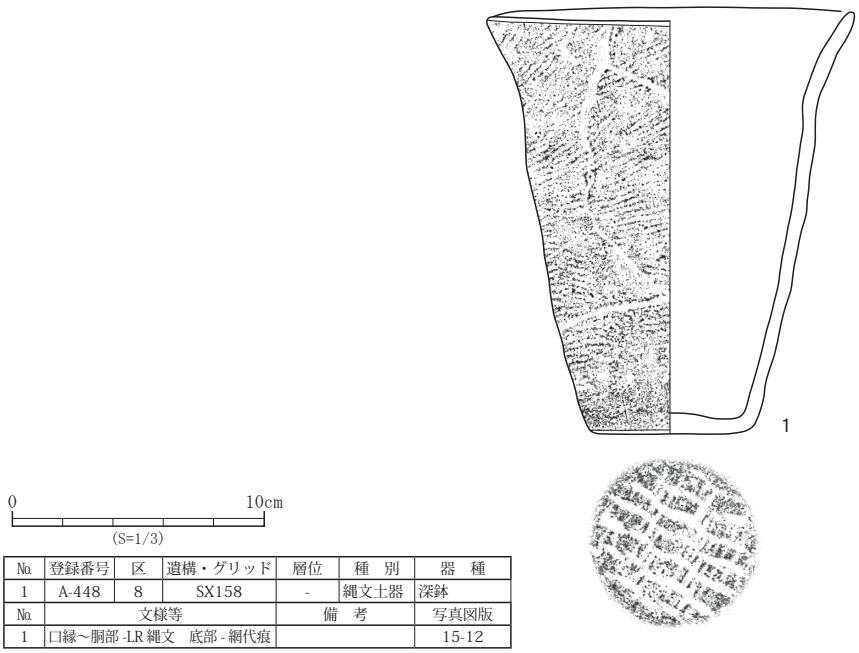
第 35 図　Ⅶ層土坑出土遺物（２）



No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種
1	A-465	8	SK149	-	縄文土器	深鉢
2	A-464	8	SK149	-	縄文土器	深鉢
3	A-463	8	SK149	-	縄文土器	深鉢

No.	文様等	備　考	写真図版
1	胴部 - 隆沈線文区画・LRL 縄文		15-9
2	口縁～胴部 -R 撚糸文	内面炭化物付着。	15-10
3	口縁～胴部 -LR 縄文　底部 - ナデ		15-11

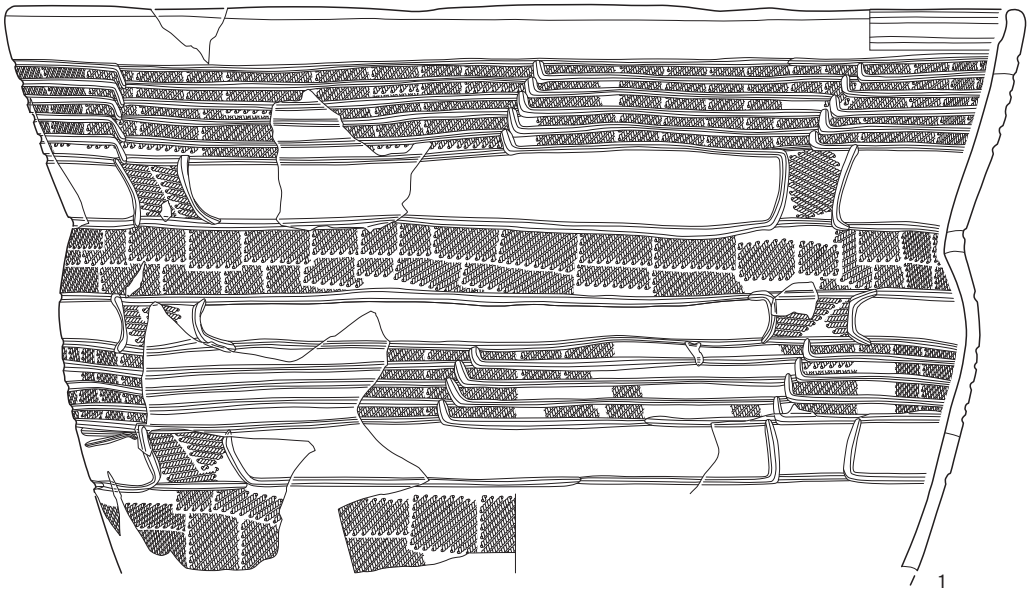
第 36 図　Ⅶ層土坑出土遺物（３）

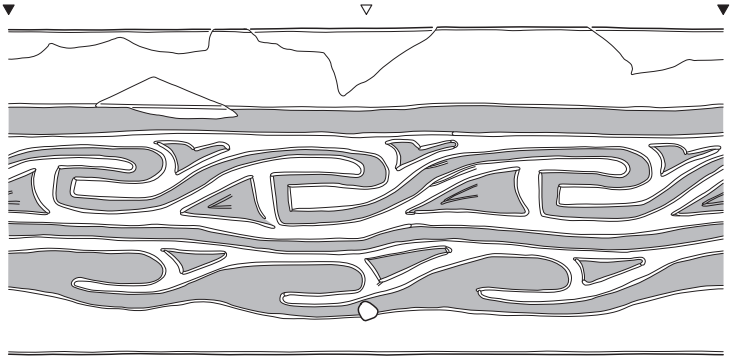


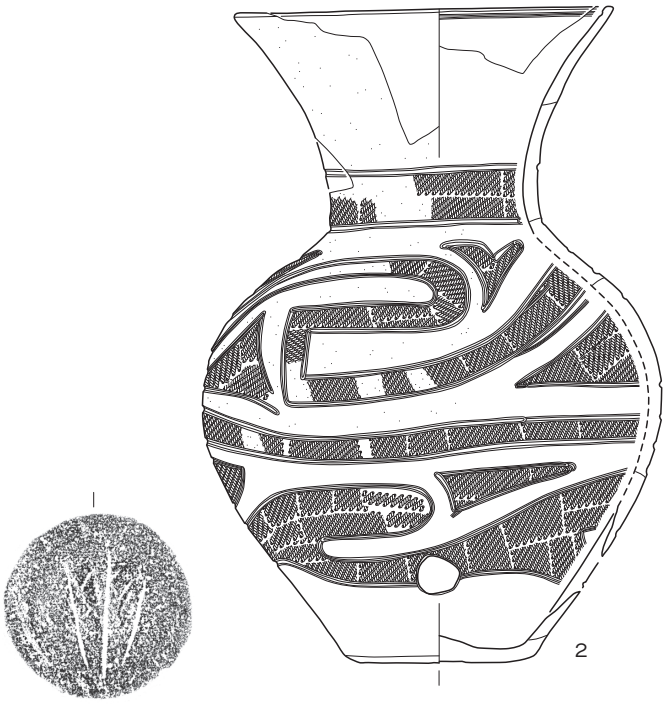
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種
1	A-448	8	SX158	-	縄文土器	深鉢

No.	文様等	備　考	写真図版
1	口縁～胴部 -LR 縄文　底部 - 網代痕		15-12

第 37 図　Ⅶ層ＳＸ 158 埋設土器



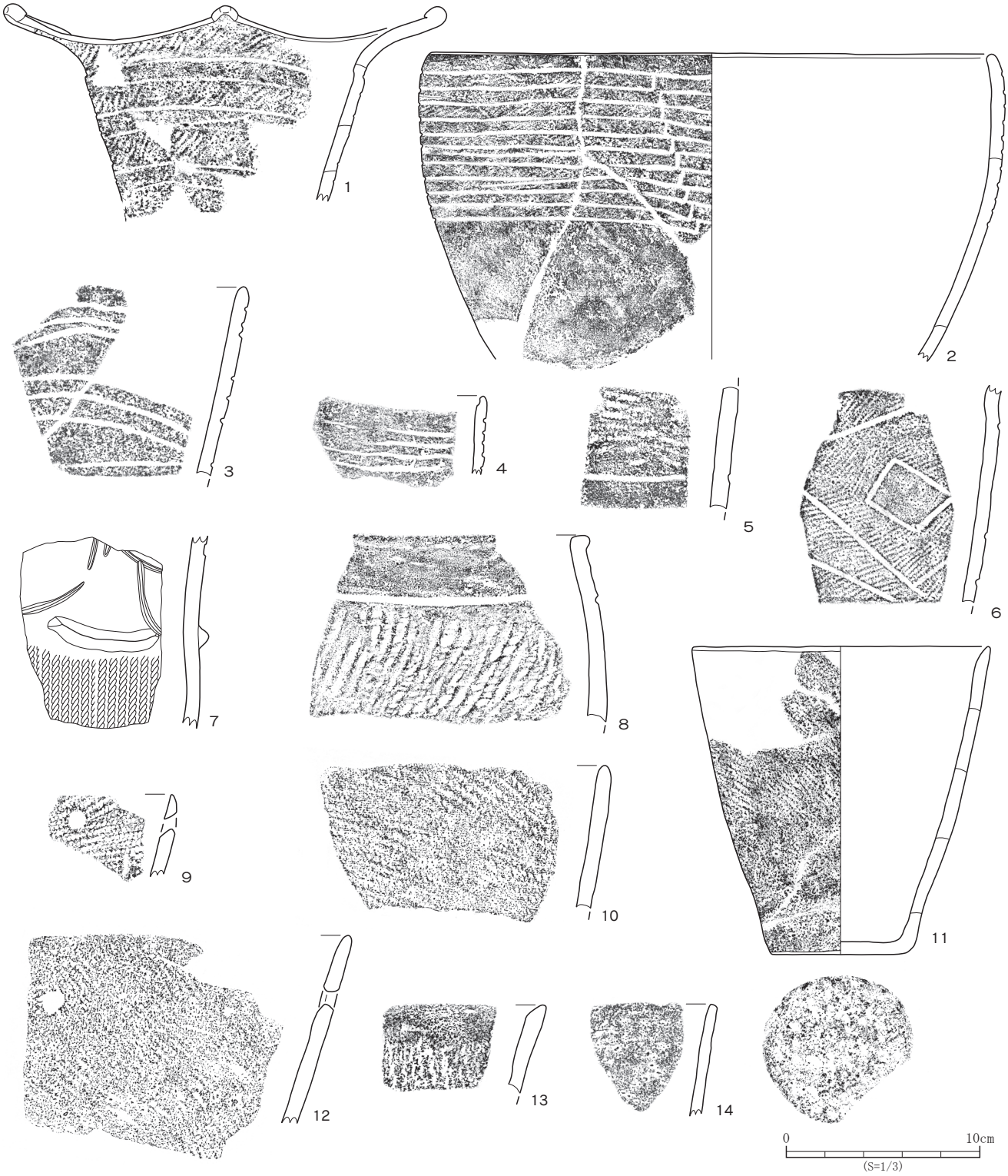




0　10cm
(S=1/3)

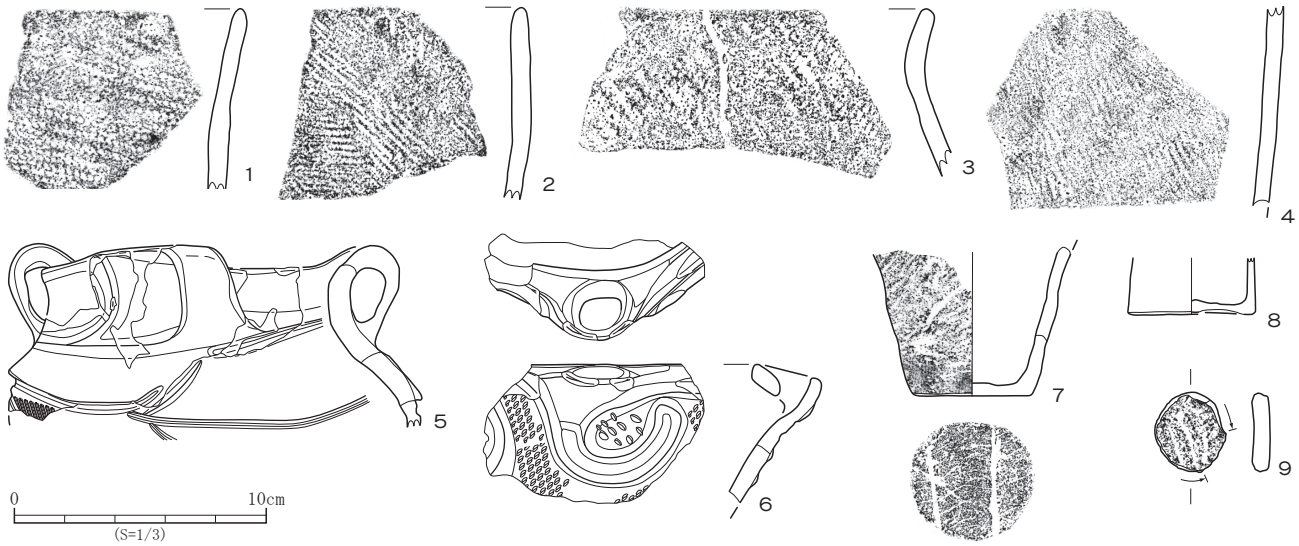
No.	登録番号	区	遺構・グリッド	層位	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-196	8	SX159	検出面	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 「クランク」・「C」・逆「C」字状文・LR 縄文　口縁部内面に沈線文	A-447 に被せた状態で出土。	16-1
2	A-447	8	SX159	-	縄文土器	壺	口縁部 - ミガキ　頸～胴部 - 沈線文・「波頭」・「三角」状文・LR 縄文　底部 - 沈線文　口縁部内面に沈線文	胴部穿孔。外面摩滅。A-196 内出土。	16-2

第 38 図　Ⅶ層ＳＸ 159 埋設土器



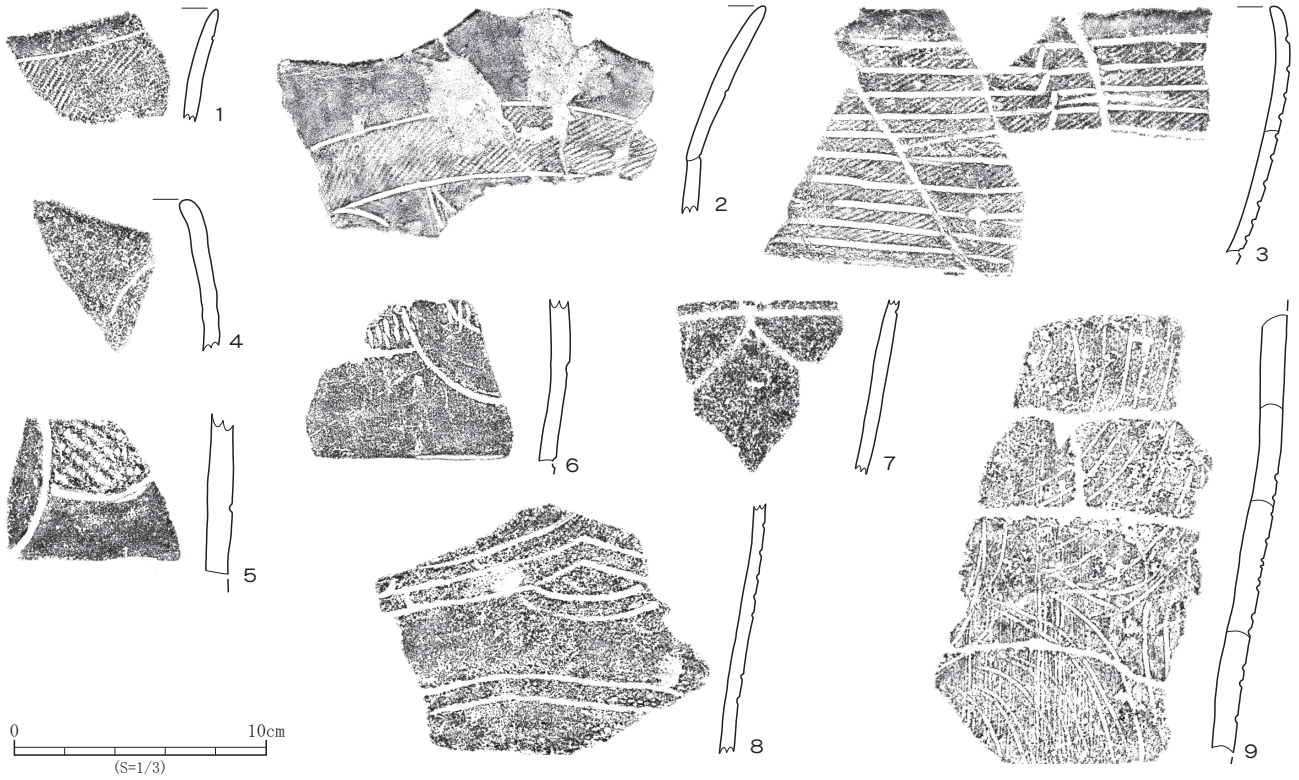
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-149	8	Ⅶ	W310･S120	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・山形突起・沈線文 ･LR 縄文		16-3
2	A-147	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文・「クランク」状文 ･RL 縄文　胴部 - ミガキ		16-4
3	A-29	8	Ⅶ	W305･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・沈線文 ･LR 縄文	内外面摩滅。	17-1
4	A-143	8	Ⅶ	W315･S135	縄文土器	深鉢	口縁部 - 波状口縁・沈線文		17-2
5	A-144	8	Ⅶ	W330･S115	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		-
6	A-146	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文・「菱形」状文 ･LR 縄文		17-3
7	A-163	8	Ⅶ	-	縄文土器	深鉢	胴部 - 鰭状隆線文・沈線文 ･L 撚糸文		17-4
8	A-142	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 沈線文 ･R 縄文		17-5
9	A-193	8	Ⅶ	W330･S115	縄文土器	深鉢	口縁部 -LR 縄文	補修孔あり。	-
10	A-189	8	Ⅶ	W325･S125	縄文土器	深鉢	口縁部 -RL 縄文		17-6
11	A-157	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文　底部 - 網代痕		17-7
12	A-181	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文	補修孔あり。	17-8
13	A-191	8	Ⅶ	W315･S120	縄文土器	深鉢	口縁部 -L 撚糸文		-
14	A-187	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁部 - ナデ	外面摩滅。	-

第 39 図　Ⅶ層出土遺物（1）



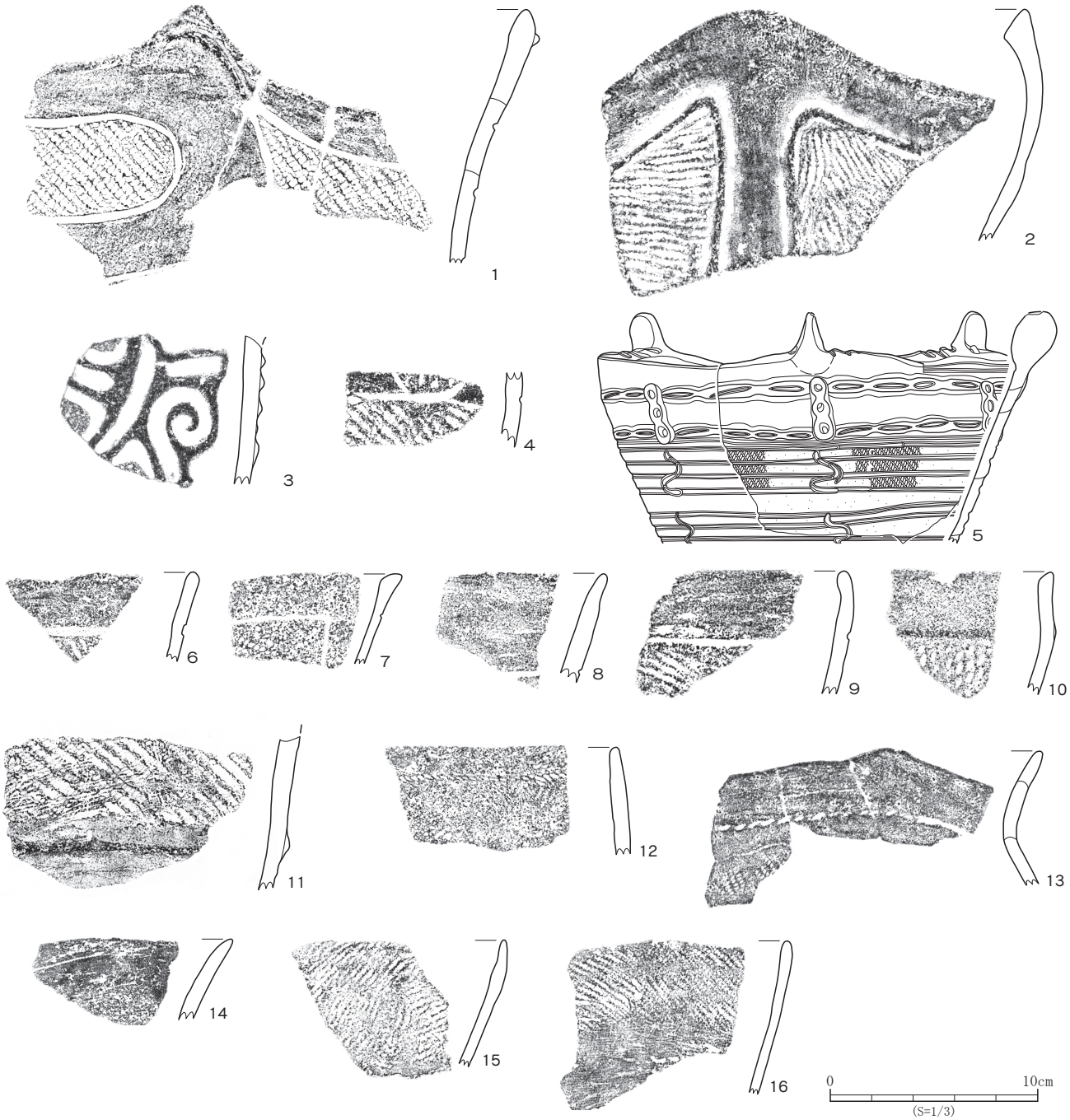
No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-188	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁部 -RL 縄文		-
2	A-194	8	Ⅶ	W315･S115	縄文土器	深鉢	口縁部 -LR 縄文		-
3	A-186	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -RL 縄文		17-9
4	A-183	8	Ⅶ	W325･S130	縄文土器	深鉢	胴部 -LR 縄文		-
5	A-251	8	Ⅶ	W335･S90	縄文土器	壺	口縁部 - 隆線文・橋状把手　胴部 - 隆沈線文 ･LR 縄文 (0 段多条)		17-10
6	A-172	8	Ⅶ	W330･S115	縄文土器	注口土器	注口部～胴部 - 隆線文・鰭状隆線文・刺突文 ･LRL 縄文	胎土に金雲母混入、把手剥落、内外面炭化物付着。	17-11
7	A-165	8	Ⅶ	W310･S130	縄文土器	小型土器	胴部 -LR 縄文　底部 - 木葉痕		-
8	A-174	8	Ⅶ	W320･S125	縄文土器	小型土器	胴～底部 - ナデ・ミガキ		17-12
9	P-21	8	Ⅶ	W330･S125	土製品	土製円盤	R 撚糸文	32 × 28 × 7㎜　7.0g	17-13

第 40 図　Ⅶ層出土遺物（２）



No.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-140	8	Ⅶb	W285･S140	縄文土器	深鉢	口縁部 - 波状口縁・沈線文 ･LR 縄文	胎土に金雲母混入。	17-14
2	A-159	8	Ⅶb	W300･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・沈線文 ･LR 縄文	突起及び外面剥落。	17-15
3	A-88	8	Ⅶb	W310･S125	縄文土器	深鉢	口縁部 -「クランク」状文 ･LR 縄文		17-16
4	A-175	8	Ⅶb	W320･S125	縄文土器	深鉢	口縁部 - 波状口縁・沈線文		17-17
5	A-166	8	Ⅶb	W315･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文区画・沈線文 ･LR 縄文		-
6	A-134	8	Ⅶb	W325･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文区画・沈線文 ･R 撚糸文		-
7	A-180	8	Ⅶb	W285･S140	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文		-
8	A-141	8	Ⅶb	W330･S105	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文 ･LR 縄文		17-18
9	A-260	8	Ⅶb	W310･S130	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文・条線文	胎土に金雲母混入。	17-19

第 41 図　Ⅶb 層出土遺物（１）



№.	登録番号	区	層位	遺構・グリッド	種　別	器　種	文様等	備　考	写真図版
1	A-167	8	Ⅶb	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁部 - 波状口縁・鰭状隆沈線文・「コ」字状文・RL 縄文	外面赤彩。	17-20
2	A-161	8	Ⅶb	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・隆線文区画・RL 縄文	内面剥落・黒色物付着 (剥落面にも付着)。	18-1
3	A-164	8	Ⅶb	W330･S105	縄文土器	深鉢	胴部 - 隆線文		18-2
4	A-162	8	Ⅶb	W315･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - 沈線文・刺突文・LR 縄文		-
5	A-148	8	Ⅶb	W285･S140	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 波状口縁・団扇状突起・隆線文・沈線文・刺突文・RL 縄文　口縁部内面に沈線文　口唇 - 有刻　突起側面 - 刺突文	外面摩滅。	18-3
6	A-139	8	Ⅶb	W285･S140	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文・LR 縄文？		-
7	A-133	8	Ⅶb	W320･S125	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文・LR 縄文		18-4
8	A-138	8	Ⅶb	W320･S125	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文		-
9	A-137	8	Ⅶb	W320･S125	縄文土器	深鉢	口縁部 - 沈線文・LR 縄文		-
10	A-131	8	Ⅶb	W320･S120	縄文土器	深鉢	口縁部 - 隆線文・L 撚糸文		18-5
11	A-168	8	Ⅶb	W300･S125	縄文土器	深鉢	胴部 - 隆線文区画・条線文・LR 縄文 (0 段多条)		18-6
12	A-130	8	Ⅶb	W285･S140	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 -LR 縄文・LR 縄文側面押圧		-
13	A-150	8	Ⅶb	W305･S125	縄文土器	深鉢	口縁～胴部 - 山形小突起・RL 縄文・RL 縄文側面押圧		18-7
14	A-178	8	Ⅶb	W285･S140	縄文土器	深鉢	口縁部 - ミガキ	外面摩滅。	-
15	A-192	8	Ⅶb	W290･S125	縄文土器	深鉢	口縁部 -LR 縄文 (0 段多条)		18-8
16	A-185	8	Ⅶb	W310･S130	縄文土器	深鉢	口縁部 -RL 縄文　胴 - ミガキ		18-9

第 42 図　Ⅶb 層出土遺物（２）